

**理学療法士の福祉用具・義肢・装具支援に関する実態調査
報告書**

平成29年3月

日本支援工学理学療法学会

はじめに

日本支援工学理学療法学会
代表運営幹事 大峯 三郎

この度、日本支援工学理学療法学会は、日本理学療法士協会からの要請を受けて、各分野や領域に従事する理学療法士を対象として、標記にある福祉用具・義肢・装具の支援や活用に関する理学療法士の関与状況等の実態について調査する運びとなりました。

理学療法は対象者の機能障害が活動及び参加の制限や制約に至る過程において、科学的根拠に基づく様々な治療介入によってこれらの軽減や改善に努め、できる限り対象者のQOLを高めていくことを本質的概念としています。福祉機器や義肢、装具等は、理学療法を進めるうえでこれらの治療介入時の重要な治療手段として位置付けられており、対象者の急性期から生活期まで深く関与しています。さらに理学療法士の専門分野としても広く受け入れられているのが現状です。しかしながら福祉機器や義肢、装具の導入や活用の関与状況については、理学療法士の臨床経験や考え方によって左右される傾向が強く、理学療法士の間でもかなりの温度差を生じているのも事実です。これによって対象者への不利益が生じてはならないと考えています。さらにリハビリテーション医療に携わる医師やその他の専門職からも福祉機器・義肢・装具に関する専門的知識や技術の未熟さ等についての指摘がなされており、今後、この領域に関する理学療法士の専門性が今まで以上に問われていくことや、他の専門職にとって代わる可能性についても危惧されるところです。

過去、このような背景のもとで理学療法士を対象として、福祉機器・義肢・装具に関与する理学療法士の状況、卒前及び卒後教育、課題や展望などを含む全国的規模での実態調査についての報告は見当たらず、その必要性からこの度の調査に至りました。本調査結果が対外的にも対内的にも、これからの理学療法士の専門性をより一層高めるとともにその確立のための一助となることを強く願っています。

目次

第1章 主な調査結果	1
第2章 本事業の概要	39
第1節 事業概要	41
第2節 委員名簿	41
第3節 スケジュール	42
第4節 方法	43
第3章 結果	45
1. 回収状況	47
2. 単純集計結果	48
3. クロス集計結果	60
第4章 事例報告	113
第5章 考察	137
第6章 資料	141
1. 調査票	143

第 1 章 主な調査結果

理学療法士の福祉用具・義肢・装具支援に関する 実態調査

調査結果の概要

日本支援工学理学療法学会

目次

1. 基本情報
2. 福祉用具・義肢・装具支援に関する、理学療法士の関与状況
3. 福祉用具・義肢・装具の支援に関与する、理学療法士以外の職種
4. 福祉用具・義肢・装具の支援に理学療法士が関与できない理由
5. 福祉用具・義肢・装具支援に関する、理学療法士の教育状況
6. 最新情報の入手状況
7. 福祉用具・義肢・装具支援に関する、理学療法士への期待
8. 総括
9. 課題

1. 基本情報

1. 基本情報

1) 回答状況

8,468の医療・介護・福祉施設に回答を依頼し、3,936施設から有効な回答が得られた。
(有効回答率45.4%)

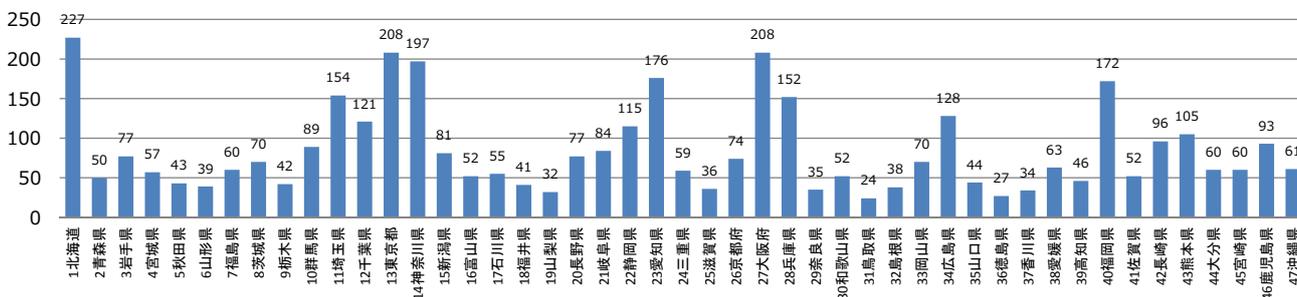
2) 施設の種別別 回答状況

	度数	%
TOTAL	3936	100.0
医療機関	2746	69.8
福祉施設	712	18.1
在宅サービス事業所	365	9.3
その他 具体的に:	113	2.9

3) 都道府県別 回答状況

単位：度数

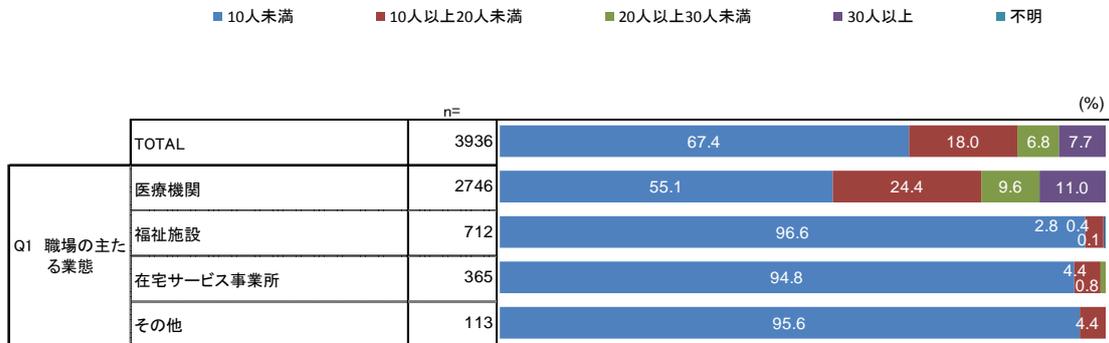
都道府県別 回答状況



1. 基本情報

4) 従事する理学療法士の人数

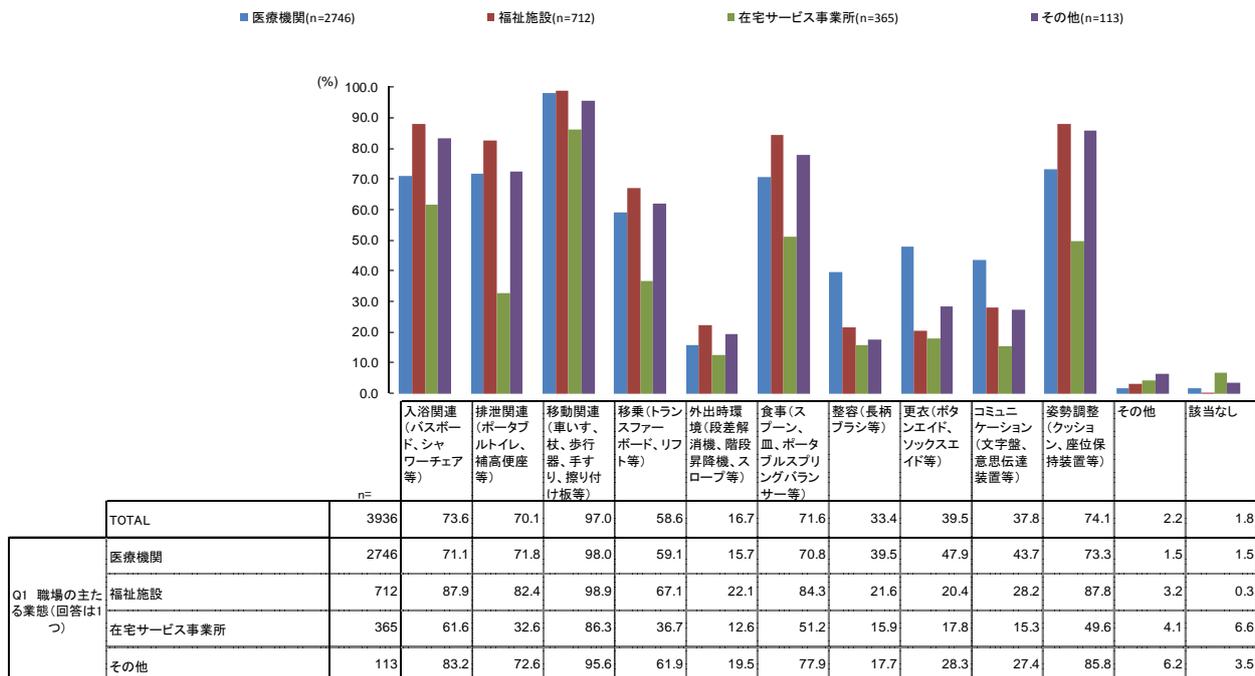
従事する理学療法士の人数が10人未満の割合は、医療機関で55.1%、福祉施設で96.6%、在宅サービス事業所で94.8%であった。



1. 基本情報

5) 備品の設備状況 (福祉用具)

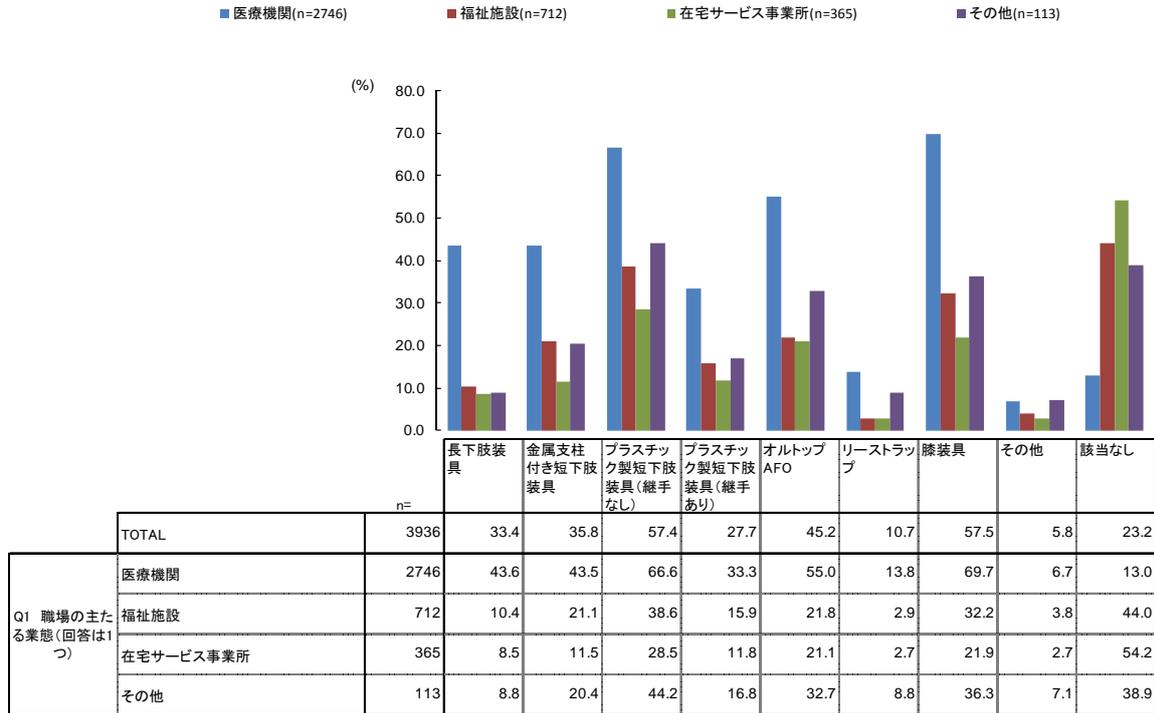
備品 (福祉用具) の設備状況は、医療機関、福祉施設、在宅サービスで異なる。



1. 基本情報

6) 備品の設備状況 (装具)

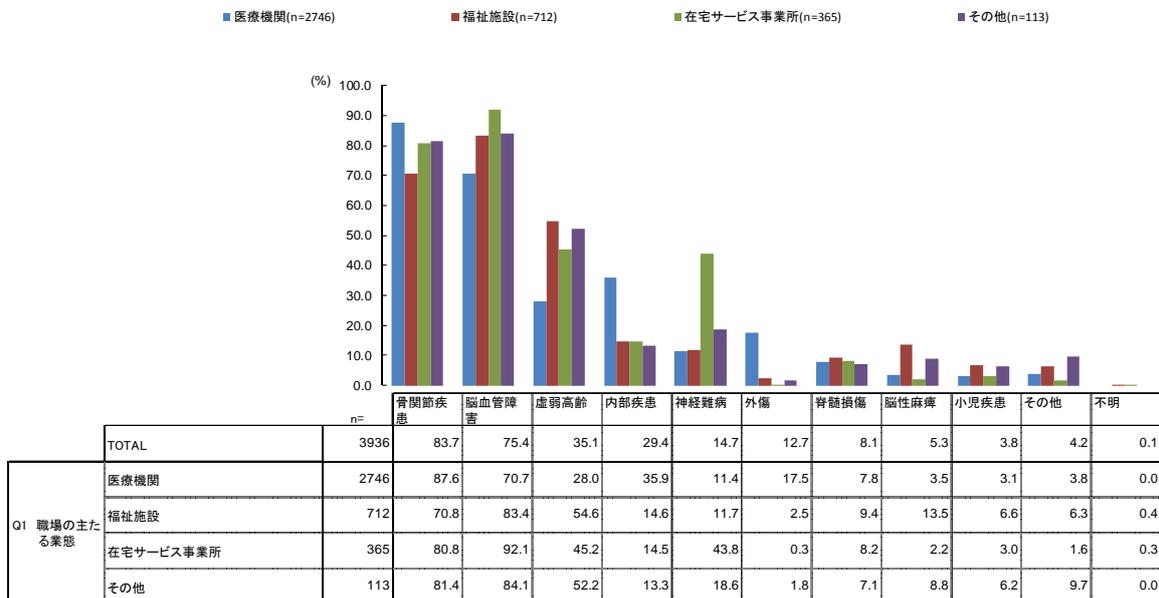
備品 (装具) の設備状況は、医療機関、福祉施設、在宅サービスで異なる。



1. 基本情報

7) 主に携わる疾患

共通して骨関節疾患、脳血管障害を患う患者が多い。



1. 基本情報

8) 理学療法士が福祉用具・義肢・装具支援に関わる患者・利用者の割合

福祉用具・義肢・装具では理学療法士の関わりに差がある。

理学療法士が関わる支援対象者全体のうち
福祉用具の支援を必要とする患者・利用者の割合 (%)

1段目 度数 2段目 横%	0	1	2	3	4	5
	TOTAL	平均値	中央値	標準偏差	最小値	最大値
0 TOTAL	3936 100.0	52.0	50	30.10	0	100
1 医療機関	2746 100.0	44.0	40	29.90	0	100
2 福祉施設	712 100.0	71.0	80	25.70	0	100
3 在宅サービス事業所	365 100.0	70.0	80	26.50	0	100
4 その他	113 100.0	66.0	80	29.20	0	100

理学療法士が関わる支援対象者全体のうち
義肢の支援を必要とする患者・利用者の割合 (%)

1段目 度数 2段目 横%	0	1	2	3	4	5
	TOTAL	平均値	中央値	標準偏差	最小値	最大値
0 TOTAL	3936 100.0	4.0	0	10.50	0	100
1 医療機関	2746 100.0	4.0	0	11.30	0	100
2 福祉施設	712 100.0	3.0	0	9.80	0	100
3 在宅サービス事業所	365 100.0	2.0	0	4.90	0	50
4 その他	113 100.0	2.0	0	4.00	0	20

理学療法士が関わる支援対象者全体のうち
装具の支援を必要とする患者・利用者の割合 (%)

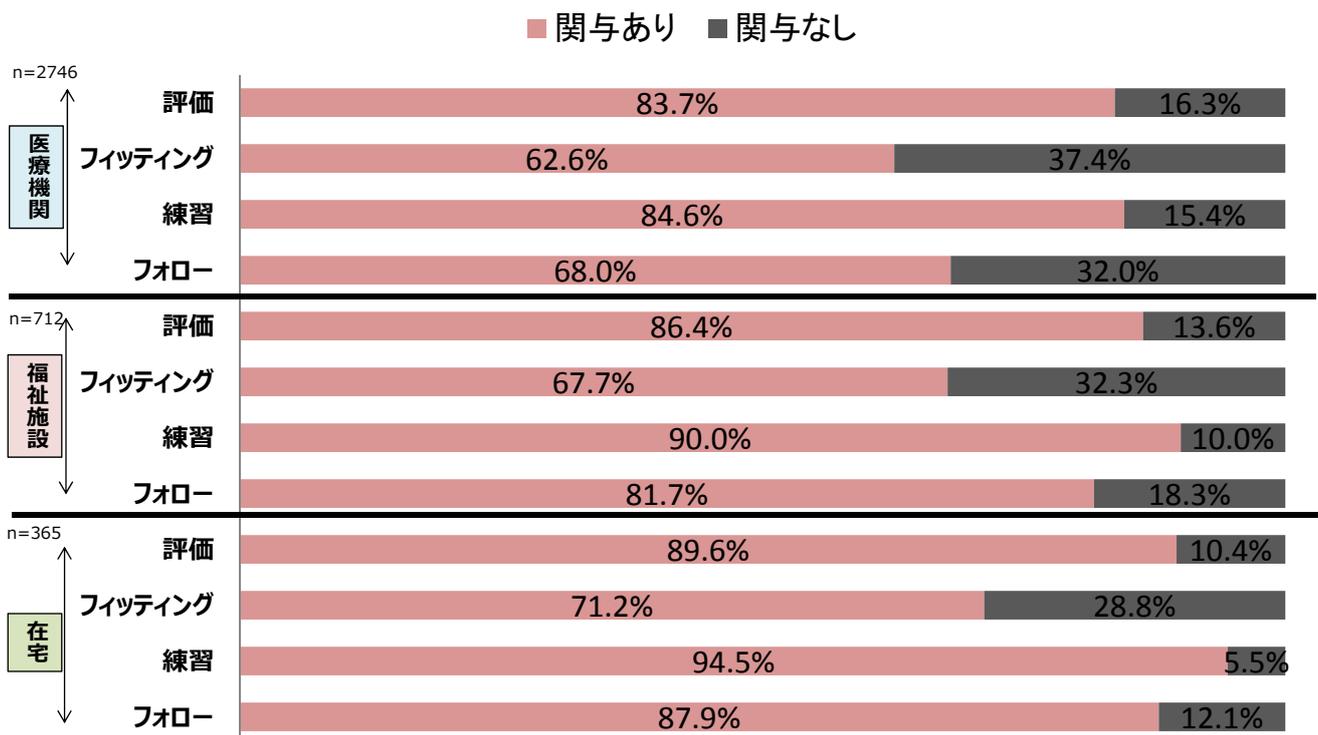
1段目 度数 2段目 横%	0	1	2	3	4	5
	TOTAL	平均値	中央値	標準偏差	最小値	最大値
0 TOTAL	3936 100.0	21.0	10	19.20	0	100
1 医療機関	2746 100.0	22.0	10	20.00	0	100
2 福祉施設	712 100.0	20.0	10	17.70	0	100
3 在宅サービス事業所	365 100.0	19.0	20	14.30	0	80
4 その他	113 100.0	24.0	20	21.20	0	90

2. 福祉用具・義肢・装具支援に関する、理学療法士の関与状況

2. 福祉用具・義肢・装具支援に関する、理学療法士の関与状況

1) 理学療法士の福祉用具への関与状況

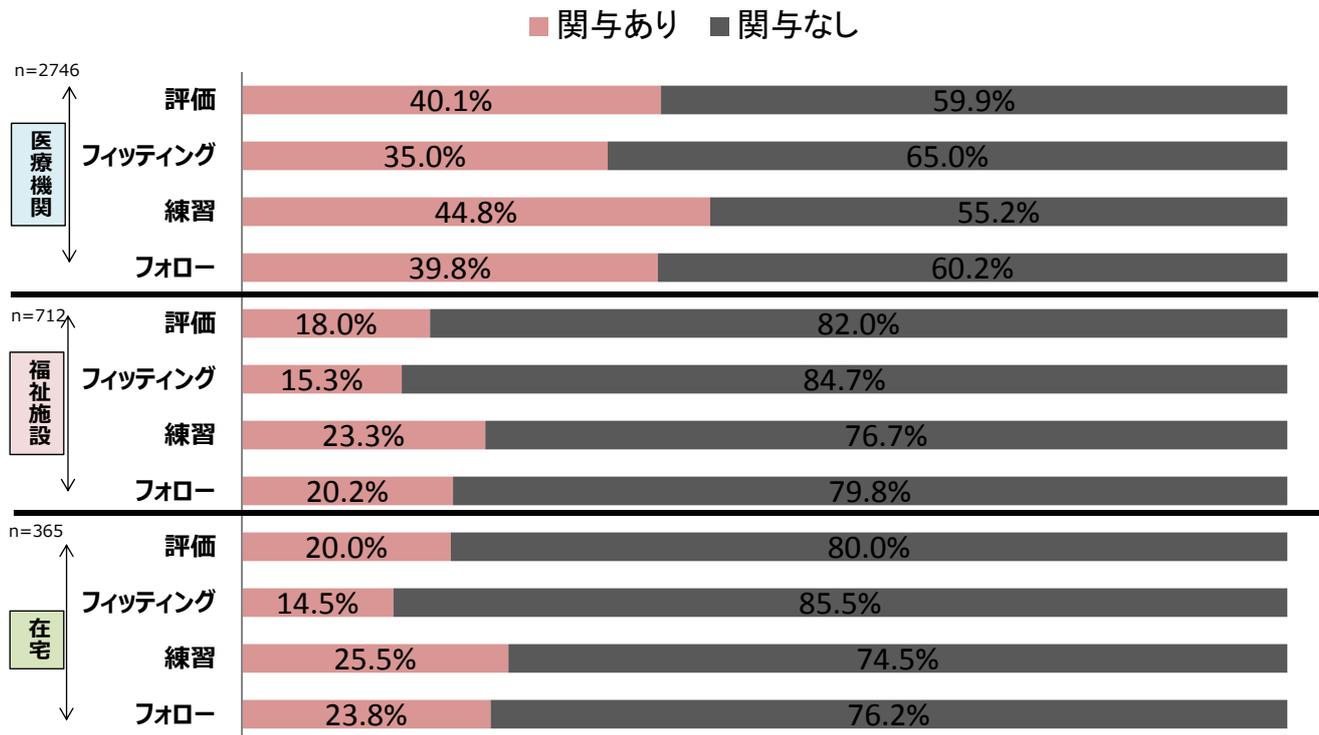
福祉用具を導入する際の評価に、理学療法士が関わっている割合は医療機関で84%、福祉施設で86%、在宅で90%程度である。



2. 福祉用具・義肢・装具支援に関する、理学療法士の関与状況

2) 理学療法士の義肢への関与状況

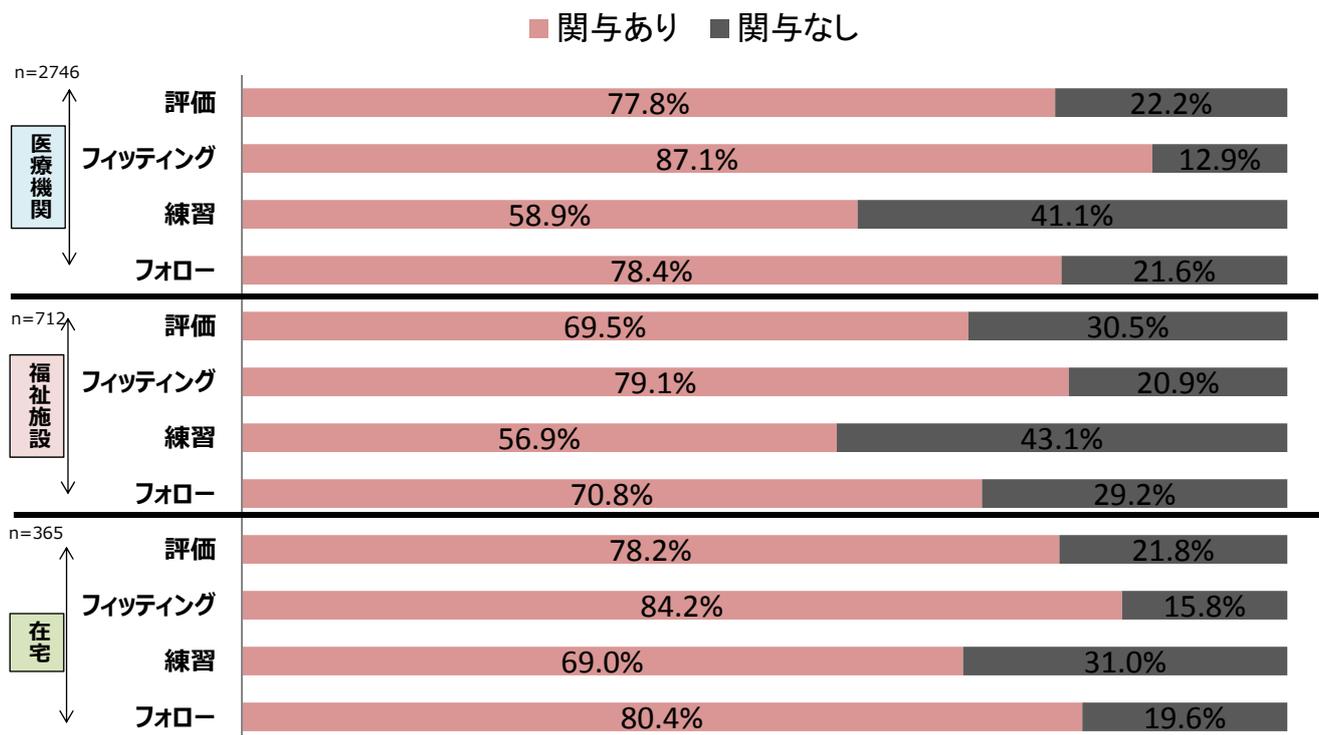
義肢を導入する際の評価に、理学療法士が関わっている割合は医療機関で40%、福祉施設で18%、在宅で20%程度である。



2. 福祉用具・義肢・装具支援に関する、理学療法士の関与状況

3) 理学療法士の装具への関与状況

装具を導入する際の評価に、理学療法士が関わっている割合は医療機関で78%、福祉施設で70%、在宅で78%程度である。



3. 福祉用具・義肢・装具の支援に関与する、理学療法士以外の職種

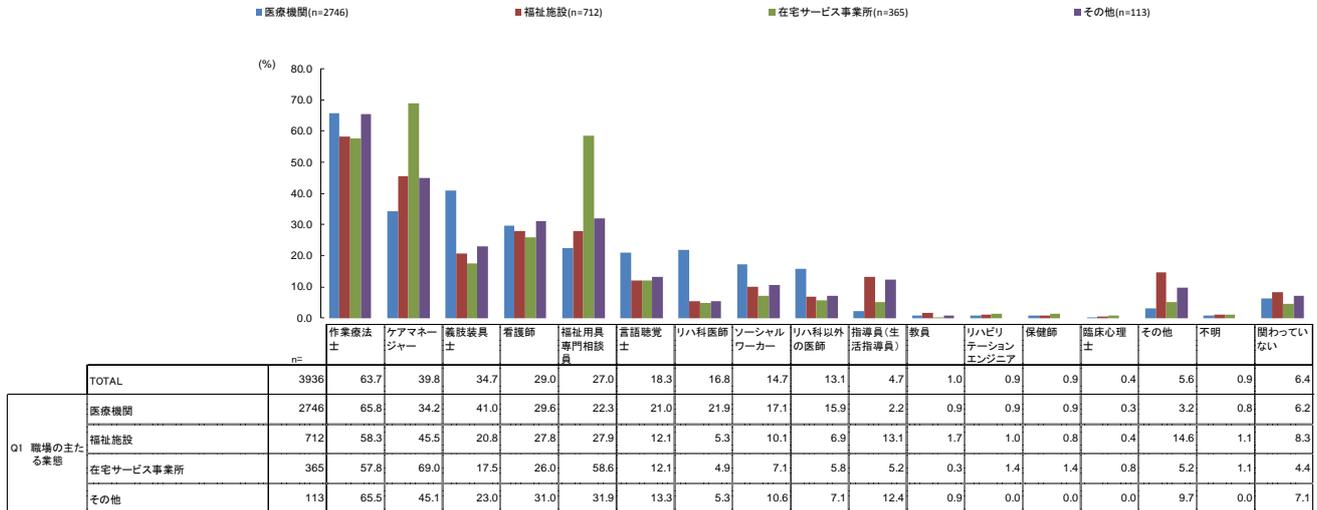
福祉用具について

3. 福祉用具・義肢・装具の支援に関与する、理学療法士以外の職種

1) 福祉用具の評価に関わる、理学療法士以外の職種

理学療法士以外に、作業療法士やケアマネジャー、義肢装具士、看護師、福祉用具相談員等が評価を行っている。

理学療法士以外に評価に関わる職種

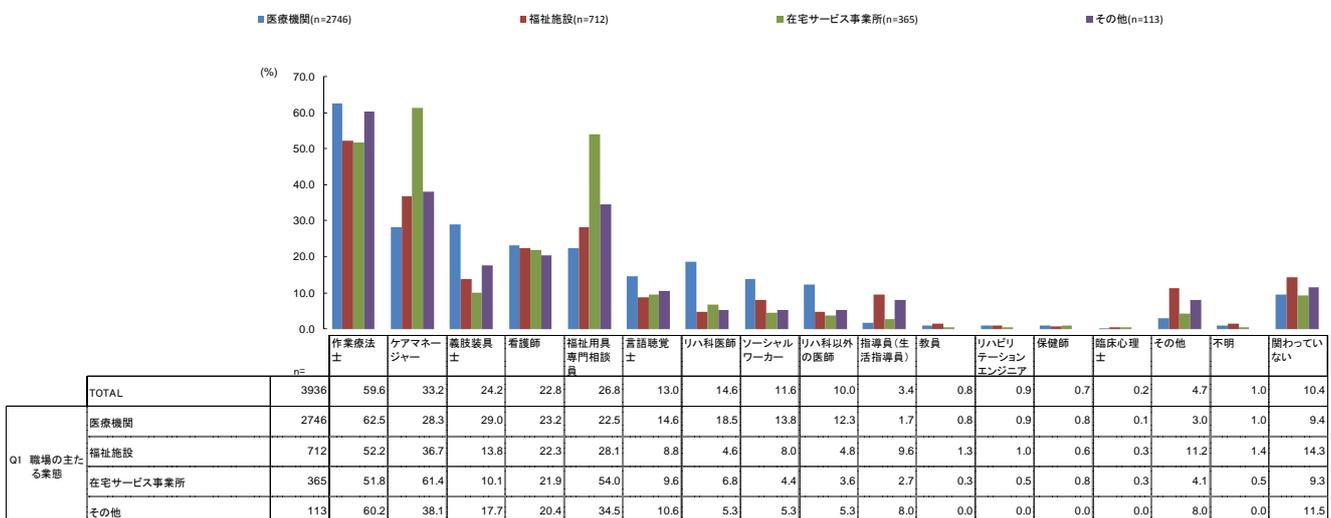


3. 福祉用具・義肢・装具の支援に関与する、理学療法士以外の職種

2) 福祉用具のフィッティングに関わる、理学療法士以外の職種

理学療法士以外に、作業療法士やケアマネジャー、義肢装具士、看護師、福祉用具相談員等がフィッティングを行っている。

理学療法士以外にフィッティングに関わる職種

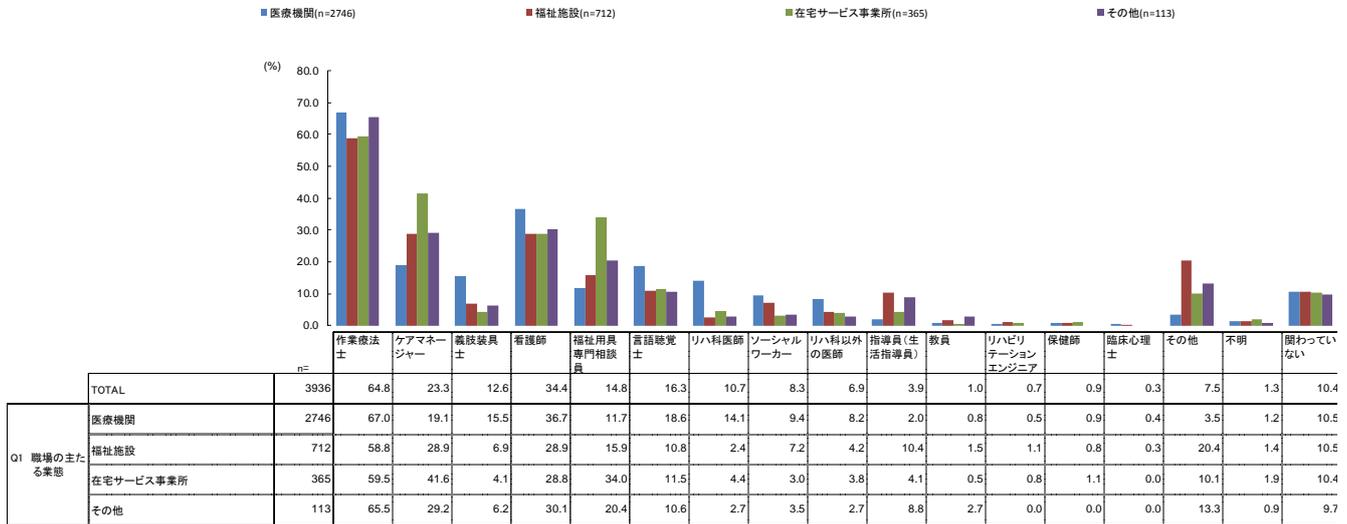


3. 福祉用具・義肢・装具の支援に関与する、理学療法士以外の職種

3) 福祉用具を用いた練習に関わる、理学療法士以外の職種

理学療法士以外に、作業療法士やケアマネジャー、義肢装具士、看護師、福祉用具相談員等が練習を行っている。

理学療法士以外に練習に関わる職種

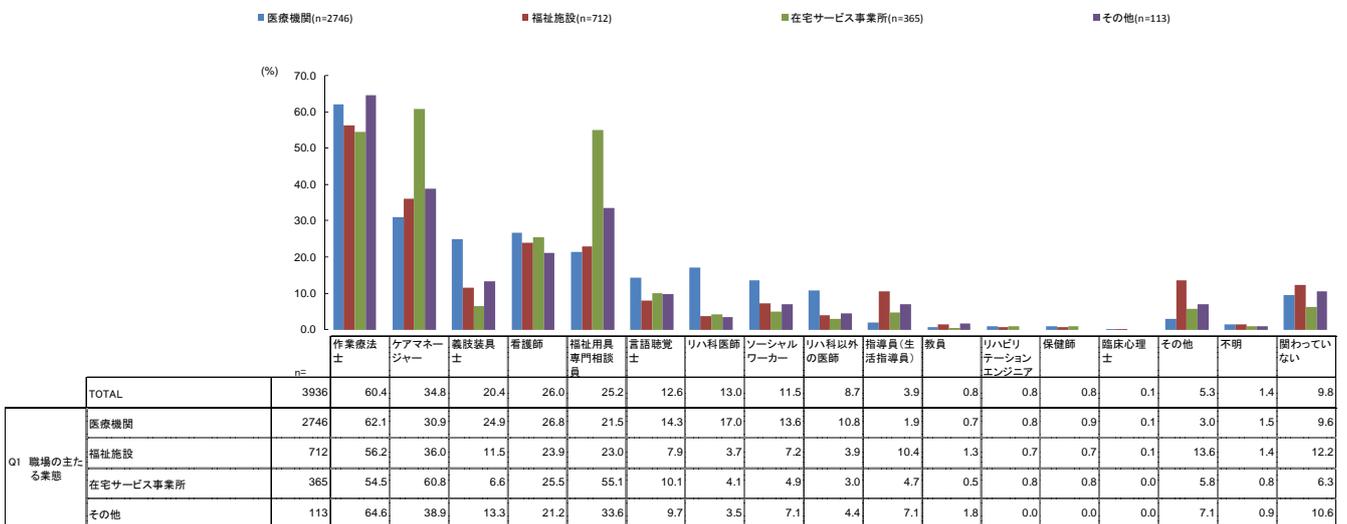


3. 福祉用具・義肢・装具の支援に関与する、理学療法士以外の職種

4) 福祉用具の導入後のフォローに関わる、理学療法士以外の職種

理学療法士以外に、作業療法士やケアマネジャー、義肢装具士、看護師、福祉用具相談員等がフォローを行っている。

理学療法士以外にフォローに関わる職種



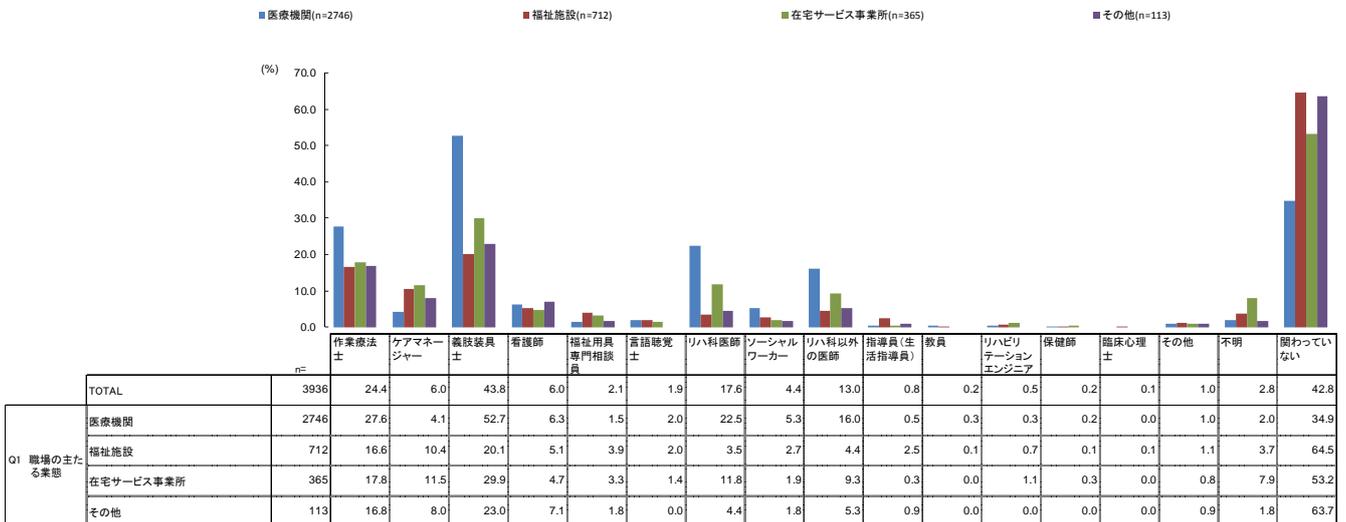
義肢について

3. 福祉用具・義肢・装具の支援に関与する、理学療法士以外の職種

5) 義肢の評価に関わる、理学療法士以外の職種

理学療法士以外に、医療機関では義肢装具士が評価を行っているケースが多い。

理学療法士以外に評価に関わる職種

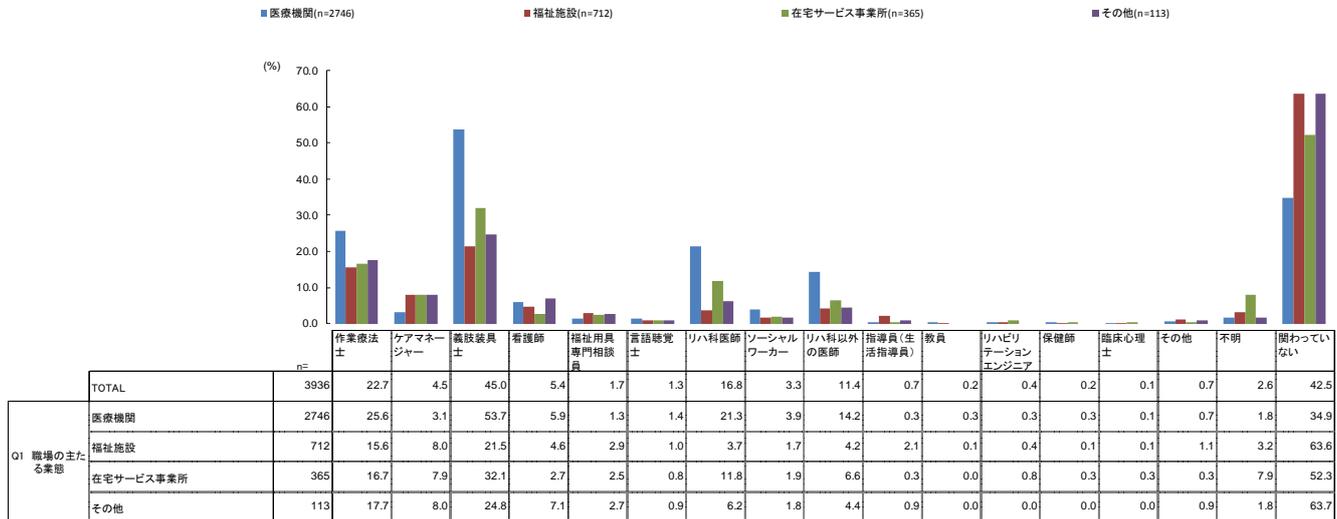


3. 福祉用具・義肢・装具の支援に関与する、理学療法士以外の職種

6) 義肢導入時のフィッティングに関わる、理学療法士以外の職種

理学療法士以外に、医療機関では義肢装具士がフィッティングを行っているケースが多い。

理学療法士以外にフィッティングに関わる職種

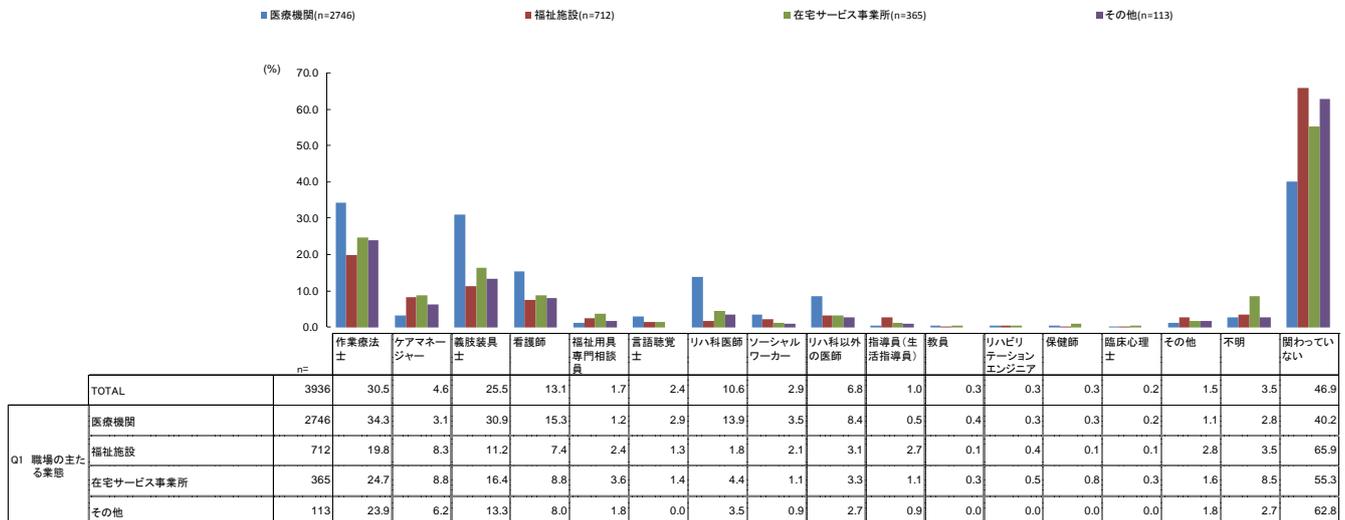


3. 福祉用具・義肢・装具の支援に関与する、理学療法士以外の職種

7) 義肢のADL練習に関わる、理学療法士以外の職種

理学療法士以外に、医療機関では作業療法士がADL練習を行っているケースが多い。

理学療法士以外にADL練習に関わる職種

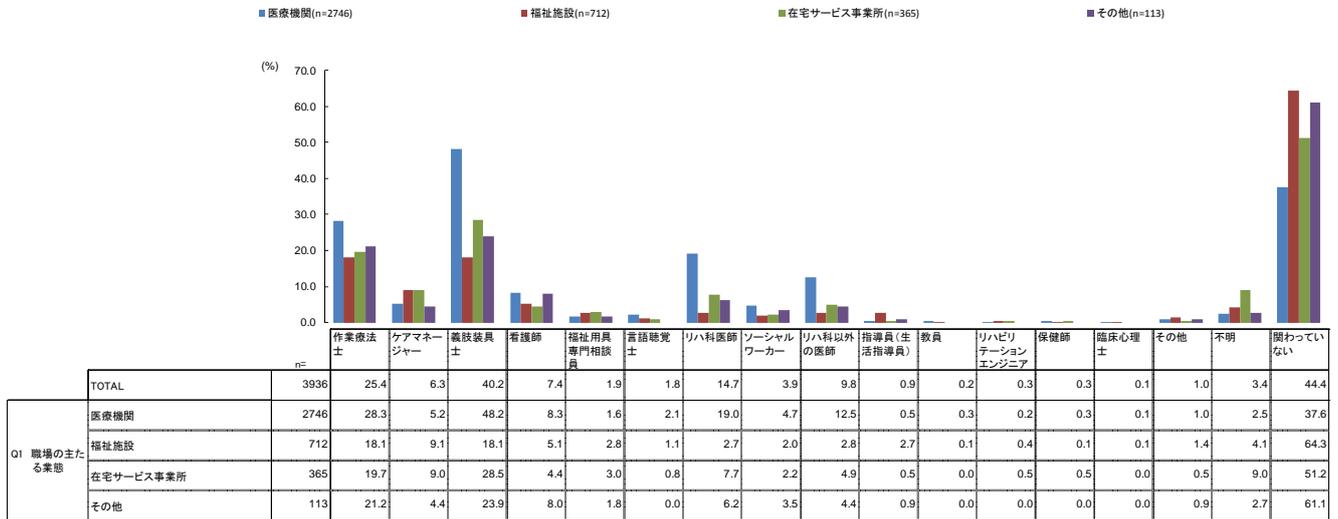


3. 福祉用具・義肢・装具の支援に関与する、理学療法士以外の職種

8) 義肢導入後のフォローに関わる、理学療法士以外の職種

理学療法士以外に、医療機関では義肢装具士がフォローを行っているケースが多い。

理学療法士以外にフォローに関わる職種



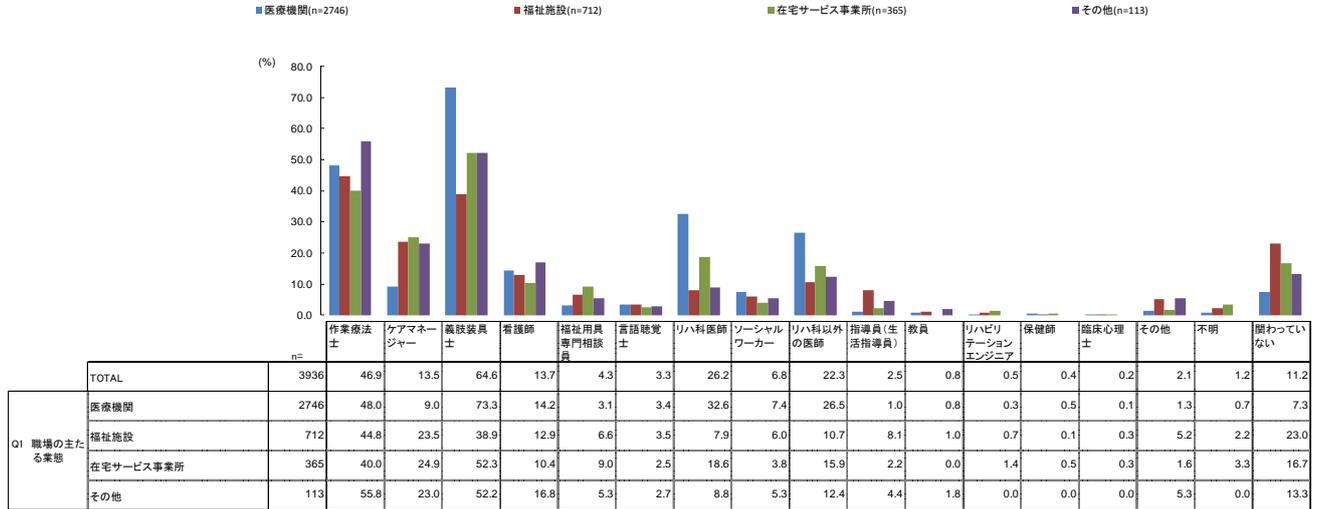
装具について

3. 福祉用具・義肢・装具の支援に関与する、理学療法士以外の職種

9) 装具の評価に関わる、理学療法士以外の職種

理学療法士以外に、義肢装具士や作業療法士が評価に関わっているケースが多い。

理学療法士以外に評価に関わる職種

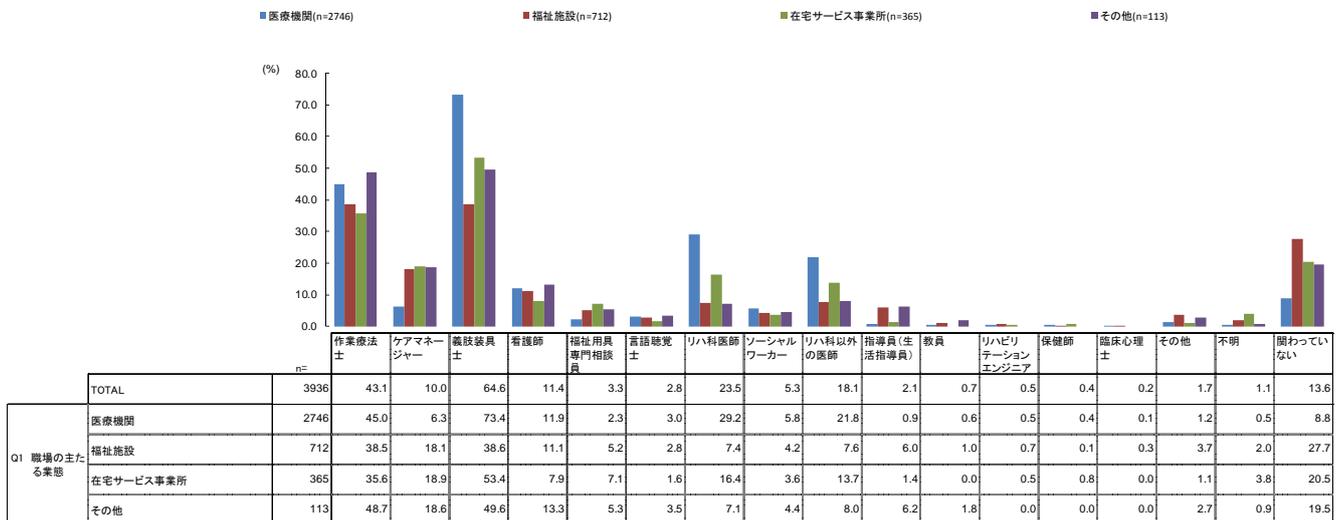


3. 福祉用具・義肢・装具の支援に関与する、理学療法士以外の職種

10) 装具のフィッティングに関わる、理学療法士以外の職種

理学療法士以外に、義肢装具士や作業療法士がフィッティングに関わっているケースが多い。

理学療法士以外にフィッティングに関わる職種

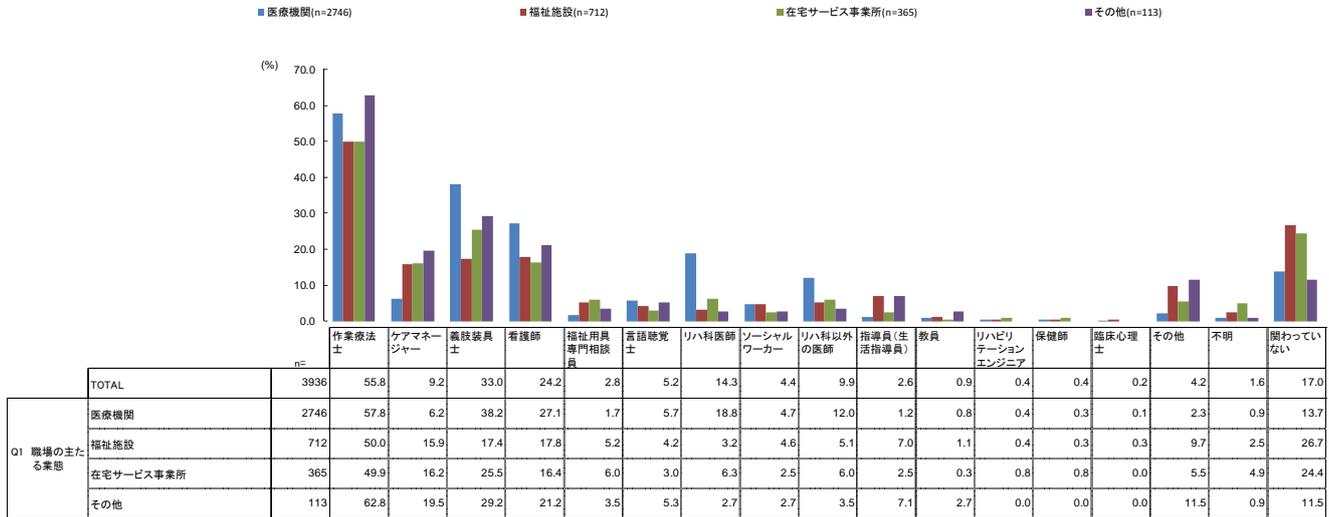


3. 福祉用具・義肢・装具の支援に関与する、理学療法士以外の職種

1 1) 装具のADL練習に関わる、理学療法士以外の職種

理学療法士以外に、義肢装具士や作業療法士、看護師がADL練習に関わっているケースが多い。

理学療法士以外にADL練習に関わる職種

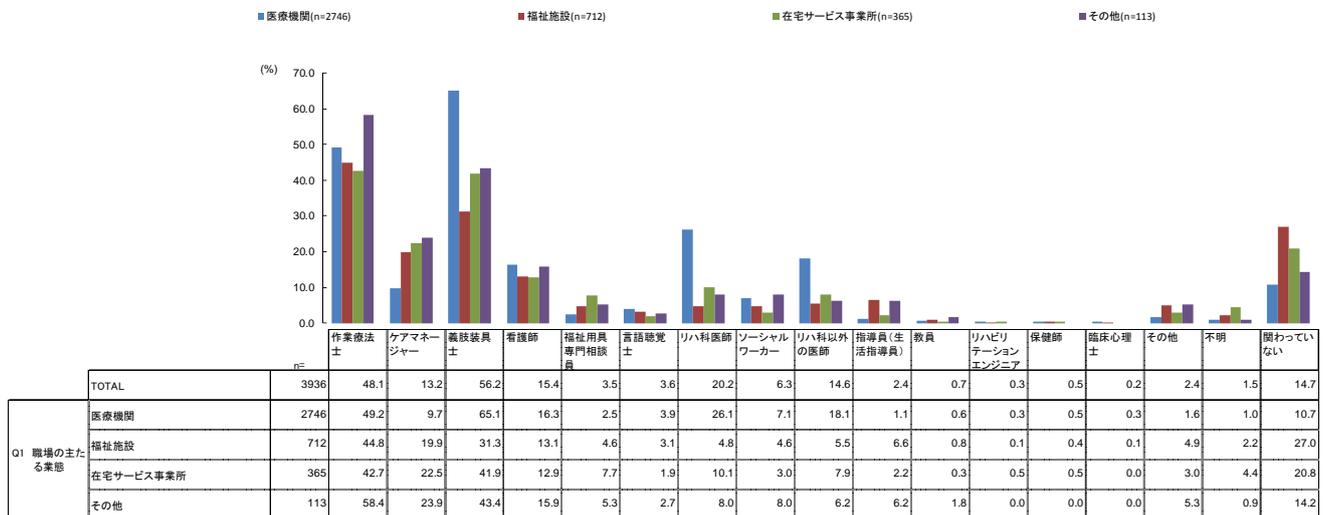


3. 福祉用具・義肢・装具の支援に関与する、理学療法士以外の職種

1 2) 装具導入後のフォローに関わる、理学療法士以外の職種

理学療法士以外に、義肢装具士や作業療法士がフォローに関わっているケースが多い。

理学療法士以外にフォローに関わる職種



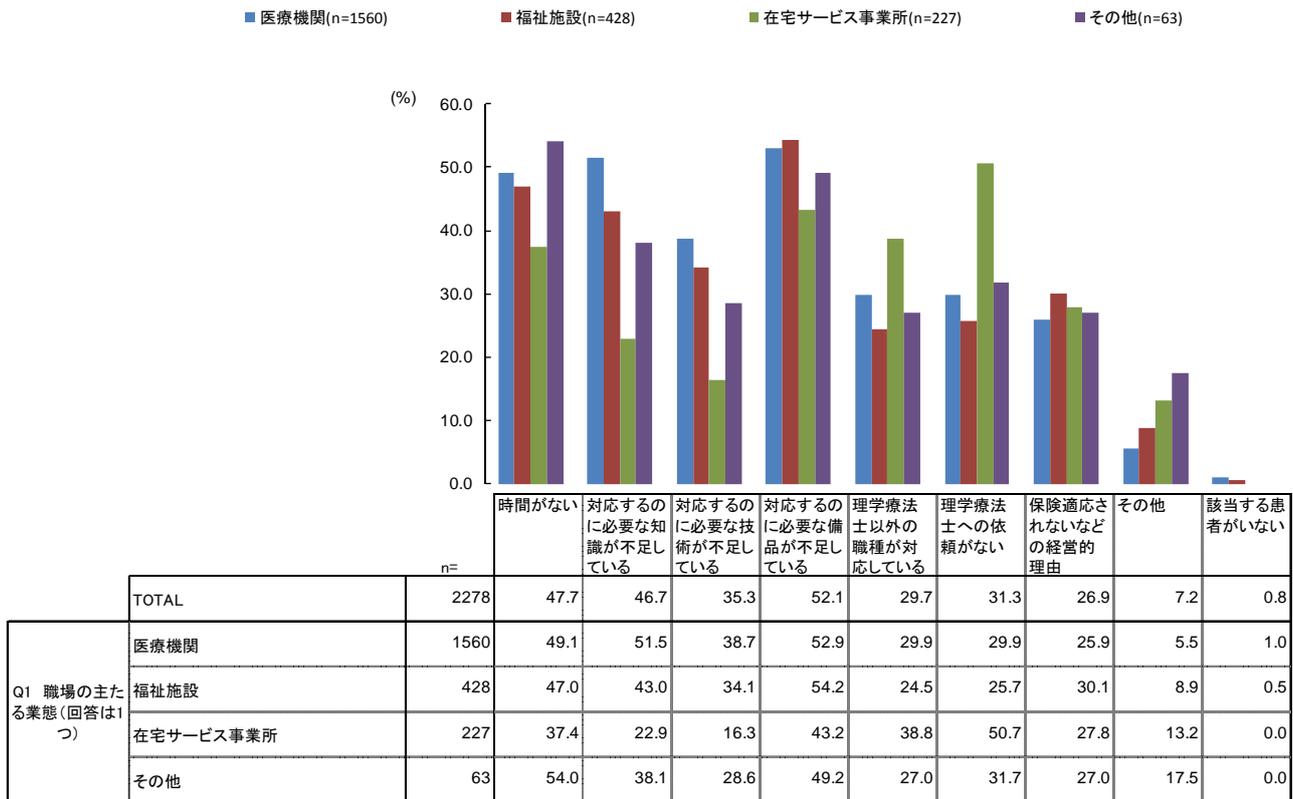
4. 福祉用具・義肢・装具の支援に 理学療法士が関与できない理由

福祉用具について

4. 福祉用具・義肢・装具の支援に理学療法士が関与できない理由

1) 理学療法士が福祉用具の評価に関与できない理由

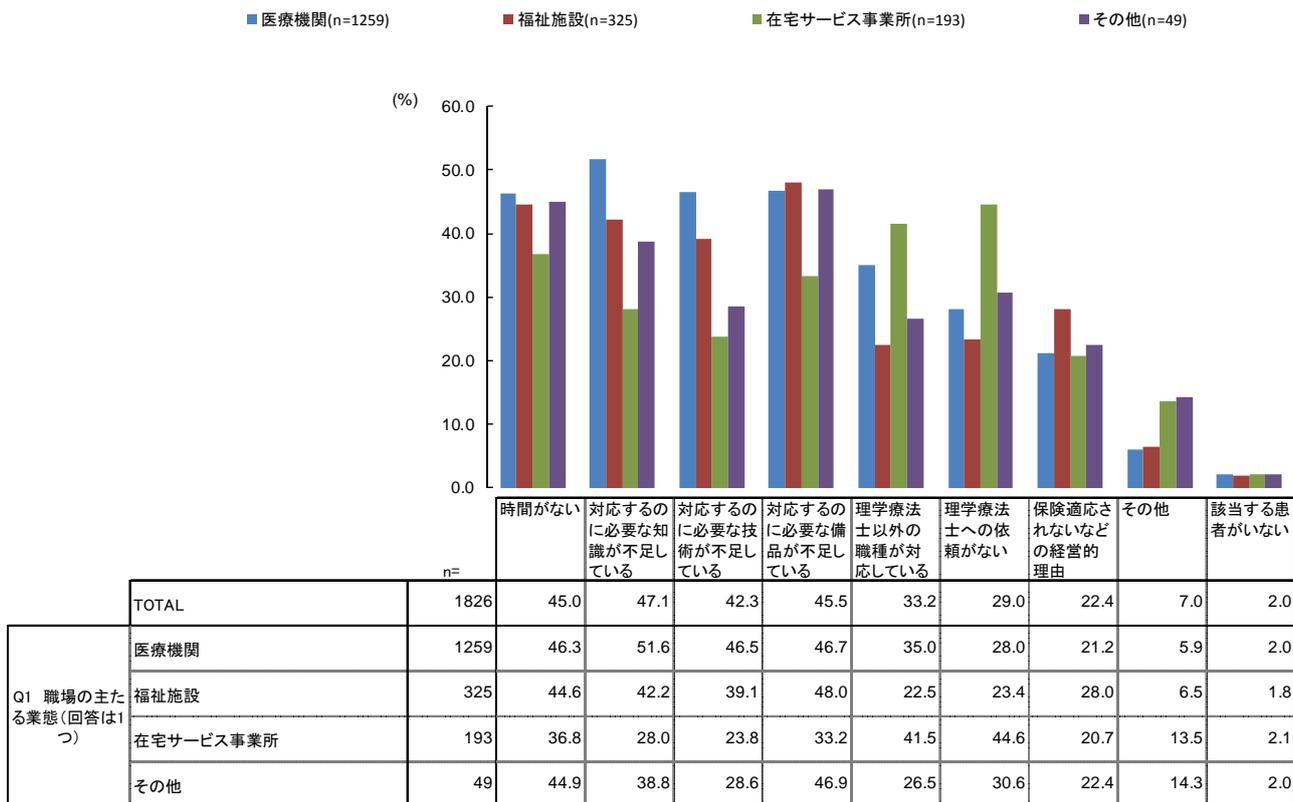
知識・技術の不足により理学療法士が関与できていないケースが一定数存在する。



4. 福祉用具・義肢・装具の支援に理学療法士が関与できない理由

2) 理学療法士が福祉用具のフィッティングに関与できない理由

知識・技術の不足により理学療法士が関与できていないケースが一定数存在する。

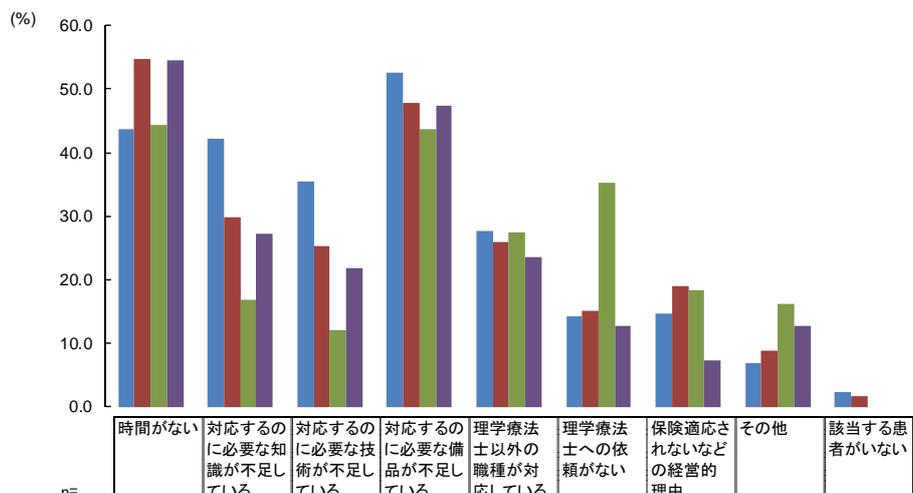


4. 福祉用具・義肢・装具の支援に理学療法士が関与できない理由

3) 理学療法士が福祉用具の練習に関与できない理由

知識・技術の不足により理学療法士が関与できていないケースが一定数存在する。

■ 医療機関(n=1193) ■ 福祉施設(n=312) ■ 在宅サービス事業所(n=142) ■ その他(n=55)



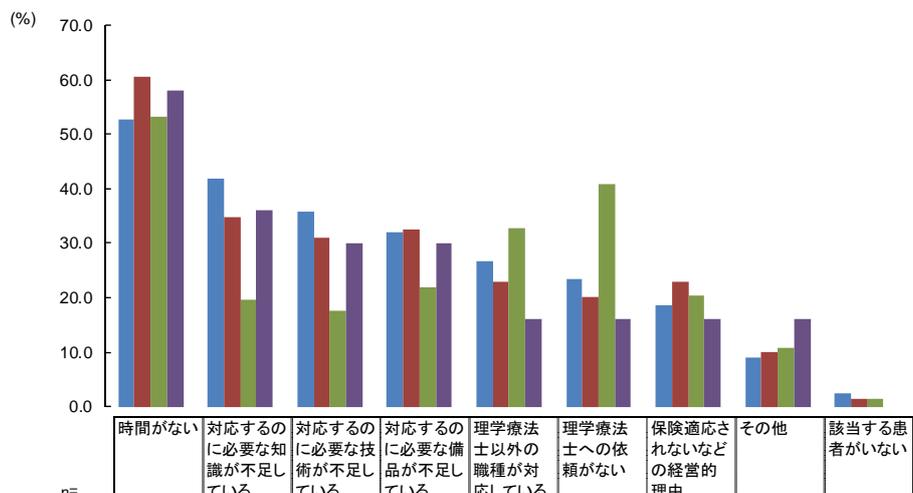
職場の主な業態 (回答は1つ)	n	理由 (%)								
		時間がない	対応するのに必要な知識が不足している	対応するのに必要な技術が不足している	対応するのに必要な備品が不足している	理学療法士以外の職種が対応している	理学療法士への依頼がない	保険適応されないなどの経営的理由	その他	該当する患者がいない
TOTAL	1702	46.1	37.3	31.2	50.8	27.2	16.2	15.5	8.1	1.8
医療機関	1193	43.7	42.2	35.5	52.6	27.7	14.3	14.7	6.8	2.2
福祉施設	312	54.8	29.8	25.3	47.8	26.0	15.1	18.9	8.7	1.6
在宅サービス事業所	142	44.4	16.9	12.0	43.7	27.5	35.2	18.3	16.2	0.0
その他	55	54.5	27.3	21.8	47.3	23.6	12.7	7.3	12.7	0.0

4. 福祉用具・義肢・装具の支援に理学療法士が関与できない理由

4) 理学療法士が福祉用具のフォローに関与できない理由

知識・技術の不足により理学療法士が関与できていないケースが一定数存在する。

■ 医療機関(n=1143) ■ 福祉施設(n=284) ■ 在宅サービス事業所(n=137) ■ その他(n=50)



職場の主な業態 (回答は1つ)	n	理由 (%)								
		時間がない	対応するのに必要な知識が不足している	対応するのに必要な技術が不足している	対応するのに必要な備品が不足している	理学療法士以外の職種が対応している	理学療法士への依頼がない	保険適応されないなどの経営的理由	その他	該当する患者がいない
TOTAL	1614	54.3	38.6	33.1	31.2	26.1	24.0	19.5	9.5	2.0
医療機関	1143	52.8	41.9	35.7	32.1	26.6	23.3	18.7	8.9	2.4
福祉施設	284	60.6	34.9	31.0	32.4	22.9	20.1	22.9	9.9	1.4
在宅サービス事業所	137	53.3	19.7	17.5	21.9	32.8	40.9	20.4	10.9	1.5
その他	50	58.0	36.0	30.0	30.0	16.0	16.0	16.0	16.0	0.0

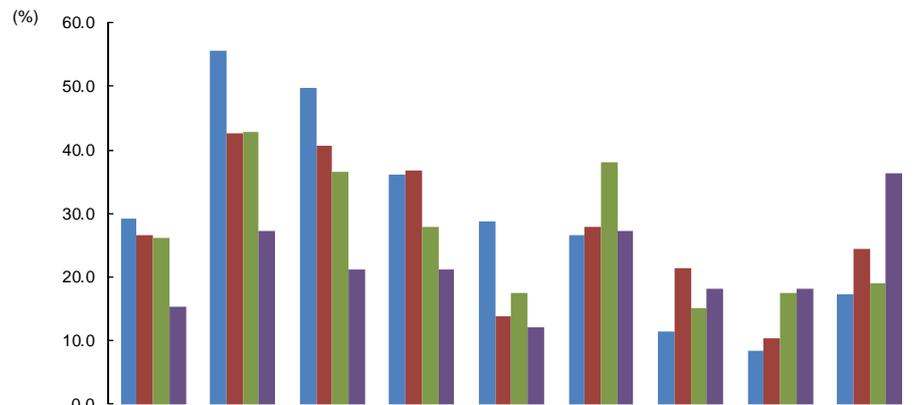
義肢について

4. 福祉用具・義肢・装具の支援に理学療法士が関与できない理由

5) 理学療法士が義肢の評価に関与できない理由

知識・技術の不足により理学療法士が関与できていないケースが一定数存在する。

■ 医療機関(n=1061) ■ 福祉施設(n=234) ■ 在宅サービス事業所(n=126) ■ その他(n=33)

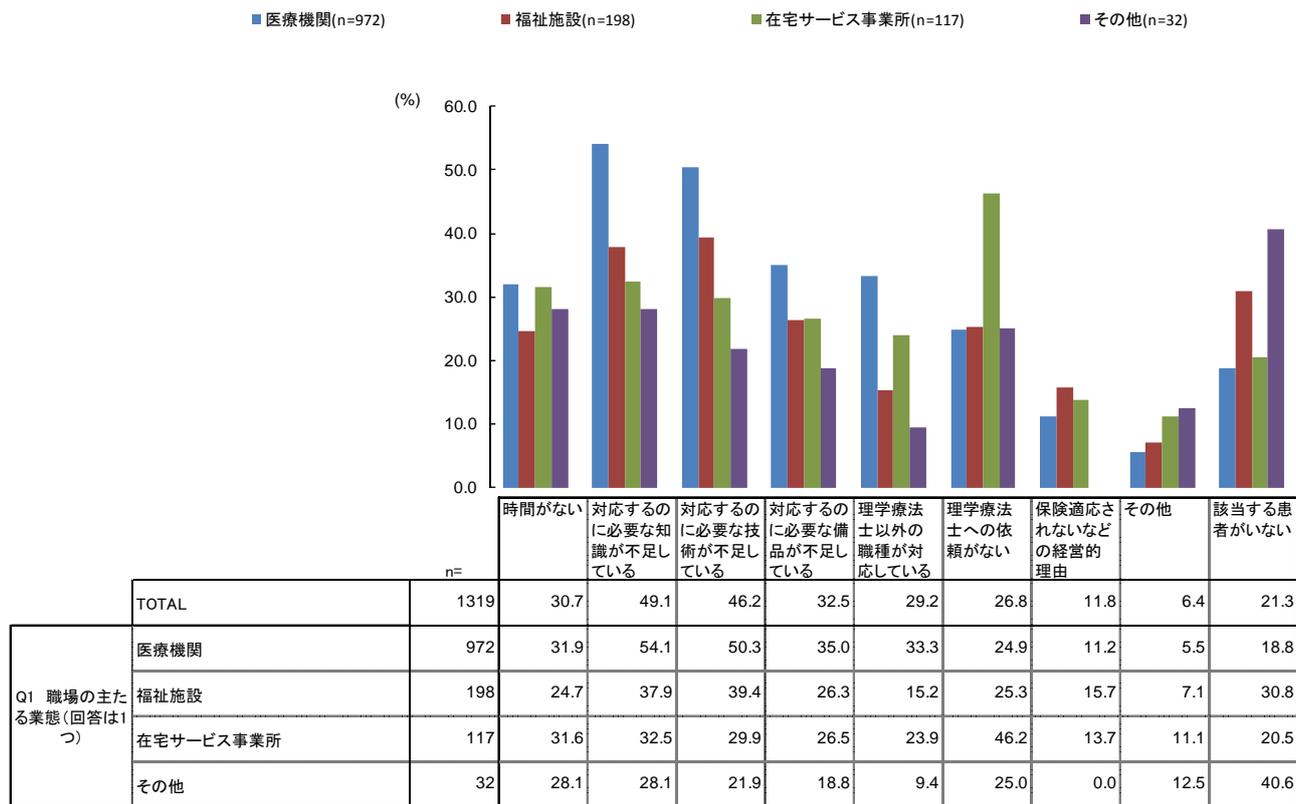


Q1 職場の主たる業態(回答は1つ)	n=	時間がない	対応するのに必要な知識が不足している	対応するのに必要な技術が不足している	対応するのに必要な備品が不足している	理学療法士以外の職種が対応している	理学療法士への依頼がない	保険適応されないなどの経営的理由	その他	該当する患者がいない
		(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
TOTAL	1454	28.1	51.8	46.5	35.2	25.0	27.7	13.5	9.6	18.9
医療機関	1061	29.1	55.6	49.8	36.2	28.7	26.5	11.4	8.3	17.2
福祉施設	234	26.5	42.7	40.6	36.8	13.7	27.8	21.4	10.3	24.4
在宅サービス事業所	126	26.2	42.9	36.5	27.8	17.5	38.1	15.1	17.5	19.0
その他	33	15.2	27.3	21.2	21.2	12.1	27.3	18.2	18.2	36.4

4. 福祉用具・義肢・装具の支援に理学療法士が関与できない理由

6) 理学療法士が義肢のフィッティングに関与できない理由

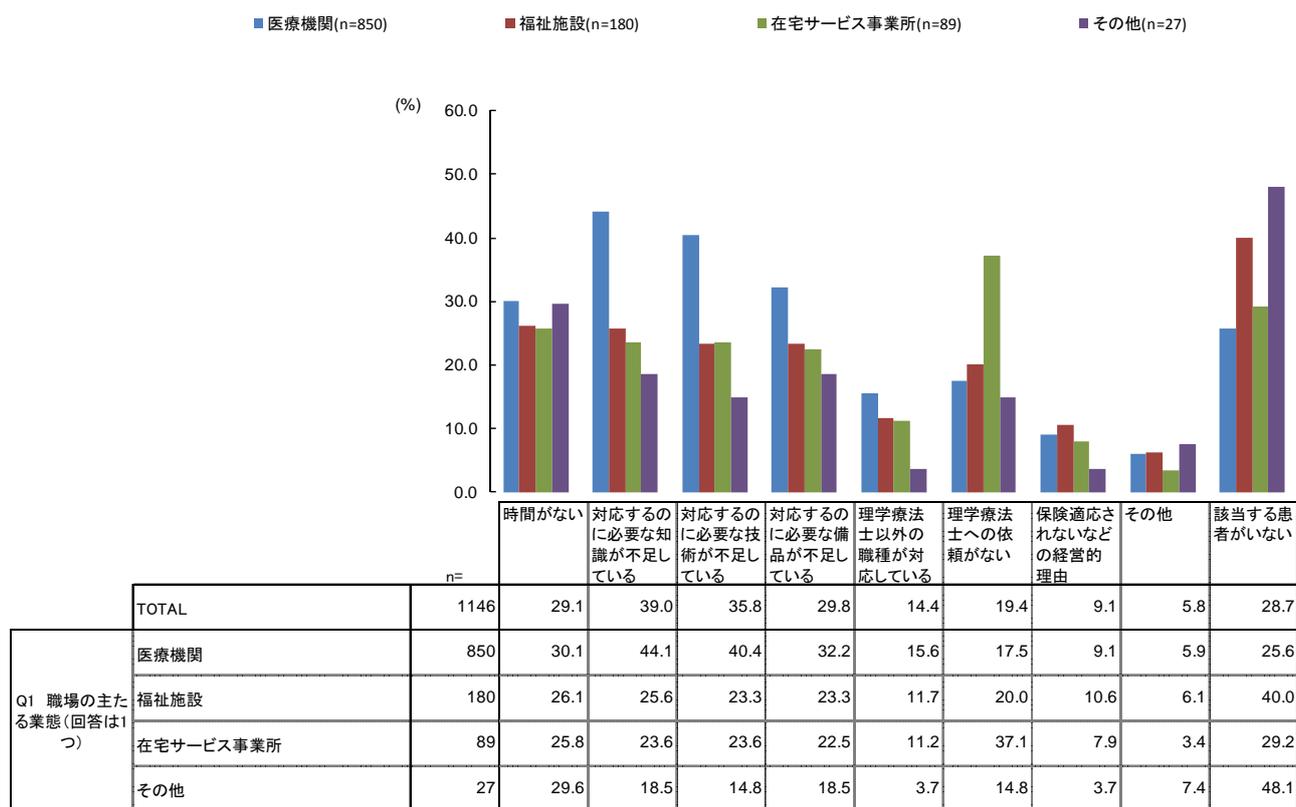
知識・技術の不足により理学療法士が関与できていないケースが一定数存在する。



4. 福祉用具・義肢・装具の支援に理学療法士が関与できない理由

7) 理学療法士が義肢の練習に関与できない理由

知識・技術の不足により理学療法士が関与できていないケースが一定数存在する。

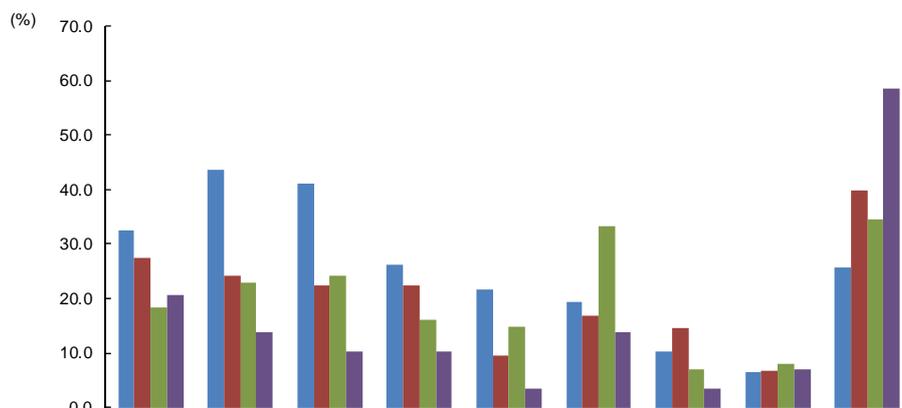


4. 福祉用具・義肢・装具の支援に理学療法士が関与できない理由

8) 理学療法士が義肢のフォローに関与できない理由

知識・技術の不足により理学療法士が関与できていないケースが一定数存在する。

■ 医療機関(n=874) ■ 福祉施設(n=178) ■ 在宅サービス事業所(n=87) ■ その他(n=29)



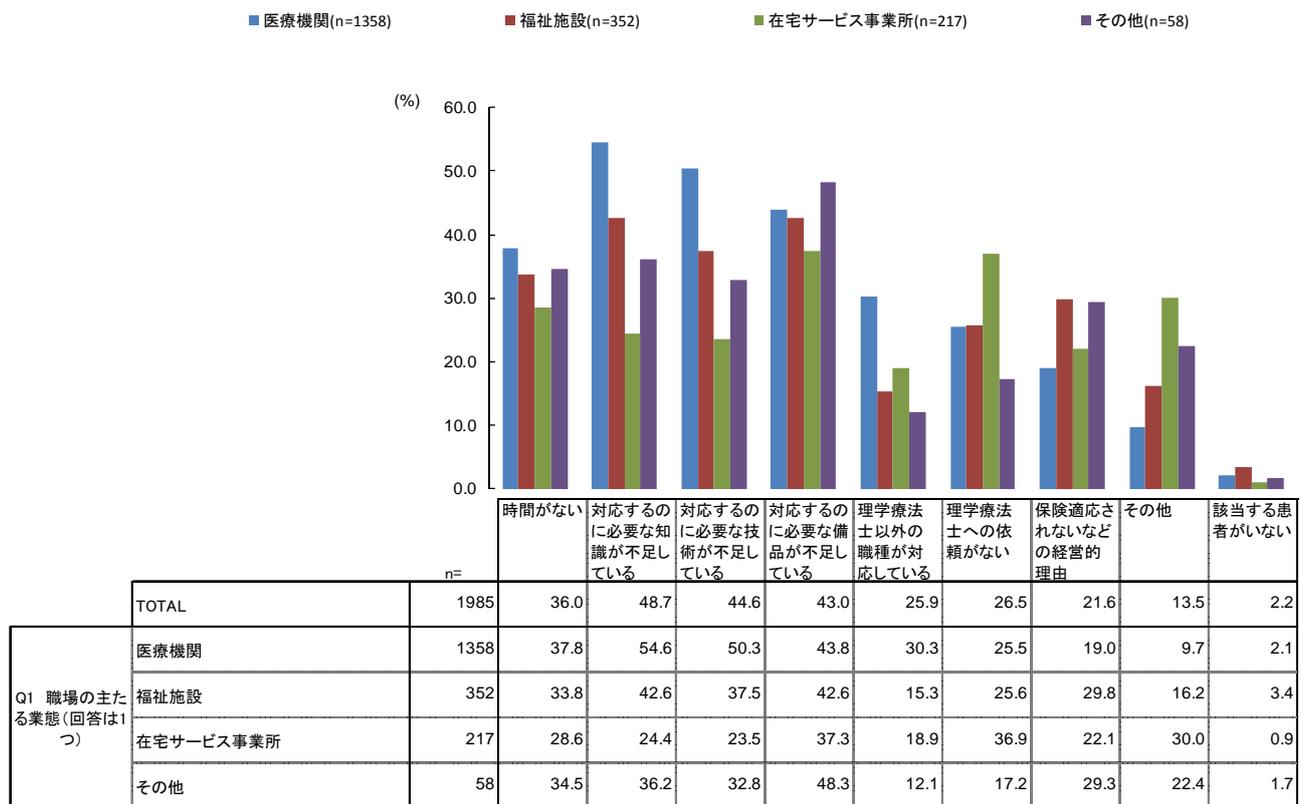
		n=	時間がない	対応するのに必要な知識が不足している	対応するのに必要な技術が不足している	対応するのに必要な備品が不足している	理学療法士以外の職種が対応している	理学療法士への依頼がない	保険適応されないなどの経営的理由	その他	該当する患者がいらない
TOTAL		1168	30.3	38.4	36.3	24.4	18.8	19.9	10.4	6.6	29.3
Q1 職場の主たる業態(回答は1つ)	医療機関	874	32.4	43.6	41.2	26.1	21.6	19.3	10.2	6.4	25.6
	福祉施設	178	27.5	24.2	22.5	22.5	9.6	16.9	14.6	6.7	39.9
	在宅サービス事業所	87	18.4	23.0	24.1	16.1	14.9	33.3	6.9	8.0	34.5
	その他	29	20.7	13.8	10.3	10.3	3.4	13.8	3.4	6.9	58.6

装具について

4. 福祉用具・義肢・装具の支援に理学療法士が関与できない理由

9) 理学療法士が装具の評価に関与できない理由

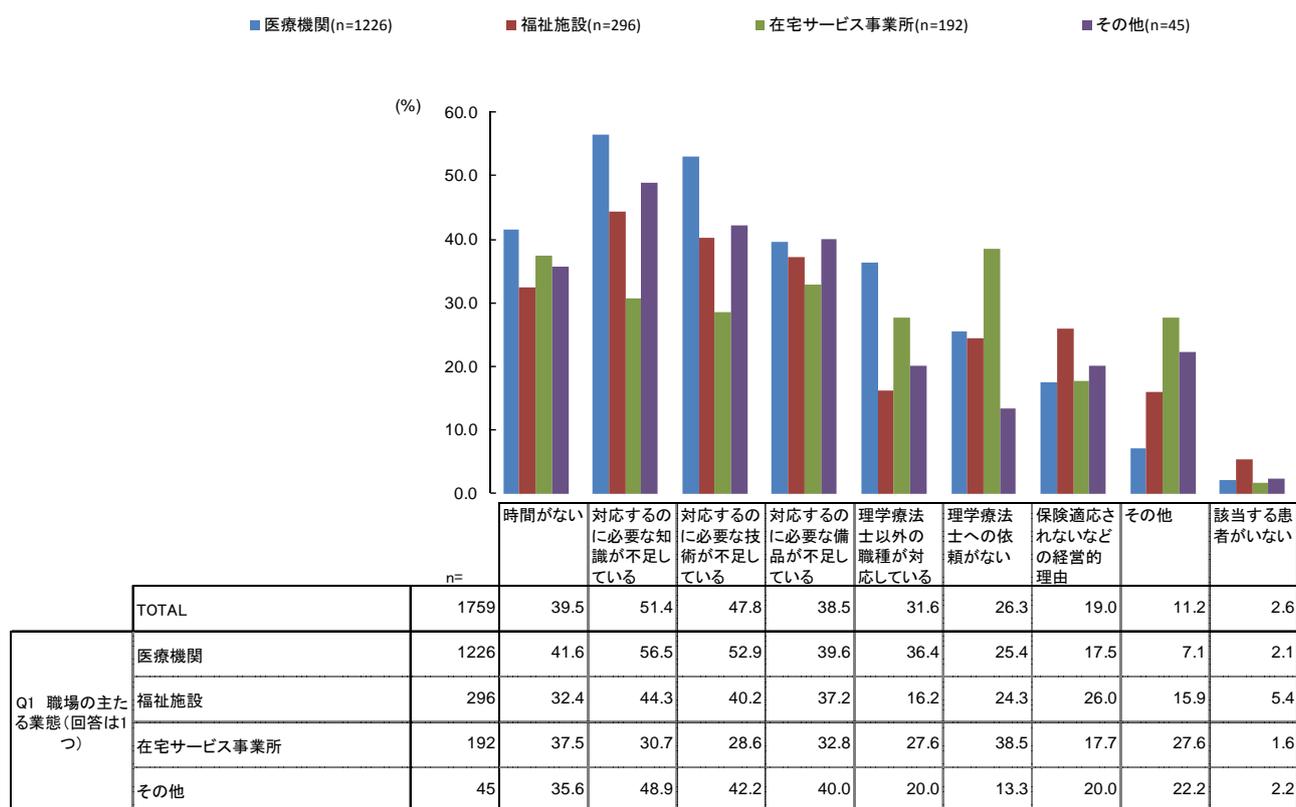
知識・技術の不足により理学療法士が関与できていないケースが一定数存在する。



4. 福祉用具・義肢・装具の支援に理学療法士が関与できない理由

10) 理学療法士が装具のフィッティングに関与できない理由

知識・技術の不足により理学療法士が関与できていないケースが一定数存在する。

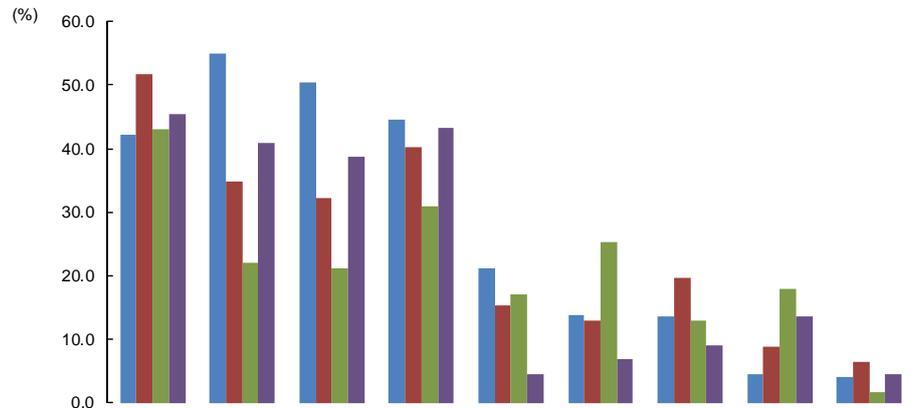


4. 福祉用具・義肢・装具の支援に理学療法士が関与できない理由

1 1) 理学療法士が装具のADL練習に関与できない理由

知識・技術の不足により理学療法士が関与できていないケースが一定数存在する。

■ 医療機関(n=914) ■ 福祉施設(n=249) ■ 在宅サービス事業所(n=123) ■ その他(n=44)



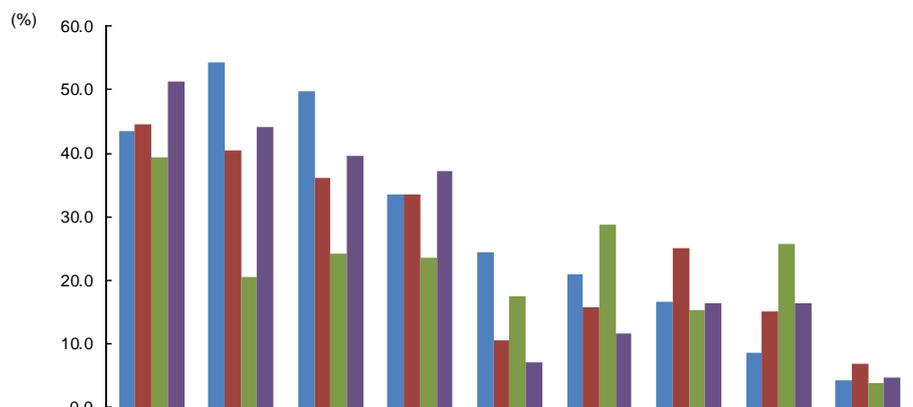
		n=	時間がない	対応するのに必要な知識が不足している	対応するのに必要な技術が不足している	対応するのに必要な備品が不足している	理学療法士以外の職種が対応している	理学療法士への依頼がない	保険適応されないなどの経営的理由	その他	該当する患者がいない
TOTAL		1330	44.1	47.7	44.0	42.5	19.1	14.4	14.5	6.8	4.3
Q1 職場の主たる業態(回答は1つ)	医療機関	914	42.1	54.9	50.5	44.6	21.1	13.8	13.6	4.4	4.0
	福祉施設	249	51.8	34.9	32.1	40.2	15.3	12.9	19.7	8.8	6.4
	在宅サービス事業所	123	43.1	22.0	21.1	30.9	17.1	25.2	13.0	17.9	1.6
	その他	44	45.5	40.9	38.6	43.2	4.5	6.8	9.1	13.6	4.5

4. 福祉用具・義肢・装具の支援に理学療法士が関与できない理由

1 2) 理学療法士が装具のフォローに関与できない理由

知識・技術の不足により理学療法士が関与できていないケースが一定数存在する。

■ 医療機関(n=1021) ■ 福祉施設(n=247) ■ 在宅サービス事業所(n=132) ■ その他(n=43)



		n=	時間がない	対応するのに必要な知識が不足している	対応するのに必要な技術が不足している	対応するのに必要な備品が不足している	理学療法士以外の職種が対応している	理学療法士への依頼がない	保険適応されないなどの経営的理由	その他	該当する患者がいない
TOTAL		1443	43.5	48.5	44.7	32.8	20.9	20.4	17.8	11.4	4.7
Q1 職場の主たる業態(回答は1つ)	医療機関	1021	43.4	54.3	49.7	33.6	24.5	20.9	16.5	8.5	4.3
	福祉施設	247	44.5	40.5	36.0	33.6	10.5	15.8	25.1	15.0	6.9
	在宅サービス事業所	132	39.4	20.5	24.2	23.5	17.4	28.8	15.2	25.8	3.8
	その他	43	51.2	44.2	39.5	37.2	7.0	11.6	16.3	16.3	4.7

5. 福祉用具・義肢・装具支援に関する、 理学療法士の教育状況

卒前教育

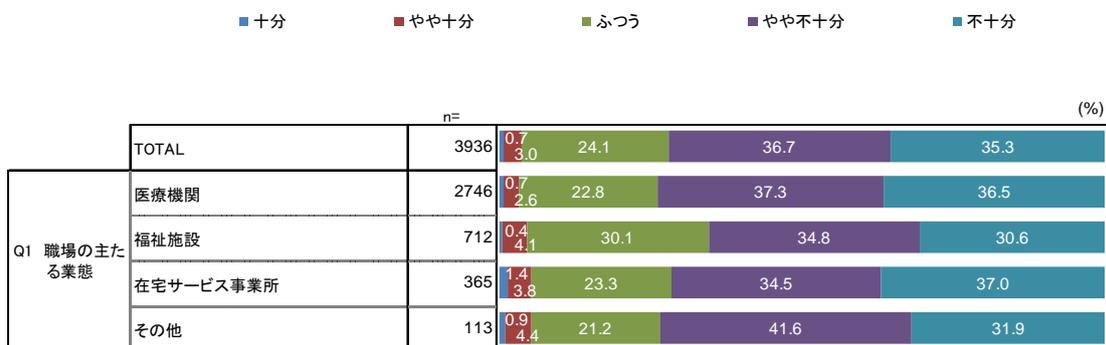
5. 福祉用具・義肢・装具支援に関する、理学療法士の教育状況

半数以上が、**福祉用具**の知識・技術に関する**卒前教育**が不足していると感じている。

1) 福祉用具の知識に関する卒前教育や研修機会について



2) 福祉用具の技術に関する卒前教育や研修機会について



5. 福祉用具・義肢・装具支援に関する、理学療法士の教育状況

半数以上が、**義肢**の知識・技術に関する**卒前教育**が不足していると感じている。

3) 義肢の知識に関する卒前教育や研修機会について



4) 義肢の技術に関する卒前教育や研修機会について



5. 福祉用具・義肢・装具支援に関する、理学療法士の教育状況

半数以上が、**装具**の知識・技術に関する**卒前教育**が不足していると感じている。

5) **装具**の知識に関する卒前教育や研修機会について



6) **装具**の技術に関する卒前教育や研修機会について



卒後教育

日本理学療法士協会
都道府県理学療法士会

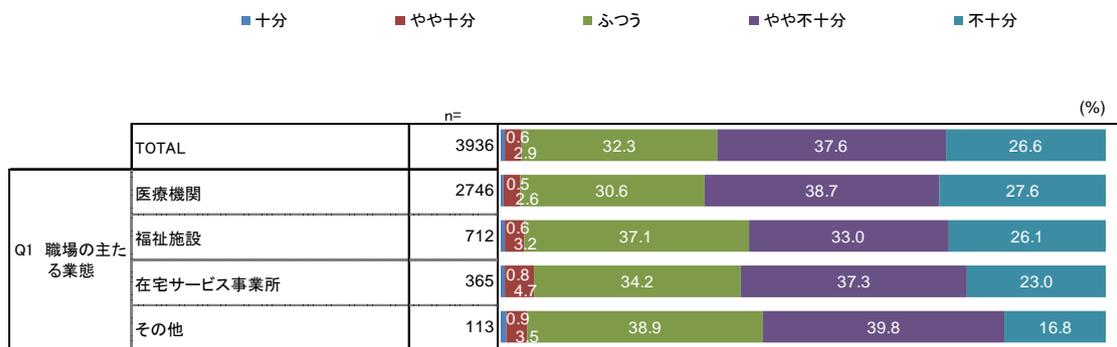
5. 福祉用具・義肢・装具支援に関する、理学療法士の教育状況

半数以上が、**福祉用具**の知識・技術に関する**卒後教育**が不足していると感じている。

7) **福祉用具**の知識に関する**卒後教育**（日本理学療法士協会・都道府県理学療法士会）について



8) **福祉用具**の技術に関する**卒後教育**（日本理学療法士協会・都道府県理学療法士会）について



5. 福祉用具・義肢・装具支援に関する、理学療法士の教育状況

半数以上が、**義肢**の知識・技術に関する**卒後教育**が不足していると感じている。

9) **義肢**の知識に関する**卒後教育**（日本理学療法士協会・都道府県理学療法士会）について



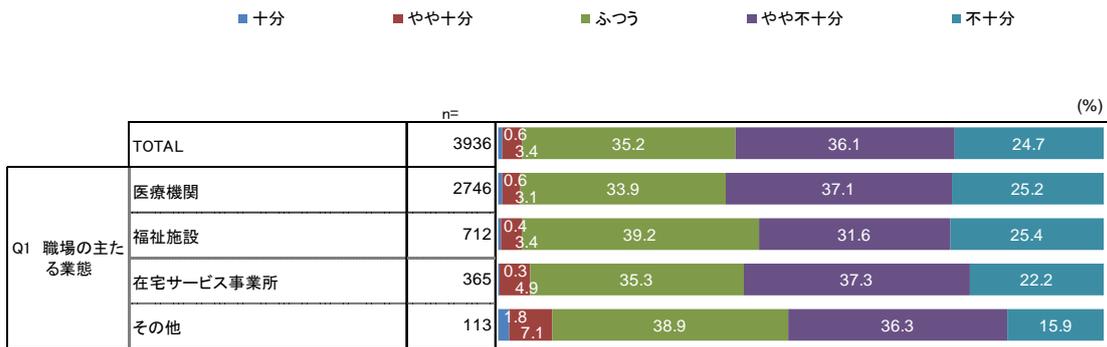
10) **義肢**の技術に関する**卒後教育**（日本理学療法士協会・都道府県理学療法士会）について



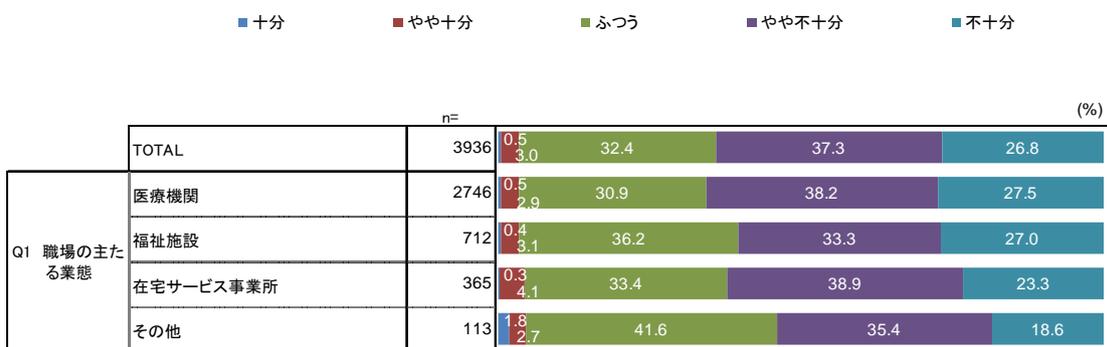
5. 福祉用具・義肢・装具支援に関する、理学療法士の教育状況

半数以上が、**装具**の知識・技術に関する**卒後教育**が不足していると感じている。

1 1) **装具**の知識に関する**卒後教育**（日本理学療法士協会・都道府県理学療法士会）について



1 2) **装具**の技術に関する**卒後教育**（日本理学療法士協会・都道府県理学療法士会）について



卒後教育 (職場教育)

5. 福祉用具・義肢・装具支援に関する、理学療法士の教育状況

半数以上が、**福祉用具**の知識・技術に関する**職場教育**が不足していると感じている。

1 3) **福祉用具**の知識に関する**卒後教育（職場教育）**について



1 4) **福祉用具**の技術に関する**卒後教育（職場教育）**について



5. 福祉用具・義肢・装具支援に関する、理学療法士の教育状況

半数以上が、**義肢**の知識・技術に関する**職場教育**が不足していると感じている。

1 5) **義肢**の知識に関する**卒後教育（職場教育）**について



1 6) **義肢**の技術に関する**卒後教育（職場教育）**について

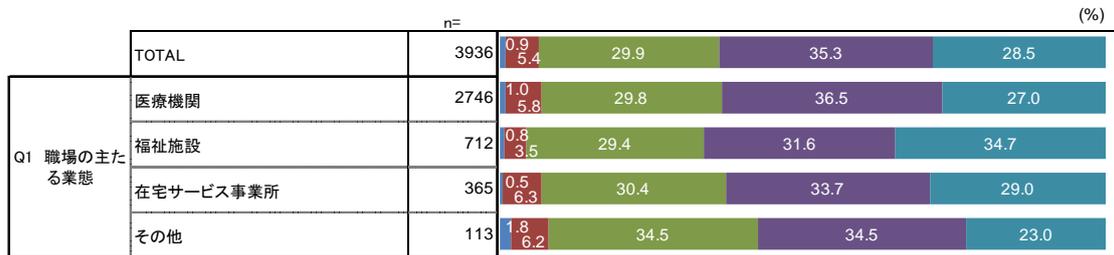


5. 福祉用具・義肢・装具支援に関する、理学療法士の教育状況

半数以上が、**装具**の知識・技術に関する**職場教育**が不足していると感じている。

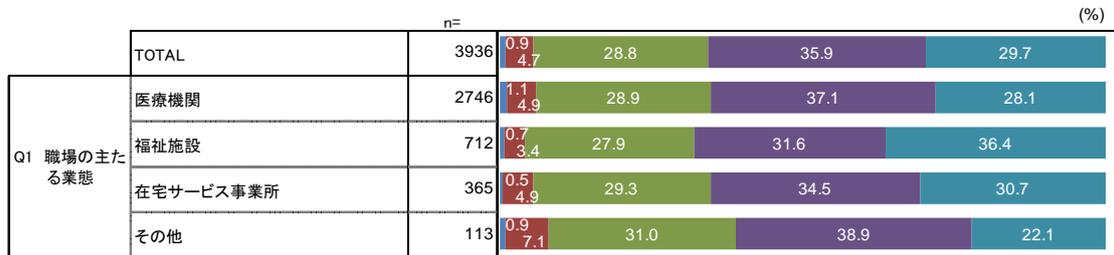
1 7) **装具**の知識に関する**卒後教育（職場教育）**について

■ 十分 ■ やや十分 ■ ふつう ■ やや不十分 ■ 不十分



1 8) **装具**の技術に関する**卒後教育（職場教育）**について

■ 十分 ■ やや十分 ■ ふつう ■ やや不十分 ■ 不十分

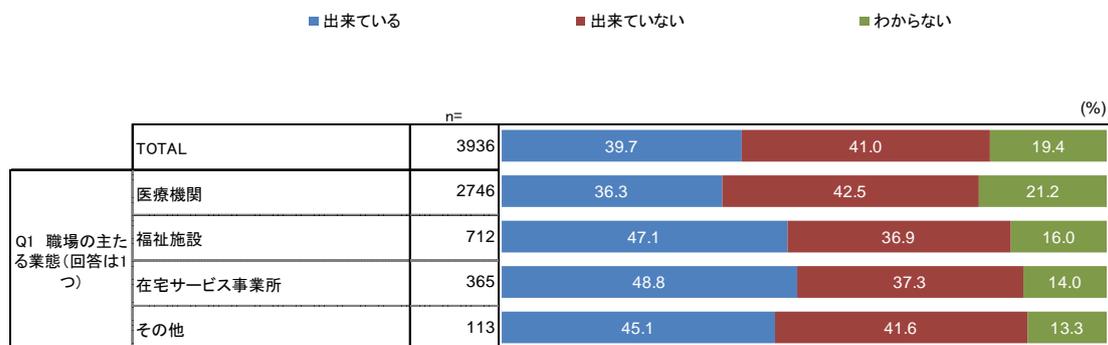


6. 最新情報の入手状況

6. 最新情報の入手状況

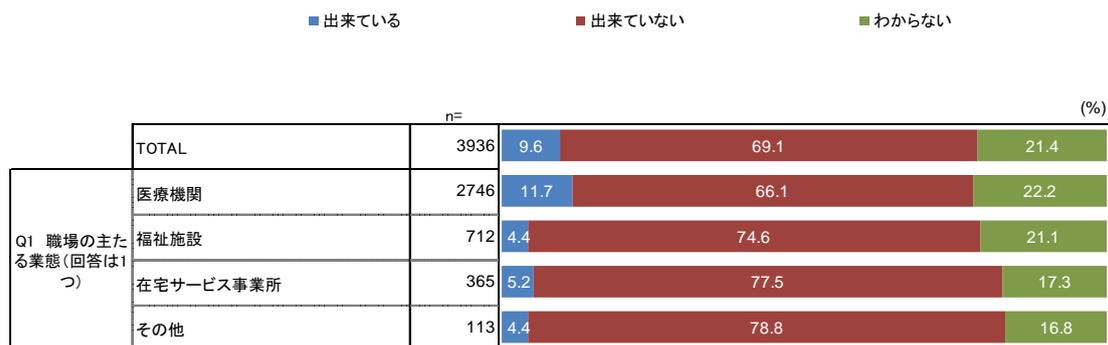
福祉用具、義肢、装具ともに最新情報に触れる機会が少ないが、義肢において特に情報の入手が行われていない。

1 9) 福祉用具に関する最新情報の入手状況

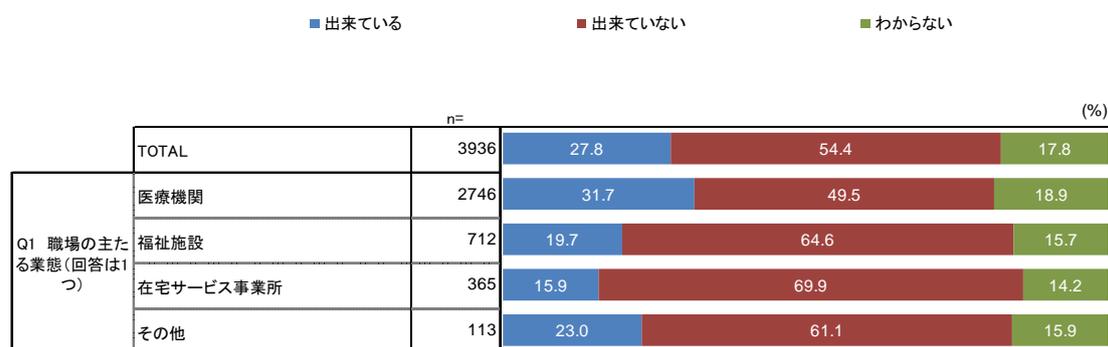


6. 最新情報の入手状況

2 0) 義肢に関する最新情報の入手状況



2 1) 装具に関する最新情報の入手状況

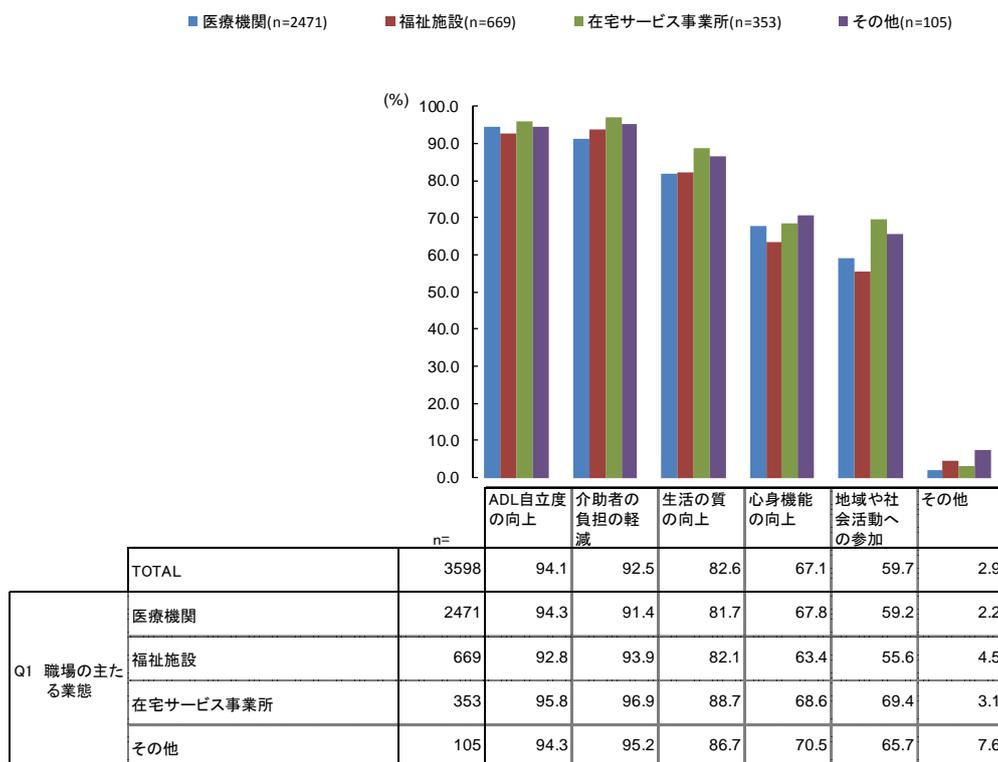


7. 福祉用具・義肢・装具支援に関する、理学療法士への期待

7. 福祉用具・義肢・装具支援に関する、理学療法士への期待

福祉用具への理学療法士の関与について、ADL自立度の向上や介助者の負担軽減、生活の質の向上、心身機能の向上、社会参加の促進等の期待がある。

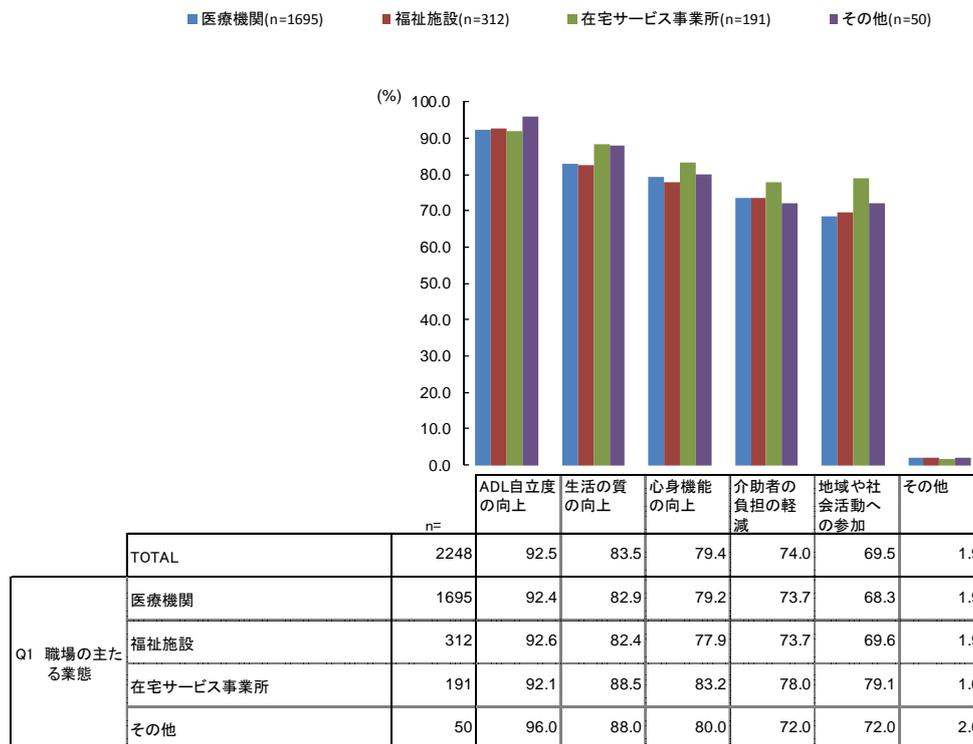
1) [福祉用具] 理学療法士が今まで以上に関与することで期待できる効果



7. 福祉用具・義肢・装具支援に関する、理学療法士への期待

義肢への理学療法士の関与について、ADL自立度の向上や介助者の負担軽減、生活の質の向上、心身機能の向上、社会参加の促進等の期待がある。

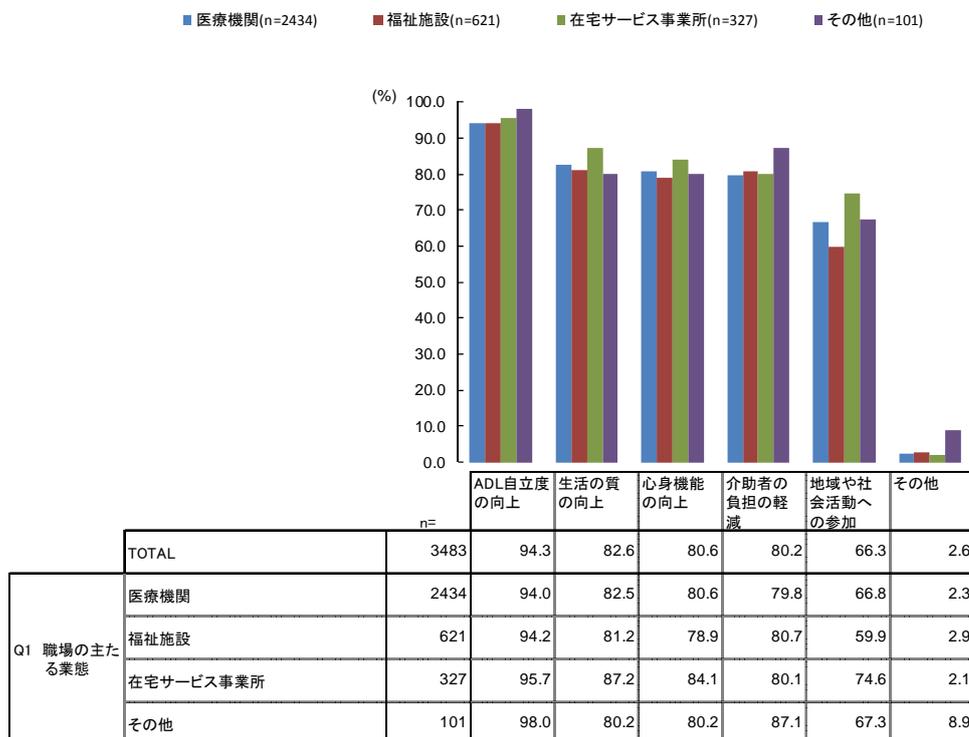
2) [義肢] 理学療法士が今まで以上に関与することで期待できる効果



7. 福祉用具・義肢・装具支援に関する、理学療法士への期待

装具への理学療法士の関与について、ADL自立度の向上や介助者の負担軽減、生活の質の向上、心身機能の向上、社会参加の促進等の期待がある。

3) [装具] 理学療法士が今まで以上に関与することで期待できる効果



8. 総括

1. 福祉用具

福祉用具導入の際の理学療法士の関与は作業療法士とともに高く、評価や練習においては大きな役割を果たしている。しかし、時間や備品の不足から関わる事が出来ないこともあり、特に医療機関では、他の機関に比べて時間や備品の問題と同程度に、知識や技術の不足が問題視されている。また、福祉施設や在宅サービスは必要性は高いものの職員数も少なく時間の確保が難しいという結果であった。知識や技術を持って、今以上に関わる事が出来るならばADL自立向上や介護者の負担軽減が期待できることも示唆された。

多職種との関わりでは、福祉施設や在宅サービスでは、ケアマネジャーや福祉用具専門相談員の関わりが強く、相談や依頼のくる理学療法士と、こない理学療法士が二分しているように見受けられた。医療機関では、一部義肢装具士の関わりが見られている。特に福祉施設や在宅サービスでは理学療法士がより信頼されるべく、知識や教育、情報収集能力の向上が急務と思われる。

最新情報の入手に関して装具では病院が高く、福祉施設、在宅サービスが低い、福祉用具は福祉施設、在宅サービスが高い。これは義肢装具士や福祉用具専門相談員といった最新情報を持った人に影響をうけていることが示唆されており、理学療法士が自ら情報源になっておらず、チームの中でリードしていないことがわかる。

教育では全体を通して、不十分が6割程度もあり知識や技術の向上は急務といえる。特に卒前教育では不十分の傾向が強かった。

2. 義肢

福祉用具、装具と比較して義肢に関わっていない割合が高く、その理由として第一に対象がいないことがあげられるが、評価、フィッティング、フォローアップに関しては圧倒的に義肢装具士の関わりが大きく、その背景には知識、技術や新しい情報の不足があげられる。

卒前、卒後教育に関して福祉用具、装具と同様に不足していると感じているが、義肢ではさらに不足と感じている傾向が強い。

特に最新情報の入手できている医療機関は10%弱、福祉施設では5%以下とほとんど情報がないことが示されている。

しかし理学療法士への期待では福祉用具、装具と同様に知識技術の不足があげられており、特に医療機関における必要性が高い結果となった。また卒前、卒後の教育においても義肢では80%弱の人が情報が不足しているとしており、特に現場の要求に対する情報の供給のギャップが浮き彫りとなった。

3. 装具

装具を必要とする対象者は2割程度であり、施設の種類に関係なく、装具の評価、フィッティング、練習、フォローアップのほとんどの場面で関与している結果であった。装具に関わる他の職種としては、場面に関係なく義肢装具士、作業療法士が多く、福祉施設や在宅サービス事業所では医療機関に比べてケアマネジャーの関わりが多かった。一方で関与できない理由は、「知識・技術が不足」が5割程度、「時間がない」、「備品がない」が4割程度と多く、医療機関、福祉施設、在宅サービス事業所の順で頻度が高い。なお、備品に関しては、医療機関では各種の装具を保有しているが、福祉施設、在宅サービス事業所では、「ない」が最も多かった。

装具に対する教育状況は、卒前(養成校等)、卒後(PT協会、県士会、職場内)ともに、ほとんどのPTが、知識・技術のどちらも十分ではないと回答している。最新情報の入手は、約半数が出来ていないと回答し、特に在宅サービス事業所では7割に及んでいない。

このような状況の中で、PTがさらに装具に関与することで、「ADL自立度の向上」「生活の質の向上」「心身機能の向上」「介助者の負担の軽減」「地域への社会活動への参加」のすべての項目で、効果が期待できると回答している。以上のことから、卒前・卒後の教育の充実、装具に関する情報発信を行うことで、理学療法士が今以上に装具に関わり、効果を発揮することが必要と思われる。

9. 課題

1. 福祉用具・義肢・装具に関する共通の課題
 - 言葉の定義の明確化
 - 「フォローアップ」という言葉の定義の明確化
 - 卒前教育の充実
 - 新人教育の充実
 - 情報へのアクセスの改善
2. 福祉用具に関する課題
 - 福祉用具の地域差（物品へのアクセスのしやすさ）
 - 備品の充実
3. 義肢に関する課題
 - 障害者スポーツや低活動高齢者へ情報提供と義肢療法の確立
 - 切断患者への義足処方・理学療法へつながっていない理由の解明
4. 装具に関する課題
 - 装具処方の現状
 - 病期に合わせた装具療法の研修
 - 備品の充実

第2章 本事業の概要

第1節 事業概要

本事業は、日本支援工学理学療法学会が主体となり、福祉用具班、義肢班、装具班を立ち上げ、各班員の方々にご協力いただき実施した。調査票は各班で調査票案を作成し、班長会議にて調査票を完成させた。その後、アンケートの実施、結果の分析、報告書作成を実施した。アンケート調査は、医療機関、介護施設、福祉施設 8468 施設を対象とした全国調査とし、福祉用具・義肢・装具支援の現状と課題をまとめた。

第2節 委員名簿

委員長	大峯 三郎	九州栄養福祉大学 ※
委員	河添 竜志郎	株式会社くますま ※
委員	長倉 裕二	熊本保健科学大学 ※
委員	中野 克己	埼玉県総合リハビリテーションセンター ※
委員	野崎 展史	日本理学療法士協会
委員	宮原 拓也	上尾中央医療専門学校 ※

【福祉用具班】

秋田 裕	川崎市中部リハビリテーションセンター ※
河添 竜志郎	株式会社くますま ※
小池 清貴	パラマウントベッド株式会社
栄 健一郎	医療法人社団康人会 適寿リハビリテーション病院
佐藤 史子	横浜市総合リハビリテーションセンター
鈴木 英樹	北海道医療大学 ※
竹内 久美	株式会社くますま
長濱 佑亮	医療法人社団康人会 適寿リハビリテーション病院
新田 収	首都大学東京 ※
松田 雅弘	植草学園大学 ※

【義肢班】

岩下 航大	鉄道弘済会義肢装具サポートセンター
梅澤 慎吾	鉄道弘済会義肢装具サポートセンター
齊藤 孝道	独協医科大学越谷病院
佐藤 廣之	仙台市障害者総合支援センター
澤田 あい	神奈川リハビリテーション病院
新小田 幸一	広島大学 ※
豊田 輝	帝京科学大学
長倉 裕二	熊本保健科学大学 ※

原 和彦 埼玉県立大学 ※
 前田 慶明 広島大学

【装具班】

石崎 耕平 埼玉県総合リハビリテーションセンター
 大垣 昌之 愛仁会リハビリテーション病院
 大峯 三郎 九州栄養福祉大学 ※
 清宮 清美 埼玉県総合リハビリテーションセンター
 佐伯 茂行 介護老人保健施設 高井の里
 中野 克己 埼玉県総合リハビリテーションセンター ※
 宮原 拓也 上尾中央医療専門学校 ※

※印は日本支援工学理学療法学会運営幹事

*敬称略、五十音順

第3節 スケジュール

時期	作業内容	
平成28年 9月16日	第1回装具班会議	効果判定方法・アンケートの検討 等
9月17日	第1回義肢班会議	事業の経緯・計画の確認 等
10月12日	第2回義肢班会議	アンケート・事例の検討 等
10月20日	第3回義肢班会議	アンケート・フォーラム内容の検討 等
10月25日	第4回義肢班会議	アンケート内容の検討 等
10月29日	第1回班長会議	各班の集約、スケジュールの検討 等
11月2日	第2回装具班会議	今後のスケジュール・アンケートの検討 等
12月9日	第2回班長会議	アンケート内容調整・報告書作成の検討 等

第4節 方法について

1. 対象

医療機関、介護施設、福祉施設 8468 施設を対象とした。

2. 調査方法

各施設へメールと郵送にて案内を送り、web アンケートにて調査を実施した。回答者は、各施設に従事する本会会員管理者とした。

3. 調査期間

調査期間は平成 28 年 12 月 15 日（木）～平成 28 年 12 月 31 日（土）とした。

4. データの分析

得られたデータは必要に応じて、単純集計およびクロス集計を行った。

5. 倫理的配慮

全ての調査対象者に対し、本調査の趣旨・目的および、データの活用法を書面にて説明した。調査への拒否、一部の調査項目への回答拒否があっても何ら不利益が生じないことを書面により説明した。回答いただいた内容は統計的に処理し、回答者が特定できないように実施した。本調査に対する同意は調査の回答をもってみなすこととした。

第3章 結果

1. 回収状況

3,936 施設から有効な回答が得られた（有効回答率 45.4%）。施設の種類の回答状況ならびに都道府県別の回答状況は表 1、図 1 の通りだった。

表 1 施設の種類の回答状況

	度数	%
TOTAL	3936	100.0
医療機関	2746	69.8
福祉施設	712	18.1
在宅サービス事業所	365	9.3
その他 具体的に:	113	2.9

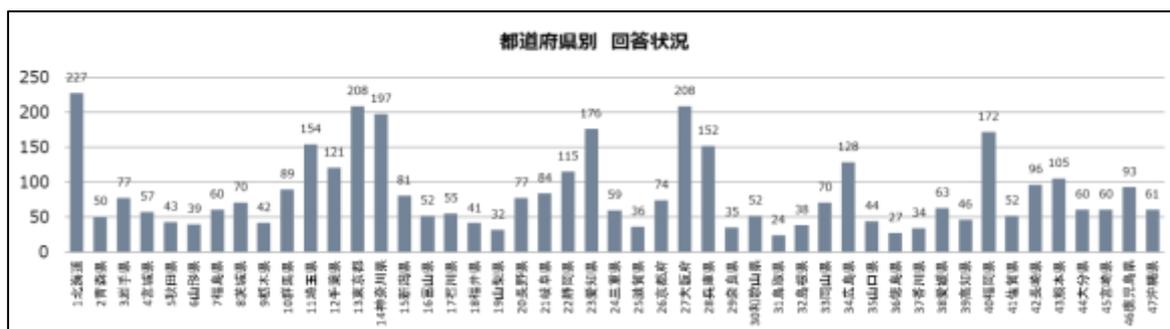


図 1 都道府県別の回答状況

2. 単純集計結果

Q1 職場の主たる業態

n=	医療機関	福祉施設	在宅サービス事業所		その他
			在宅サービス事業所	その他	
3936	2,746	712	365	113	
100	69.8	18.1	9.3	2.9	

上段: 度数
下段: %

Q2 職場の理学療法士の人数

n=	10人未満	10人以上 20人未満	20人以上 30人未満	30人以上	不明		
						上段: 度数	下段: %
3936	2,654	710	266	305	1		
100	67.4	18.0	6.8	7.7	0.0		

Q3 理学療法士が関わっている主な疾患(回答は3つまで)

n=	脳血管障害	背髄損傷	骨関節疾患	外傷	神経難病	脳性麻痺	内部疾患	小児疾患	虚弱高齢	その他	不明		
												上段: 度数	下段: %
3936	2,967	318	3,296	501	578	209	1,158	151	1,382	167	4		
100	75.4	8.1	83.7	12.7	14.7	5.3	29.4	3.8	35.1	4.2	0.1		

Q4 施設備品として準備されている福祉用具(複数回答)

n=	入浴関連 (バスボード、シャワーチェア等)	排泄関連 (ポータブルトイレ、補高便座等)	移動関連 (車いす、杖、歩行器、手すり、擦り付け板等)	移乗(トランスファーボード、リフト等)	外出時環境(段差解消機、階段昇降機、スロープ等)	食事(スプーン、皿、ポータブルスプリングバランスサー等)	整容(長柄ブラシ等)	更衣(ボタンエイド、ソックスエイド等)	コミュニケーション(文字盤、意思伝達装置等)	姿勢調整(クッション、座位保持装置等)	その他	該当なし		
													上段: 度数	下段: %
3936	2,898	2,759	3,818	2,306	656	2,819	1,316	1,556	1,489	2,917	87	70		
100	73.6	70.1	97.0	58.6	16.7	71.6	33.4	39.5	37.8	74.1	2.2	1.8		

Q5 施設備品として準備されている下肢装具(複数回答)

n=	長下肢装具	金属支柱付き短下肢装具	プラスチック製短下肢装具(継手なし)	プラスチック製短下肢装具(継手あり)	オルトリーブAFO	リストラップ	膝装具	その他	該当なし		
										上段: 度数	下段: %
3936	1,313	1,409	2,258	1,090	1,778	420	2,263	229	913		
100	33.4	35.8	57.4	27.7	45.2	10.7	57.5	5.8	23.2		

* Q6 理学療法士が関わる支援対象者全体のうち各支援を必要とするおおよその割合(回答は半角数字で入力)

n=	0割	1割	2割	3割	4割	5割	6割	7割	8割	9割	10割	平均値	中央値			
														上段: 度数	下段: %	
福祉用具 約*割	3936	216	498	314	392	215	411	234	344	569	526	217	5.2	5		
	100	5.5	12.7	8.0	10.0	5.5	10.4	5.9	8.7	14.5	13.4	5.5				
義肢 約*割	3936	2,932	901	41	12	3	5	3	2	7	9	21	0.4	0		
	100	74.5	22.9	1.0	0.3	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2	0.2	0.5				
装具 約*割	3936	394	1,605	760	589	181	175	51	46	59	30	46	2.1	1		
	100	10.0	40.8	19.3	15.0	4.6	4.4	1.3	1.2	1.5	0.8	1.2				

Q7 それぞれの支援時期における理学療法士の関わり 1.評価[A.福祉用具] 理想

n=	上段:度数 下段:%	
	関わるべき	関わらなくてよい
3936	3,903	33
100	99.2	0.8

Q8 それぞれの支援時期における理学療法士の関わり 1.評価[A.福祉用具] 現状

n=	上段:度数 下段:%	
	関わっている	関わっていない
3936	3,294	642
100	83.7	16.3

Q9 それぞれの支援時期における理学療法士の関わり 1.評価[A.福祉用具] 理想と現状の差

n=	上段:度数 下段:%		
	ある	ない	わからない
3936	2,278	1,082	576
100	57.9	27.5	14.6

Q10 それぞれの支援時期における理学療法士の関わり

1.評価[A.福祉用具] 理想と現状の差が生じる理由【Q9=ある】(複数回答)

n=	時間が少ない	対応するのに必要な知識が不足している	対応するのに必要な技術が不足している	対応するのに必要な備品が不足している	理学療法士以外の職種が対応している	理学療法士への依頼がない	保険適応されないなどの経営的理由	その他	該当する患者がない	上段:度数 下段:%	
										2278	1,086
100	47.7	46.7	35.3	52.1	29.7	31.3	26.9	7.2	0.8		

Q11 それぞれの支援時期における理学療法士の関わり 1.評価[B.義肢] 理想

n=	上段:度数 下段:%	
	関わるべき	関わらなくてよい
3936	3,782	154
100	96.1	3.9

Q12 それぞれの支援時期における理学療法士の関わり 1.評価[B.義肢] 現状

n=	上段:度数 下段:%	
	関わっている	関わっていない
3936	1,323	2,613
100	33.6	66.4

Q13 それぞれの支援時期における理学療法士の関わり 1.評価[B.義肢] 理想と現状の差

n=	上段:度数 下段:%		
	ある	ない	わからない
3936	1,454	939	1,543
100	36.9	23.9	39.2

Q14 それぞれの支援時期における理学療法士の関わり

1.評価[B.義肢] 理想と現状の差が生じる理由【Q13=ある】(複数回答)

n=	時間が少ない	対応するのに必要な知識が不足している	対応するのに必要な技術が不足している	対応するのに必要な備品が不足している	理学療法士以外の職種が対応している	理学療法士への依頼がない	保険適応されないなどの経営的理由	その他	該当する患者がない	上段:度数 下段:%	
										1454	409
100	28.1	51.8	46.5	35.2	25.0	27.7	13.5	9.6	18.9		

Q15 それぞれの支援時期における理学療法士の関わり 1.評価[C.装具] 理想

n=		上段:度数 下段:%	
		関わるべき	関わらなくてよい
3936		3,892	44
100		98.9	1.1

Q16 それぞれの支援時期における理学療法士の関わり 1.評価[C.装具] 現状

n=		上段:度数 下段:%	
		関わっている	関わっていない
3936		3,085	851
100		78.4	21.6

Q17 それぞれの支援時期における理学療法士の関わり 1.評価[C.装具] 理想と現状の差

n=		上段:度数 下段:%		
		ある	ない	わからない
3936		1,985	1,392	559
100		50.4	35.4	14.2

Q18 それぞれの支援時期における理学療法士の関わり

1.評価[C.装具] 理想と現状の差が生じる理由【Q17=ある】(複数回答)

n=		時間が足りない	対応するのに必要な知識が不足している	対応するのに必要な技術が不足している	対応するのに必要な備品が不足している	理学療法士以外の職種が対応している	理学療法士への依頼がない	保険適応されないなどの経営的理由	その他	該当する患者がない	上段:度数 下段:%	
1985		714	966	885	854	514	526	428	267	44		
100		36.0	48.7	44.6	43.0	25.9	26.5	21.6	13.5	2.2		

Q19 それぞれの支援時期における理学療法士の関わり 2.作製・フィッティング[A.福祉用具] 理想

n=		上段:度数 下段:%	
		関わるべき	関わらなくてよい
3936		3,700	236
100		94.0	6.0

Q20 それぞれの支援時期における理学療法士の関わり 2.作製・フィッティング[A.福祉用具] 現状

n=		上段:度数 下段:%	
		関わっている	関わっていない
3936		2,537	1,399
100		64.5	35.5

Q21 それぞれの支援時期における理学療法士の関わり 2.作製・フィッティング[A.福祉用具] 理想と現状の差

n=		上段:度数 下段:%		
		ある	ない	わからない
3936		1,826	1,271	839
100		46.4	32.3	21.3

Q22 それぞれの支援時期における理学療法士の関わり

2.作製・フィッティング[A.福祉用具] 理想と現状の差が生じる理由【Q21=ある】(複数回答)

n=		時間が足りない	対応するのに必要な知識が不足している	対応するのに必要な技術が不足している	対応するのに必要な備品が不足している	理学療法士以外の職種が対応している	理学療法士への依頼がない	保険適応されないなどの経営的理由	その他	該当する患者がない	上段:度数 下段:%	
1826		821	860	773	831	607	529	409	128	36		
100		45.0	47.1	42.3	45.5	33.2	29.0	22.4	7.0	2.0		

Q23 それぞれの支援時期における理学療法士の関わり 2.作製・フィッティング[B.義肢] 理想

n=	上段:度数 下段:%	
	関わるべき	関わらなくてよい
3936	3,555	381
100	90.3	9.7

Q24 それぞれの支援時期における理学療法士の関わり 2.作製・フィッティング[B.義肢] 現状

n=	上段:度数 下段:%	
	関わっている	関わっていない
3936	1,143	2,793
100	29.0	71.0

Q25 それぞれの支援時期における理学療法士の関わり 2.作製・フィッティング[B.義肢] 理想と現状の差

n=	上段:度数 下段:%		
	ある	ない	わからない
3936	1,319	1,027	1,590
100	33.5	26.1	40.4

Q26 それぞれの支援時期における理学療法士の関わり 2.作製・フィッティング[B.義肢] 理想と現状の差が生じる理由【Q25=ある】(複数回答)

n=	時間が少ない	対応するのに必要な知識が不足している	対応するのに必要な技術が不足している	対応するのに必要な備品が不足している	理学療法士以外の職種が対応している	理学療法士への依頼がない	保険適応されないなどの経営的理由	その他	該当する患者がない	上段:度数 下段:%									
										1319	405	648	609	429	385	354	156	84	281

Q27 それぞれの支援時期における理学療法士の関わり 2.作製・フィッティング[C.装具] 理想

n=	上段:度数 下段:%	
	関わるべき	関わらなくてよい
3936	3,729	207
100	94.7	5.3

Q28 それぞれの支援時期における理学療法士の関わり 2.作製・フィッティング[C.装具] 現状

n=	上段:度数 下段:%	
	関わっている	関わっていない
3936	2,591	1,345
100	65.8	34.2

Q29 それぞれの支援時期における理学療法士の関わり 2.作製・フィッティング[C.装具] 理想と現状の差

n=	上段:度数 下段:%		
	ある	ない	わからない
3936	1,759	1,440	737
100	44.7	36.6	18.7

Q30 それぞれの支援時期における理学療法士の関わり 2.作製・フィッティング[C.装具] 理想と現状の差が生じる理由【Q29=ある】(複数回答)

n=	時間が少ない	対応するのに必要な知識が不足している	対応するのに必要な技術が不足している	対応するのに必要な備品が不足している	理学療法士以外の職種が対応している	理学療法士への依頼がない	保険適応されないなどの経営的理由	その他	該当する患者がない	上段:度数 下段:%									
										1759	694	905	841	677	556	463	334	197	46

Q31 それぞれの支援時期における理学療法士の関わり 3.ADL練習[A.福祉用具] 理想

n=	上段:度数 下段:%	
	関わるべき	関わらなくてよい
3936	3,889	47
100	98.8	1.2

Q32 それぞれの支援時期における理学療法士の関わり 3.ADL練習[A.福祉用具] 現状

n=	上段:度数 下段:%	
	関わっている	関わっていない
3936	3,410	526
100	86.6	13.4

Q33 それぞれの支援時期における理学療法士の関わり 3.ADL練習[A.福祉用具] 理想と現状の差

n=	上段:度数 下段:%		
	ある	ない	わからない
3936	1,702	1,732	502
100	43.2	44.0	12.8

Q34 それぞれの支援時期における理学療法士の関わり 3.ADL練習[A.福祉用具] 理想と現状の差が生じる理由【Q33=ある】(複数回答)

n=	時間が少ない	対応するのに必要な知識が不足している	対応するのに必要な技術が不足している	対応するのに必要な備品が不足している	理学療法士以外の職種が対応している	理学療法士への依頼がない	保険適応されないなどの経営的理由	その他	該当する患者がない	上段:度数 下段:%	
										1702	785
100	46.1	37.3	31.2	50.8	27.2	16.2	15.5	8.1	1.8		

Q35 それぞれの支援時期における理学療法士の関わり 3.ADL練習[B.義肢] 理想

n=	上段:度数 下段:%	
	関わるべき	関わらなくてよい
3936	3,835	101
100	97.4	2.6

Q36 それぞれの支援時期における理学療法士の関わり 3.ADL練習[B.義肢] 現状

n=	上段:度数 下段:%	
	関わっている	関わっていない
3936	1,518	2,418
100	38.6	61.4

Q37 それぞれの支援時期における理学療法士の関わりについて 3.ADL練習[B.義肢] 理想と現状の差

n=	上段:度数 下段:%		
	ある	ない	わからない
3936	1,146	1,187	1,603
100	29.1	30.2	40.7

Q38 それぞれの支援時期における理学療法士の関わり 3.ADL練習[B.義肢] 理想と現状の差が生じる理由【Q37=ある】(複数回答)

n=	時間が少ない	対応するのに必要な知識が不足している	対応するのに必要な技術が不足している	対応するのに必要な備品が不足している	理学療法士以外の職種が対応している	理学療法士への依頼がない	保険適応されないなどの経営的理由	その他	該当する患者がない	上段:度数 下段:%	
										1146	334
100	29.1	39.0	35.8	29.8	14.4	19.4	9.1	5.8	28.7		

Q39 それぞれの支援時期における理学療法士の関わり 3.ADL練習[C.装具] 理想

n=	関わるべき	関わらなくてよい	上段:度数
			下段:%
3936	3,896	40	
100	99.0	1.0	

Q40 それぞれの支援時期における理学療法士の関わり 3.ADL練習[C.装具] 現状

n=	関わっている	関わっていない	上段:度数
			下段:%
3936	3,288	648	
100	83.5	16.5	

Q41 それぞれの支援時期における理学療法士の関わり 3.ADL練習[C.装具] 理想と現状の差

n=	ある	ない	わからない	上段:度数
				下段:%
3936	1,330	1,949	657	
100	33.8	49.5	16.7	

Q42 それぞれの支援時期における理学療法士の関わり 3.ADL練習[C.装具] 理想と現状の差が生じる理由【Q41=ある】(複数回答)

n=	時間が足りない	対応するのに必要な知識が不足している	対応するのに必要な技術が不足している	対応するのに必要な備品が不足している	理学療法士以外の職種が対応している	理学療法士への依頼がない	保険適応されないなどの経営的理由	その他具体的には:	該当する患者がない	上段:度数
										下段:%
1330	587	634	585	565	254	192	193	90	57	
100	44.1	47.7	44.0	42.5	19.1	14.4	14.5	6.8	4.3	

Q43 それぞれの支援時期における理学療法士の関わり 4.導入や作製直後のフォローアップ[A.福祉用具] 理想

n=	関わるべき	関わらなくてよい	上段:度数
			下段:%
3936	3,874	62	
100	98.4	1.6	

Q44 それぞれの支援時期における理学療法士の関わり 4.導入や作製直後のフォローアップ[A.福祉用具] 現状

n=	関わっている	関わっていない	上段:度数
			下段:%
3936	2,864	1,072	
100	72.8	27.2	

Q45 それぞれの支援時期における理学療法士の関わり 4.導入や作製直後のフォローアップ[A.福祉用具] 理想と現状の差

n=	ある	ない	わからない	上段:度数
				下段:%
3936	1,614	1,541	781	
100	41.0	39.2	19.8	

Q46 それぞれの支援時期における理学療法士の関わり 4.導入や作製直後のフォローアップ[A.福祉用具] 理想と現状の差が生じる理由【Q45=ある】(複数回答)

n=	時間が足りない	対応するのに必要な知識が不足している	対応するのに必要な技術が不足している	対応するのに必要な備品が不足している	理学療法士以外の職種が対応している	理学療法士への依頼がない	保険適応されないなどの経営的理由	その他	該当する患者がない	上段:度数
										下段:%
1614	877	623	535	504	422	387	315	153	33	
100	54.3	38.6	33.1	31.2	26.1	24.0	19.5	9.5	2.0	

Q47 それぞれの支援時期における理学療法士の関わり 4.導入や作製直後のフォローアップ[B.義肢] 理想

n=	上段:度数 下段:%	
	関わるべき	関わらなくてよい
3936	3,791	145
100	96.3	3.7

Q48 それぞれの支援時期における理学療法士の関わり 4.導入や作製直後のフォローアップ[B.義肢] 現状

n=	上段:度数 下段:%	
	関わっている	関わっていない
3936	1,348	2,588
100	34.2	65.8

Q49 それぞれの支援時期における理学療法士の関わり 4.導入や作製直後のフォローアップ[B.義肢] 理想と現状の差

n=	上段:度数 下段:%		
	ある	ない	わからない
3936	1,168	1,086	1,682
100	29.7	27.6	42.7

Q50 それぞれの支援時期における理学療法士の関わり

4.導入や作製直後のフォローアップ[B.義肢] 理想と現状の差が生じる理由【Q49=ある】(複数回答)

n=	時間が少ない	対応するのに必要な知識が不足している	対応するのに必要な技術が不足している	対応するのに必要な備品が不足している	理学療法士以外の職種が対応している	理学療法士への依頼がない	保険適応されないなどの経営的理由	その他	該当する患者がない	上段:度数 下段:%	
1168	354	448	424	285	220	232	122	77	342		
100	30.3	38.4	36.3	24.4	18.8	19.9	10.4	6.6	29.3		

Q51 それぞれの支援時期における理学療法士の関わり 4.導入や作製直後のフォローアップ[C.装具] 理想

n=	上段:度数 下段:%	
	関わるべき	関わらなくてよい
3936	3,872	64
100	98.4	1.6

Q52 それぞれの支援時期における理学療法士の関わり 4.導入や作製直後のフォローアップ[C.装具] 現状

n=	上段:度数 下段:%	
	関わっている	関わっていない
3936	3,008	928
100	76.4	23.6

Q53 それぞれの支援時期における理学療法士の関わり 4.導入や作製直後のフォローアップ[C.装具] 理想と現状の差

n=	上段:度数 下段:%		
	ある	ない	わからない
3936	1,443	1,748	745
100	36.7	44.4	18.9

Q54 それぞれの支援時期における理学療法士の関わり

4.導入や作製直後のフォローアップ[C.装具] 理想と現状の差が生じる理由【Q53=ある】(複数回答)

n=	時間が少ない	対応するのに必要な知識が不足している	対応するのに必要な技術が不足している	対応するのに必要な備品が不足している	理学療法士以外の職種が対応している	理学療法士への依頼がない	保険適応されないなどの経営的理由	その他	該当する患者がない	上段:度数 下段:%	
1443	627	700	645	473	302	295	257	165	68		
100	43.5	48.5	44.7	32.8	20.9	20.4	17.8	11.4	4.7		

Q55 日常業務で福祉用具を活用している場面（複数回答）

n=		入浴	排泄	移動	移乗	外出	食事	整容	更衣	姿勢調整	コミュニケーション	なし	上段:度数 下段:%
3936	100	2,543 64.6	2,574 65.4	3,619 91.9	2,849 72.4	1,970 50.1	2,403 61.1	1,044 26.5	1,148 29.2	2,638 67.0	1,164 29.6	102 2.6	

Q56 修理や再作製等の実施状況[A.義肢]

n=		している	していない	上段:度数 下段:%
3936	100	922 23.4	3,014 76.6	

Q57 修理や再作製の実施内容[A.義肢]（複数回答）【Q56=している】

n=		資料を渡している	算定期間内に対応している	算定期間後に外来で対応している	その他	上段:度数 下段:%
922	100	196 21.3	454 49.2	513 55.6	179 19.4	

Q58 修理や再作製等の実施状況[B.装具]

n=		している	していない	上段:度数 下段:%
3936	100	2,067 52.5	1,869 47.5	

Q59 修理や再作製の実施内容[B.装具]（複数回答）【Q58=している】

n=		資料を渡している	算定期間内に対応している	算定期間後に外来で対応している	その他	上段:度数 下段:%
2067	100	420 20.3	956 46.3	1,067 51.6	517 25.0	

Q60 それぞれの支援時期での理学療法士以外の職種に関わり[1.評価]（複数回答）

n=		作業療法士	言語聴覚士	臨床心理士	リハ科医師	リハ科以外の医師	義肢装具士	看護師	保健師	ソーシャルワーカー	指導員（生活指導員）	教員	リハビリテーションエンジニア	福祉用具専門相談員	ケアマネジャー	その他	不明	関わっていない	上段:度数 下段:%
A. 福祉用具	3936 100	2,507 63.7	721 18.3	15 0.4	663 16.8	514 13.1	1,364 34.7	1,140 29.0	36 0.9	580 14.7	186 4.7	39 1.0	37 0.9	1,062 27.0	1,567 39.8	221 5.6	34 0.9	252 6.4	
B. 義肢	3936 100	959 24.4	73 1.9	2 0.1	692 17.6	510 13.0	1,725 43.8	235 6.0	8 0.2	174 4.4	33 0.8	9 0.2	18 0.5	83 2.1	238 6.0	40 1.0	111 2.8	1,684 42.8	
C. 装具	3936 100	1,845 46.9	129 3.3	7 0.2	1,030 26.2	877 22.3	2,541 64.6	539 13.7	16 0.4	266 6.8	99 2.5	30 0.8	18 0.5	170 4.3	530 13.5	84 2.1	47 1.2	441 11.2	

Q61 それぞれの支援時期での理学療法士以外の職種に関わり[2.作製・フィッティング]（複数回答）

n=		作業療法士	言語聴覚士	臨床心理士	リハ科医師	リハ科以外の医師	義肢装具士	看護師	保健師	ソーシャルワーカー	指導員（生活指導員）	教員	リハビリテーションエンジニア	福祉用具専門相談員	ケアマネジャー	その他	不明	関わっていない	上段:度数 下段:%
A. 福祉用具	3936 100	2,344 59.6	510 13.0	6 0.2	573 14.6	392 10.0	951 24.2	898 22.8	29 0.7	458 11.6	134 3.4	33 0.8	35 0.9	1,053 26.8	1,306 33.2	186 4.7	39 1.0	408 10.4	
B. 義肢	3936 100	895 22.7	50 1.3	0.1	660 16.8	450 11.4	1,773 45.0	214 5.4	9 0.2	129 3.3	26 0.7	9 0.2	15 0.4	68 1.7	179 4.5	28 0.7	103 2.6	1,673 42.5	
C. 装具	3936 100	1,696 43.1	112 2.8	6 0.2	923 23.5	713 18.1	2,541 64.6	449 11.4	15 0.4	208 5.3	81 2.1	26 0.7	20 0.5	131 3.3	393 10.0	66 1.7	44 1.1	536 13.6	

Q62 それぞれの支援時期での理学療法士以外の職種に関わり[3.ADL練習](複数回答)

	n=	作業療法士	言語聴覚士	臨床心理士	リハ科医師	リハ科以外の医師	義肢装具士	看護師	保健師	ソーシャルワーカー	指導員(生活指導員)	教員	リハビリテーションエンジニア	福祉用具専門相談員	ケアマネジャー	その他	不明	関わっていない	上段:度数 下段:%	
																			度数	%
A. 福祉用具	3936	2,549	643	12	422	273	497	1,354	35	325	153	39	26	581	916	294	51	411	100	64.8
B. 義肢	3936	1,201	93	7	416	269	1,003	514	11	116	38	12	12	65	182	58	136	1,847	100	30.5
C. 装具	3936	2,195	203	6	564	391	1,298	954	14	174	101	34	16	111	363	166	62	669	100	55.8

Q63 それぞれの支援時期での理学療法士以外の職種に関わり[4.導入や作製直後のフォローアップ](複数回答)

	n=	作業療法士	言語聴覚士	臨床心理士	リハ科医師	リハ科以外の医師	義肢装具士	看護師	保健師	ソーシャルワーカー	指導員(生活指導員)	教員	リハビリテーションエンジニア	福祉用具専門相談員	ケアマネジャー	その他	不明	関わっていない	上段:度数 下段:%	
																			度数	%
A. 福祉用具	3936	2,378	496	4	513	341	804	1,022	32	451	152	31	30	993	1,370	208	54	386	100	60.4
B. 義肢	3936	1,001	70	3	577	385	1,584	290	12	154	35	8	10	76	247	40	135	1,746	100	25.4
C. 装具	3936	1,892	140	8	797	573	2,212	605	19	247	93	26	12	136	518	96	61	578	100	48.1

Q64 理学療法士がより深く関わることで期待できる効果の有無[A.福祉用具]

n=	ある	ない	今まで関わっていない	上段:度数 下段:%	
				度数	%
3936	3,598	190	148	100	91.4
					4.8

Q65 期待できる効果[A.福祉用具](複数回答)【Q64=ある】

n=	心身機能の向上	ADL自立度の向上	介助者の負担の軽減	地域や社会活動への参加	生活の質の向上	その他	上段:度数 下段:%	
							度数	%
3598	2,416	3,387	3,328	2,149	2,972	104	100	67.1
								94.1

Q66 理学療法士がより深く関わることで期待できる効果の有無[B.義肢]

n=	ある	ない	今まで関わっていない	上段:度数 下段:%	
				度数	%
3936	2,248	222	1,466	100	57.1
					5.6

Q67 期待できる効果[B.義肢](複数回答)【Q66=ある】

n=	心身機能の向上	ADL自立度の向上	介助者の負担の軽減	地域や社会活動への参加	生活の質の向上	その他	上段:度数 下段:%	
							度数	%
2248	1,785	2,079	1,664	1,562	1,876	42	100	79.4
								92.5

Q68 理学療法士がより深く関わることで期待できる効果の有無[C.装具]

n=	ある	ない	今まで関わっていない	上段:度数 下段:%	
3936	3,483	231	222		
100	88.5	5.9	5.6		

Q69 期待できる効果[C.装具](複数回答)【Q68=ある】

n=	心身機能の向上	ADL自立度の向上	介助者の負担の軽減	地域や社会活動への参加	生活の質の向上	その他	上段:度数 下段:%	
3483	2,807	3,285	2,793	2,309	2,878	91		
100	80.6	94.3	80.2	66.3	82.6	2.6		

Q70 卒前教育や研修機会[A.福祉用具]

n=		十分	やや十分	ふつう	やや不十分	不十分	上段:度数 下段:%	
3936	知識について	31	165	1,006	1,463	1,271		
100		0.8	4.2	25.6	37.2	32.3		
3936	技術について	29	120	950	1,446	1,391		
100		0.7	3.0	24.1	36.7	35.3		

Q71 卒前教育や研修機会[B.義肢]

n=		十分	やや十分	ふつう	やや不十分	不十分	上段:度数 下段:%	
3936	知識について	12	81	864	1,340	1,639		
100		0.3	2.1	22.0	34.0	41.6		
3936	技術について	10	64	685	1,258	1,919		
100		0.3	1.6	17.4	32.0	48.8		

Q72 卒前教育や研修機会[C.装具]

n=		十分	やや十分	ふつう	やや不十分	不十分	上段:度数 下段:%	
3936	知識について	21	148	1,167	1,468	1,132		
100		0.5	3.8	29.6	37.3	28.8		
3936	技術について	16	115	982	1,463	1,360		
100		0.4	2.9	24.9	37.2	34.6		

Q73 卒後（協会、都道府県士会等）での教育や研修機会[A.福祉用具]

n=		十分	やや十分	ふつう	やや不十分	不十分
知識について	3936 100	29 0.7	136 3.5	1,353 34.4	1,421 36.1	997 25.3
技術について	3936 100	23 0.6	115 2.9	1,273 32.3	1,478 37.6	1,047 26.6

上段:度数
下段:%

Q74 卒後（協会、都道府県士会等）での教育や研修機会[B.義肢]

n=		十分	やや十分	ふつう	やや不十分	不十分
知識について	3936 100	15 0.4	67 1.7	997 25.3	1,406 35.7	1,451 36.9
技術について	3936 100	13 0.3	56 1.4	901 22.9	1,396 35.5	1,570 39.9

上段:度数
下段:%

Q75 卒後（協会、都道府県士会等）での教育や研修機会[C.装具]

n=		十分	やや十分	ふつう	やや不十分	不十分
知識について	3936 100	23 0.6	135 3.4	1,384 35.2	1,421 36.1	973 24.7
技術について	3936 100	21 0.5	119 3.0	1,275 32.4	1,467 37.3	1,054 26.8

上段:度数
下段:%

Q76 職場内での教育や研修機会[A.福祉用具]

n=		十分	やや十分	ふつう	やや不十分	不十分
知識について	3936 100	38 1.0	215 5.5	1,302 33.1	1,355 34.4	1,026 26.1
技術について	3936 100	36 0.9	197 5.0	1,271 32.3	1,390 35.3	1,042 26.5

上段:度数
下段:%

Q77 職場内での教育や研修機会について[B.義肢]

n=		十分	やや十分	ふつう	やや不十分	不十分
知識について	3936 100	17 0.4	73 1.9	799 20.3	1,167 29.6	1,880 47.8
技術について	3936 100	16 0.4	69 1.8	727 18.5	1,180 30.0	1,944 49.4

上段:度数
下段:%

Q78 職場内での教育や研修機会[C.装具]

n=		十分	やや十分	ふつう	やや不十分	不十分
知識について	3936 100	37 0.9	213 5.4	1,178 29.9	1,388 35.3	1,120 28.5
技術について	3936 100	37 0.9	184 4.7	1,134 28.8	1,413 35.9	1,168 29.7

上段:度数
下段:%

Q79 最新情報の入手状況[A.福祉用具]

n=	出来ている	出来ていない	わからない	上段:度数 下段:%
	3936	1,561	1,613	762
100	39.7	41.0	19.4	

Q80 情報の入手先[A.福祉用具](複数回答)【Q79=出来ている】

n=	メーカーや業者	ソーシャルワーカーやケアマネジャー	雑誌や広告	学会や講習会	論文	展示会	インターネットやメールマガジン	その他	上段:度数 下段:%
	1561	1,512	430	505	616	135	719	408	25
100	96.9	27.5	32.4	39.5	8.6	46.1	26.1	1.6	

Q81 最新情報の入手状況[B.義肢]

n=	出来ている	出来ていない	わからない	上段:度数 下段:%
	3936	377	2,718	841
100	9.6	69.1	21.4	

Q82 情報の入手先[B.義肢](複数回答)【Q81=出来ている】

n=	メーカーや業者	ソーシャルワーカーやケアマネジャー	雑誌や広告	学会や講習会	論文	展示会	インターネットやメールマガジン	その他	上段:度数 下段:%
	377	355	50	82	155	61	111	70	13
100	94.2	13.3	21.8	41.1	16.2	29.4	18.6	3.4	

Q83 最新情報の入手状況[C.装具]

n=	出来ている	出来ていない	わからない	上段:度数 下段:%
	3936	1,094	2,142	700
100	27.8	54.4	17.8	

Q84 情報の入手先について[C.装具](複数回答)【Q83=出来ている】

n=	メーカーや業者	ソーシャルワーカーやケアマネジャー	雑誌や広告	学会や講習会	論文	展示会	インターネットやメールマガジン	その他	上段:度数 下段:%
	1094	1,041	94	293	582	257	361	250	29
100	95.2	8.6	26.8	53.2	23.5	33.0	22.9	2.7	

3. クロス集計結果

【Q1 職場の主たる業態とのクロス】

表頭: Q2 職場の理学療法士の人数

表側: Q1 職場の主たる業態

		0	1	2	3	4	5
		TOTAL	10人未満	10人以上20人未満	20人以上30人未満	30人以上	不明
1段目 度数	2段目 横%						
0	TOTAL	3936	2654	710	266	305	1
		100.0	67.4	18.0	6.8	7.7	0.0
1	医療機関	2746	1512	669	263	302	0
		100.0	55.1	24.4	9.6	11.0	0.0
2	福祉施設	712	688	20	0	3	1
		100.0	96.6	2.8	0.0	0.4	0.1
3	在宅サービス事業所	365	346	16	3	0	0
		100.0	94.8	4.4	0.8	0.0	0.0
4	その他	113	108	5	0	0	0
		100.0	95.6	4.4	0.0	0.0	0.0

表頭: Q3 理学療法士が関わっている主な疾患(回答は3つまで)

表側: Q1 職場の主たる業態

		0	1	2	3	4	5	6
		TOTAL	脳血管障害	脊髄損傷	骨関節疾患	外傷	神経難病	脳性麻痺
1段目 度数	2段目 横%							
0	TOTAL	3936	2967	318	3296	501	578	209
		100.0	75.4	8.1	83.7	12.7	14.7	5.3
1	医療機関	2746	1942	213	2405	480	314	95
		100.0	70.7	7.8	87.6	17.5	11.4	3.5
2	福祉施設	712	594	67	504	18	83	96
		100.0	83.4	9.4	70.8	2.5	11.7	13.5
3	在宅サービス事業所	365	336	30	295	1	160	8
		100.0	92.1	8.2	80.8	0.3	43.8	2.2
4	その他	113	95	8	92	2	21	10
		100.0	84.1	7.1	81.4	1.8	18.6	8.8

(前表からのつづき)

		0	7	8	9	10	11
		TOTAL	内部疾患	小児疾患	虚弱高齢	その他	不明
1段目 度数	2段目 横%						
0	TOTAL	3936	1158	151	1382	167	4
		100.0	29.4	3.8	35.1	4.2	0.1
1	医療機関	2746	986	86	769	105	0
		100.0	35.9	3.1	28.0	3.8	0.0
2	福祉施設	712	104	47	389	45	3
		100.0	14.6	6.6	54.6	6.3	0.4
3	在宅サービス事業所	365	53	11	165	6	1
		100.0	14.5	3.0	45.2	1.6	0.3
4	その他	113	15	7	59	11	0
		100.0	13.3	6.2	52.2	9.7	0.0

表頭: Q4 施設備品として準備されている福祉用具(複数回答)

表側: Q1 職場の主たる業態

1段目 度数 2段目 横%		0	1	2	3	4	5	6
		TOTAL	入浴関連(バスボード、シャワーチェア等)	排泄関連(ポータブルトイレ、補高便座等)	移動関連(車いす、杖、歩行器、手すり、擦り付け板等)	移乗(トランスファーボード、リフト等)	外出時環境(段差解消機、階段昇降機、スロープ等)	食事(スプーン、皿、ポータブルスプリングバランス等)
0	TOTAL	3936 100.0	2898 73.6	2759 70.1	3818 97.0	2306 58.6	656 16.7	2819 71.6
1	医療機関	2746 100.0	1953 71.1	1971 71.8	2691 98.0	1624 59.1	431 15.7	1944 70.8
2	福祉施設	712 100.0	626 87.9	587 82.4	704 98.9	478 67.1	157 22.1	600 84.3
3	在宅サービス事業所	365 100.0	225 61.6	119 32.6	315 86.3	134 36.7	46 12.6	187 51.2
4	その他	113 100.0	94 83.2	82 72.6	108 95.6	70 61.9	22 19.5	88 77.9

(前表からのつづき)

1段目 度数 2段目 横%		0	7	8	9	10	11	12
		TOTAL	整容(長柄ブラシ等)	更衣(ボタンエイド、ソックスエイド等)	コミュニケーション(文字盤、意思伝達装置等)	姿勢調整(クッション、座位保持装置等)	その他	該当なし
0	TOTAL	3936 100.0	1316 33.4	1556 39.5	1489 37.8	2917 74.1	87 2.2	70 1.8
1	医療機関	2746 100.0	1084 39.5	1314 47.9	1201 43.7	2014 73.3	42 1.5	40 1.5
2	福祉施設	712 100.0	154 21.6	145 20.4	201 28.2	625 87.8	23 3.2	2 0.3
3	在宅サービス事業所	365 100.0	58 15.9	65 17.8	56 15.3	181 49.6	15 4.1	24 6.6
4	その他	113 100.0	20 17.7	32 28.3	31 27.4	97 85.8	7 6.2	4 3.5

表頭: Q5 施設備品として準備されている下肢装具(複数回答)

表側: Q1 職場の主たる業態

1段目 度数 2段目 横%		0	1	2	3	4	5
		TOTAL	長下肢装具	金属支柱付き短下肢装具	プラスチック製短下肢装具(継手なし)	プラスチック製短下肢装具(継手あり)	オルトトップAFO
0	TOTAL	3936 100.0	1313 33.4	1409 35.8	2258 57.4	1090 27.7	1778 45.2
1	医療機関	2746 100.0	1198 43.6	1194 43.5	1829 66.6	915 33.3	1509 55.0
2	福祉施設	712 100.0	74 10.4	150 21.1	275 38.6	113 15.9	155 21.8
3	在宅サービス事業所	365 100.0	31 8.5	42 11.5	104 28.5	43 11.8	77 21.1
4	その他	113 100.0	10 8.8	23 20.4	50 44.2	19 16.8	37 32.7

(前表からのつづき)

1段目 度数 2段目 横%		0	6	7	8	9
		TOTAL	リーストラップ	膝装具	その他	該当なし
0	TOTAL	3936 100.0	420 10.7	2263 57.5	229 5.8	913 23.2
1	医療機関	2746 100.0	379 13.8	1913 69.7	184 6.7	358 13.0
2	福祉施設	712 100.0	21 2.9	229 32.2	27 3.8	313 44.0
3	在宅サービス事業所	365 100.0	10 2.7	80 21.9	10 2.7	198 54.2
4	その他	113 100.0	10 8.8	41 36.3	8 7.1	44 38.9

表頭: Q6 理学療法士が関わる支援対象者全体のうち各支援を必要とするおおよその割合(回答は半角数字で入力): 福祉用具

表側: Q1 職場の主たる業態

1段目 度数 2段目 横%		0	1	2	3	4	5
		TOTAL	平均値	中央値	標準偏差	最小値	最大値
0	TOTAL	3936 100.0	52.0	50	30.10	0	100
1	医療機関	2746 100.0	44.0	40	29.90	0	100
2	福祉施設	712 100.0	71.0	80	25.70	0	100
3	在宅サービス事業所	365 100.0	70.0	80	26.50	0	100
4	その他	113 100.0	66.0	80	29.20	0	100

表頭: Q6 理学療法士が関わる支援対象者全体のうち各支援を必要とするおおよその割合(回答は半角数字で入力): 義肢
表側: Q1 職場の主たる業態

		0	1	2	3	4	5
		TOTAL	平均値	中央値	標準偏差	最小値	最大値
1段目	度数						
2段目	横%						
0	TOTAL	3936 100.0	4.0	0	10.50	0	100
1	医療機関	2746 100.0	4.0	0	11.30	0	100
2	福祉施設	712 100.0	3.0	0	9.80	0	100
3	在宅サービス事業所	365 100.0	2.0	0	4.90	0	50
4	その他	113 100.0	2.0	0	4.00	0	20

表頭: Q6 理学療法士が関わる支援対象者全体のうち各支援を必要とするおおよその割合(回答は半角数字で入力): 装具
表側: Q1 職場の主たる業態

		0	1	2	3	4	5
		TOTAL	平均値	中央値	標準偏差	最小値	最大値
1段目	度数						
2段目	横%						
0	TOTAL	3936 100.0	21.0	10	19.20	0	100
1	医療機関	2746 100.0	22.0	10	20.00	0	100
2	福祉施設	712 100.0	20.0	10	17.70	0	100
3	在宅サービス事業所	365 100.0	19.0	20	14.30	0	80
4	その他	113 100.0	24.0	20	21.20	0	90

表頭: Q7 それぞれの支援時期における理学療法士の関わり 1.評価[A.福祉用具] 理想
表側: Q1 職場の主たる業態

		0	1	2
		TOTAL	関わるべき	関わらなくてよい
1段目	度数			
2段目	横%			
0	TOTAL	3936 100.0	3903 99.2	33 0.8
1	医療機関	2746 100.0	2720 99.1	26 0.9
2	福祉施設	712 100.0	709 99.6	3 0.4
3	在宅サービス事業所	365 100.0	363 99.5	2 0.5
4	その他	113 100.0	111 98.2	2 1.8

表頭: Q8 それぞれの支援時期における理学療法士の関わり 1.評価[A.福祉用具] 現状

表側: Q1 職場の主たる業態

1段目 度数 2段目 横%		0	1	2
		TOTAL	関わっている	関わっていない
0	TOTAL	3936 100.0	3294 83.7	642 16.3
1	医療機関	2746 100.0	2250 81.9	496 18.1
2	福祉施設	712 100.0	615 86.4	97 13.6
3	在宅サービス事業所	365 100.0	327 89.6	38 10.4
4	その他	113 100.0	102 90.3	11 9.7

表頭: Q9 それぞれの支援時期における理学療法士の関わり 1.評価[A.福祉用具] 理想と現状の差

表側: Q1 職場の主たる業態

1段目 度数 2段目 横%		0	1	2	3
		TOTAL	ある	ない	わからない
0	TOTAL	3936 100.0	2278 57.9	1082 27.5	576 14.6
1	医療機関	2746 100.0	1560 56.8	749 27.3	437 15.9
2	福祉施設	712 100.0	428 60.1	199 27.9	85 11.9
3	在宅サービス事業所	365 100.0	227 62.2	95 26.0	43 11.8
4	その他	113 100.0	63 55.8	39 34.5	11 9.7

表頭: Q10 それぞれの支援時期における理学療法士の関わり 1.評価[A.福祉用具] 理想と現状の差が生じる理由【Q9=ある】(複数回答)

表側: Q1 職場の主たる業態

		0	1	2	3	4	5
1段目 度数 2段目 横%		TOTAL	時間がない	対応するの に必要な知 識が不足し ている	対応するの に必要な技 術が不足し ている	対応するの に必要な備 品が不足し ている	理学療法士 以外の職種 が対応してい る
0	TOTAL	2278 100.0	1086 47.7	1063 46.7	804 35.3	1186 52.1	677 29.7
1	医療機関	1560 100.0	766 49.1	803 51.5	603 38.7	825 52.9	467 29.9
2	福祉施設	428 100.0	201 47.0	184 43.0	146 34.1	232 54.2	105 24.5
3	在宅サービス事業所	227 100.0	85 37.4	52 22.9	37 16.3	98 43.2	88 38.8
4	その他	63 100.0	34 54.0	24 38.1	18 28.6	31 49.2	17 27.0

(前表からのつづき)

		0	6	7	8	9
1段目 度数 2段目 横%		TOTAL	理学療法士 への依頼が ない	保険適応さ れないなど の経営的理 由	その他	該当する患 者がいない
0	TOTAL	2278 100.0	712 31.3	613 26.9	165 7.2	18 0.8
1	医療機関	1560 100.0	467 29.9	404 25.9	86 5.5	16 1.0
2	福祉施設	428 100.0	110 25.7	129 30.1	38 8.9	2 0.5
3	在宅サービス事業所	227 100.0	115 50.7	63 27.8	30 13.2	0 0.0
4	その他	63 100.0	20 31.7	17 27.0	11 17.5	0 0.0

表頭: Q12 それぞれの支援時期における理学療法士の関わり 1.評価[B.義肢] 現状

表側: Q1 職場の主たる業態

		0	1	2
1段目 度数 2段目 横%		TOTAL	関わっている	関わってい ない
0	TOTAL	3936 100.0	1323 33.6	2613 66.4
1	医療機関	2746 100.0	1101 40.1	1645 59.9
2	福祉施設	712 100.0	128 18.0	584 82.0
3	在宅サービス事業所	365 100.0	73 20.0	292 80.0
4	その他	113 100.0	21 18.6	92 81.4

表頭: Q13 それぞれの支援時期における理学療法士の関わり 1.評価[B.義肢] 理想と現状の差

表側: Q1 職場の主たる業態

		0	1	2	3
		TOTAL	ある	ない	わからない
1段目 度数					
2段目 横%					
0	TOTAL	3936	1454	939	1543
		100.0	36.9	23.9	39.2
1	医療機関	2746	1061	692	993
		100.0	38.6	25.2	36.2
2	福祉施設	712	234	157	321
		100.0	32.9	22.1	45.1
3	在宅サービス事業所	365	126	65	174
		100.0	34.5	17.8	47.7
4	その他	113	33	25	55
		100.0	29.2	22.1	48.7

表頭: Q14 それぞれの支援時期における理学療法士の関わり 1.評価[B.義肢] 理想と現状の差が生じる理由【Q13=ある】(複数回答)

表側: Q1 職場の主たる業態

		0	1	2	3	4	5
		TOTAL	時間がない	対応するのに必要な知識が不足している	対応するのに必要な技術が不足している	対応するのに必要な備品が不足している	理学療法士以外の職種が対応している
1段目 度数							
2段目 横%							
0	TOTAL	1454	409	753	676	512	363
		100.0	28.1	51.8	46.5	35.2	25.0
1	医療機関	1061	309	590	528	384	305
		100.0	29.1	55.6	49.8	36.2	28.7
2	福祉施設	234	62	100	95	86	32
		100.0	26.5	42.7	40.6	36.8	13.7
3	在宅サービス事業所	126	33	54	46	35	22
		100.0	26.2	42.9	36.5	27.8	17.5
4	その他	33	5	9	7	7	4
		100.0	15.2	27.3	21.2	21.2	12.1

(前表からのつづき)

		0	6	7	8	9
		TOTAL	理学療法士への依頼がない	保険適応されないなどの経営的理由	その他	該当する患者がいない
1段目 度数						
2段目 横%						
0	TOTAL	1454	403	196	140	275
		100.0	27.7	13.5	9.6	18.9
1	医療機関	1061	281	121	88	182
		100.0	26.5	11.4	8.3	17.2
2	福祉施設	234	65	50	24	57
		100.0	27.8	21.4	10.3	24.4
3	在宅サービス事業所	126	48	19	22	24
		100.0	38.1	15.1	17.5	19.0
4	その他	33	9	6	6	12
		100.0	27.3	18.2	18.2	36.4

表頭: Q15 それぞれの支援時期における理学療法士の関わり 1.評価[C.装具] 理想

表側: Q1 職場の主たる業態

1段目 度数 2段目 横%		0	1	2
		TOTAL	関わるべき	関わらなくてよい
0	TOTAL	3936 100.0	3892 98.9	44 1.1
1	医療機関	2746 100.0	2721 99.1	25 0.9
2	福祉施設	712 100.0	699 98.2	13 1.8
3	在宅サービス事業所	365 100.0	361 98.9	4 1.1
4	その他	113 100.0	111 98.2	2 1.8

表頭: Q16 それぞれの支援時期における理学療法士の関わり 1.評価[C.装具] 現状

表側: Q1 職場の主たる業態

1段目 度数 2段目 横%		0	1	2
		TOTAL	関わっている	関わっていない
0	TOTAL	3936 100.0	3085 78.4	851 21.6
1	医療機関	2746 100.0	2207 80.4	539 19.6
2	福祉施設	712 100.0	504 70.8	208 29.2
3	在宅サービス事業所	365 100.0	286 78.4	79 21.6
4	その他	113 100.0	88 77.9	25 22.1

表頭: Q17 それぞれの支援時期における理学療法士の関わり 1.評価[C.装具] 理想と現状の差

表側: Q1 職場の主たる業態

1段目 度数 2段目 横%		0	1	2	3
		TOTAL	ある	ない	わからない
0	TOTAL	3936 100.0	1985 50.4	1392 35.4	559 14.2
1	医療機関	2746 100.0	1358 49.5	1009 36.7	379 13.8
2	福祉施設	712 100.0	352 49.4	241 33.8	119 16.7
3	在宅サービス事業所	365 100.0	217 59.5	102 27.9	46 12.6
4	その他	113 100.0	58 51.3	40 35.4	15 13.3

表頭: Q18 それぞれの支援時期における理学療法士の関わり 1.評価[C.装具] 理想と現状の差が生じる理由【Q17=ある】(複数回答)

表側: Q1 職場の主たる業態

		0	1	2	3	4	5
1段目 度数 2段目 横%		TOTAL	時間がない	対応するの に必要な知 識が不足し ている	対応するの に必要な技 術が不足し ている	対応するの に必要な備 品が不足し ている	理学療法士 以外の職種 が対応してい る
0	TOTAL	1985 100.0	714 36.0	966 48.7	885 44.6	854 43.0	514 25.9
1	医療機関	1358 100.0	513 37.8	742 54.6	683 50.3	595 43.8	412 30.3
2	福祉施設	352 100.0	119 33.8	150 42.6	132 37.5	150 42.6	54 15.3
3	在宅サービス事業所	217 100.0	62 28.6	53 24.4	51 23.5	81 37.3	41 18.9
4	その他	58 100.0	20 34.5	21 36.2	19 32.8	28 48.3	7 12.1

(前表からのつづき)

		0	6	7	8	9
1段目 度数 2段目 横%		TOTAL	理学療法士 への依頼が ない	保険適応さ れないなど の経営的理 由	その他	該当する患 者がいない
0	TOTAL	1985 100.0	526 26.5	428 21.6	267 13.5	44 2.2
1	医療機関	1358 100.0	346 25.5	258 19.0	132 9.7	29 2.1
2	福祉施設	352 100.0	90 25.6	105 29.8	57 16.2	12 3.4
3	在宅サービス事業所	217 100.0	80 36.9	48 22.1	65 30.0	2 0.9
4	その他	58 100.0	10 17.2	17 29.3	13 22.4	1 1.7

表頭: Q19 それぞれの支援時期における理学療法士の関わり 2.作製・フィッティング[A.福祉用具] 理想

表側: Q1 職場の主たる業態

		0	1	2
1段目 度数 2段目 横%		TOTAL	関わるべき	関わらなくて よい
0	TOTAL	3936 100.0	3700 94.0	236 6.0
1	医療機関	2746 100.0	2565 93.4	181 6.6
2	福祉施設	712 100.0	675 94.8	37 5.2
3	在宅サービス事業所	365 100.0	351 96.2	14 3.8
4	その他	113 100.0	109 96.5	4 3.5

表頭: Q20 それぞれの支援時期における理学療法士の関わり 2.作製・フィッティング[A.福祉用具] 現状
 表側: Q1 職場の主たる業態

		0	1	2
		TOTAL	関わっている	関わっていない
1段目	度数			
2段目	横%			
0	TOTAL	3936 100.0	2537 64.5	1399 35.5
1	医療機関	2746 100.0	1719 62.6	1027 37.4
2	福祉施設	712 100.0	482 67.7	230 32.3
3	在宅サービス事業所	365 100.0	260 71.2	105 28.8
4	その他	113 100.0	76 67.3	37 32.7

表頭: Q21 それぞれの支援時期における理学療法士の関わり 2.作製・フィッティング[A.福祉用具] 理想と現状の差
 表側: Q1 職場の主たる業態

		0	1	2	3
		TOTAL	ある	ない	わからない
1段目	度数				
2段目	横%				
0	TOTAL	3936 100.0	1826 46.4	1271 32.3	839 21.3
1	医療機関	2746 100.0	1259 45.8	872 31.8	615 22.4
2	福祉施設	712 100.0	325 45.6	253 35.5	134 18.8
3	在宅サービス事業所	365 100.0	193 52.9	106 29.0	66 18.1
4	その他	113 100.0	49 43.4	40 35.4	24 21.2

表頭: Q22 それぞれの支援時期における理学療法士の関わり 2. 作製・フィッティング[A. 福祉用具] 理想と現状の差が生じる理由
表側: Q1 職場の主たる業態

【Q21=ある】(複数回答)

		0	1	2	3	4	5
1段目 度数 2段目 横%		TOTAL	時間がない	対応するの に必要な知 識が不足し ている	対応するの に必要な技 術が不足し ている	対応するの に必要な備 品が不足し ている	理学療法士 以外の職種 が対応してい る
0	TOTAL	1826 100.0	821 45.0	860 47.1	773 42.3	831 45.5	607 33.2
1	医療機関	1259 100.0	583 46.3	650 51.6	586 46.5	588 46.7	441 35.0
2	福祉施設	325 100.0	145 44.6	137 42.2	127 39.1	156 48.0	73 22.5
3	在宅サービス事業所	193 100.0	71 36.8	54 28.0	46 23.8	64 33.2	80 41.5
4	その他	49 100.0	22 44.9	19 38.8	14 28.6	23 46.9	13 26.5

(前表からのつづき)

		0	6	7	8	9
1段目 度数 2段目 横%		TOTAL	理学療法士 への依頼が ない	保険適応さ れないなど の経営的理 由	その他	該当する患 者がいない
0	TOTAL	1826 100.0	529 29.0	409 22.4	128 7.0	36 2.0
1	医療機関	1259 100.0	352 28.0	267 21.2	74 5.9	25 2.0
2	福祉施設	325 100.0	76 23.4	91 28.0	21 6.5	6 1.8
3	在宅サービス事業所	193 100.0	86 44.6	40 20.7	26 13.5	4 2.1
4	その他	49 100.0	15 30.6	11 22.4	7 14.3	1 2.0

表頭: Q23 それぞれの支援時期における理学療法士の関わり 2. 作製・フィッティング[B. 義肢] 理想
表側: Q1 職場の主たる業態

		0	1	2
1段目 度数 2段目 横%		TOTAL	関わるべき	関わらなくて よい
0	TOTAL	3936 100.0	3555 90.3	381 9.7
1	医療機関	2746 100.0	2488 90.6	258 9.4
2	福祉施設	712 100.0	637 89.5	75 10.5
3	在宅サービス事業所	365 100.0	329 90.1	36 9.9
4	その他	113 100.0	101 89.4	12 10.6

表頭: Q24 それぞれの支援時期における理学療法士の関わり 2. 作製・フィッティング[B.義肢] 現状
 表側: Q1 職場の主たる業態

		0	1	2
		TOTAL	関わっている	関わっていない
1段目	度数			
2段目	横%			
0	TOTAL	3936 100.0	1143 29.0	2793 71.0
1	医療機関	2746 100.0	961 35.0	1785 65.0
2	福祉施設	712 100.0	109 15.3	603 84.7
3	在宅サービス事業所	365 100.0	53 14.5	312 85.5
4	その他	113 100.0	20 17.7	93 82.3

表頭: Q25 それぞれの支援時期における理学療法士の関わり 2. 作製・フィッティング[B.義肢] 理想と現状の差
 表側: Q1 職場の主たる業態

		0	1	2	3
		TOTAL	ある	ない	わからない
1段目	度数				
2段目	横%				
0	TOTAL	3936 100.0	1319 33.5	1027 26.1	1590 40.4
1	医療機関	2746 100.0	972 35.4	756 27.5	1018 37.1
2	福祉施設	712 100.0	198 27.8	179 25.1	335 47.1
3	在宅サービス事業所	365 100.0	117 32.1	67 18.4	181 49.6
4	その他	113 100.0	32 28.3	25 22.1	56 49.6

表頭: Q26 それぞれの支援時期における理学療法士の関わり 2.作製・フィッティング[B.義肢] 理想と現状の差が生じる理由

表側: Q1 職場の主たる業態

【Q25=ある】(複数回答)

		0	1	2	3	4	5
1段目 度数 2段目 横%		TOTAL	時間がない	対応するの に必要な知 識が不足し ている	対応するの に必要な技 術が不足し ている	対応するの に必要な備 品が不足し ている	理学療法士 以外の職種 が対応してい る
0	TOTAL	1319 100.0	405 30.7	648 49.1	609 46.2	429 32.5	385 29.2
1	医療機関	972 100.0	310 31.9	526 54.1	489 50.3	340 35.0	324 33.3
2	福祉施設	198 100.0	49 24.7	75 37.9	78 39.4	52 26.3	30 15.2
3	在宅サービス事業所	117 100.0	37 31.6	38 32.5	35 29.9	31 26.5	28 23.9
4	その他	32 100.0	9 28.1	9 28.1	7 21.9	6 18.8	3 9.4

(前表からのつづき)

		0	6	7	8	9
1段目 度数 2段目 横%		TOTAL	理学療法士 への依頼が ない	保険適応さ れないなど の経営的理 由	その他	該当する患 者がいない
0	TOTAL	1319 100.0	354 26.8	156 11.8	84 6.4	281 21.3
1	医療機関	972 100.0	242 24.9	109 11.2	53 5.5	183 18.8
2	福祉施設	198 100.0	50 25.3	31 15.7	14 7.1	61 30.8
3	在宅サービス事業所	117 100.0	54 46.2	16 13.7	13 11.1	24 20.5
4	その他	32 100.0	8 25.0	0 0.0	4 12.5	13 40.6

表頭: Q27 それぞれの支援時期における理学療法士の関わり 2.作製・フィッティング[C.装具] 理想

表側: Q1 職場の主たる業態

		0	1	2
1段目 度数 2段目 横%		TOTAL	関わるべき	関わらなくて よい
0	TOTAL	3936 100.0	3729 94.7	207 5.3
1	医療機関	2746 100.0	2602 94.8	144 5.2
2	福祉施設	712 100.0	676 94.9	36 5.1
3	在宅サービス事業所	365 100.0	343 94.0	22 6.0
4	その他	113 100.0	108 95.6	5 4.4

表頭: Q28 それぞれの支援時期における理学療法士の関わり 2.作製・フィッティング[C.装具] 現状
 表側: Q1 職場の主たる業態

		0	1	2
		TOTAL	関わっている	関わっていない
1段目	度数			
2段目	横%			
0	TOTAL	3936 100.0	2591 65.8	1345 34.2
1	医療機関	2746 100.0	1895 69.0	851 31.0
2	福祉施設	712 100.0	405 56.9	307 43.1
3	在宅サービス事業所	365 100.0	215 58.9	150 41.1
4	その他	113 100.0	76 67.3	37 32.7

表頭: Q29 それぞれの支援時期における理学療法士の関わり 2.作製・フィッティング[C.装具] 理想と現状の差
 表側: Q1 職場の主たる業態

		0	1	2	3
		TOTAL	ある	ない	わからない
1段目	度数				
2段目	横%				
0	TOTAL	3936 100.0	1759 44.7	1440 36.6	737 18.7
1	医療機関	2746 100.0	1226 44.6	1043 38.0	477 17.4
2	福祉施設	712 100.0	296 41.6	259 36.4	157 22.1
3	在宅サービス事業所	365 100.0	192 52.6	96 26.3	77 21.1
4	その他	113 100.0	45 39.8	42 37.2	26 23.0

表頭: Q30 それぞれの支援時期における理学療法士の関わり 2.作製・フィッティング[C.装具] 理想と現状の差が生じる理由
表側: Q1 職場の主たる業態 【Q29=ある】(複数回答)

1段目 度数 2段目 横%		0	1	2	3	4	5
		TOTAL	時間がない	対応するの に必要な知 識が不足し ている	対応するの に必要な技 術が不足し ている	対応するの に必要な備 品が不足し ている	理学療法士 以外の職種 が対応してい る
0	TOTAL	1759 100.0	694 39.5	905 51.4	841 47.8	677 38.5	556 31.6
1	医療機関	1226 100.0	510 41.6	693 56.5	648 52.9	486 39.6	446 36.4
2	福祉施設	296 100.0	96 32.4	131 44.3	119 40.2	110 37.2	48 16.2
3	在宅サービス事業所	192 100.0	72 37.5	59 30.7	55 28.6	63 32.8	53 27.6
4	その他	45 100.0	16 35.6	22 48.9	19 42.2	18 40.0	9 20.0

(前表からのつづき)

1段目 度数 2段目 横%		0	6	7	8	9
		TOTAL	理学療法士 への依頼が ない	保険適応さ れないなど の経営的理 由	その他	該当する患 者がいない
0	TOTAL	1759 100.0	463 26.3	334 19.0	197 11.2	46 2.6
1	医療機関	1226 100.0	311 25.4	214 17.5	87 7.1	26 2.1
2	福祉施設	296 100.0	72 24.3	77 26.0	47 15.9	16 5.4
3	在宅サービス事業所	192 100.0	74 38.5	34 17.7	53 27.6	3 1.6
4	その他	45 100.0	6 13.3	9 20.0	10 22.2	1 2.2

表頭: Q31 それぞれの支援時期における理学療法士の関わり 3.ADL練習[A.福祉用具] 理想
表側: Q1 職場の主たる業態

1段目 度数 2段目 横%		0	1	2
		TOTAL	関わるべき	関わらなくて よい
0	TOTAL	3936 100.0	3889 98.8	47 1.2
1	医療機関	2746 100.0	2704 98.5	42 1.5
2	福祉施設	712 100.0	710 99.7	2 0.3
3	在宅サービス事業所	365 100.0	363 99.5	2 0.5
4	その他	113 100.0	112 99.1	1 0.9

表頭: Q32 それぞれの支援時期における理学療法士の関わり 3.ADL練習[A.福祉用具] 現状
 表側: Q1 職場の主たる業態

1段目 度数 2段目 横%		0	1	2
		TOTAL	関わっている	関わっていない
0	TOTAL	3936 100.0	3410 86.6	526 13.4
1	医療機関	2746 100.0	2323 84.6	423 15.4
2	福祉施設	712 100.0	641 90.0	71 10.0
3	在宅サービス事業所	365 100.0	345 94.5	20 5.5
4	その他	113 100.0	101 89.4	12 10.6

表頭: Q33 それぞれの支援時期における理学療法士の関わり 3.ADL練習[A.福祉用具] 理想と現状の差
 表側: Q1 職場の主たる業態

1段目 度数 2段目 横%		0	1	2	3
		TOTAL	ある	ない	わからない
0	TOTAL	3936 100.0	1702 43.2	1732 44.0	502 12.8
1	医療機関	2746 100.0	1193 43.4	1155 42.1	398 14.5
2	福祉施設	712 100.0	312 43.8	333 46.8	67 9.4
3	在宅サービス事業所	365 100.0	142 38.9	197 54.0	26 7.1
4	その他	113 100.0	55 48.7	47 41.6	11 9.7

表頭: Q34 それぞれの支援時期における理学療法士の関わり 3.ADL練習[A.福祉用具] 理想と現状の差が生じる理由
 表側: Q1 職場の主たる業態 【Q33=ある】(複数回答)

1段目 度数 2段目 横%		0	1	2	3	4	5
		TOTAL	時間がない	対応するの に必要な知 識が不足し ている	対応するの に必要な技 術が不足し ている	対応するの に必要な備 品が不足し ている	理学療法士 以外の職種 が対応してい る
0	TOTAL	1702 100.0	785 46.1	635 37.3	531 31.2	865 50.8	463 27.2
1	医療機関	1193 100.0	521 43.7	503 42.2	423 35.5	628 52.6	330 27.7
2	福祉施設	312 100.0	171 54.8	93 29.8	79 25.3	149 47.8	81 26.0
3	在宅サービス事業所	142 100.0	63 44.4	24 16.9	17 12.0	62 43.7	39 27.5
4	その他	55 100.0	30 54.5	15 27.3	12 21.8	26 47.3	13 23.6

(前表からのつづき)

1段目 度数 2段目 横%		0	6	7	8	9
		TOTAL	理学療法士 への依頼が ない	保険適応さ れないなど の経営的理 由	その他	該当する患 者がいない
0	TOTAL	1702 100.0	275 16.2	264 15.5	138 8.1	31 1.8
1	医療機関	1193 100.0	171 14.3	175 14.7	81 6.8	26 2.2
2	福祉施設	312 100.0	47 15.1	59 18.9	27 8.7	5 1.6
3	在宅サービス事業所	142 100.0	50 35.2	26 18.3	23 16.2	0 0.0
4	その他	55 100.0	7 12.7	4 7.3	7 12.7	0 0.0

表頭: Q35 それぞれの支援時期における理学療法士の関わり 3.ADL練習[B.義肢] 理想
 表側: Q1 職場の主たる業態

1段目 度数 2段目 横%		0	1	2
		TOTAL	関わるべき	関わらなくて よい
0	TOTAL	3936 100.0	3835 97.4	101 2.6
1	医療機関	2746 100.0	2677 97.5	69 2.5
2	福祉施設	712 100.0	687 96.5	25 3.5
3	在宅サービス事業所	365 100.0	359 98.4	6 1.6
4	その他	113 100.0	112 99.1	1 0.9

表頭: Q36 それぞれの支援時期における理学療法士の関わり 3.ADL練習[B.義肢] 現状

表側: Q1 職場の主たる業態

		0	1	2
		TOTAL	関わっている	関わっていない
1段目	度数			
2段目	横%			
0	TOTAL	3936 100.0	1518 38.6	2418 61.4
1	医療機関	2746 100.0	1231 44.8	1515 55.2
2	福祉施設	712 100.0	166 23.3	546 76.7
3	在宅サービス事業所	365 100.0	93 25.5	272 74.5
4	その他	113 100.0	28 24.8	85 75.2

表頭: Q37 それぞれの支援時期における理学療法士の関わりについて 3.ADL練習[B.義肢] 理想と現状の差

表側: Q1 職場の主たる業態

		0	1	2	3
		TOTAL	ある	ない	わからない
1段目	度数				
2段目	横%				
0	TOTAL	3936 100.0	1146 29.1	1187 30.2	1603 40.7
1	医療機関	2746 100.0	850 31.0	863 31.4	1033 37.6
2	福祉施設	712 100.0	180 25.3	202 28.4	330 46.3
3	在宅サービス事業所	365 100.0	89 24.4	91 24.9	185 50.7
4	その他	113 100.0	27 23.9	31 27.4	55 48.7

表頭: Q38 それぞれの支援時期における理学療法士の関わり 3.ADL練習[B.義肢] 理想と現状の差が生じる理由

表側: Q1 職場の主たる業態

【Q37=ある】(複数回答)

		0	1	2	3	4	5
		TOTAL	時間がない	対応するの に必要な知識 が不足して いる	対応するの に必要な技 術が不足し ている	対応するの に必要な備 品が不足し ている	理学療法士 以外の職種 が対応してい る
1段目	度数						
2段目	横%						
0	TOTAL	1146 100.0	334 29.1	447 39.0	410 35.8	341 29.8	165 14.4
1	医療機関	850 100.0	256 30.1	375 44.1	343 40.4	274 32.2	133 15.6
2	福祉施設	180 100.0	47 26.1	46 25.6	42 23.3	42 23.3	21 11.7
3	在宅サービス事業所	89 100.0	23 25.8	21 23.6	21 23.6	20 22.5	10 11.2
4	その他	27 100.0	8 29.6	5 18.5	4 14.8	5 18.5	1 3.7

(前表からのつづき)

		0	6	7	8	9
		TOTAL	理学療法士 への依頼が ない	保険適応さ れないなど の経営的理 由	その他	該当する患 者がいない
1段目	度数					
2段目	横%					
0	TOTAL	1146 100.0	222 19.4	104 9.1	66 5.8	329 28.7
1	医療機関	850 100.0	149 17.5	77 9.1	50 5.9	218 25.6
2	福祉施設	180 100.0	36 20.0	19 10.6	11 6.1	72 40.0
3	在宅サービス事業所	89 100.0	33 37.1	7 7.9	3 3.4	26 29.2
4	その他	27 100.0	4 14.8	1 3.7	2 7.4	13 48.1

表頭: Q39 それぞれの支援時期における理学療法士の関わり 3.ADL練習[C.装具] 理想

表側: Q1 職場の主たる業態

		0	1	2
		TOTAL	関わるべき	関わらなくて よい
1段目	度数			
2段目	横%			
0	TOTAL	3936 100.0	3896 99.0	40 1.0
1	医療機関	2746 100.0	2715 98.9	31 1.1
2	福祉施設	712 100.0	706 99.2	6 0.8
3	在宅サービス事業所	365 100.0	364 99.7	1 0.3
4	その他	113 100.0	111 98.2	2 1.8

表頭: Q40 それぞれの支援時期における理学療法士の関わり 3.ADL練習[C.装具] 現状

表側: Q1 職場の主たる業態

		0	1	2
		TOTAL	関わっている	関わっていない
1段目	度数			
2段目	横%			
0	TOTAL	3936 100.0	3288 83.5	648 16.5
1	医療機関	2746 100.0	2311 84.2	435 15.8
2	福祉施設	712 100.0	563 79.1	149 20.9
3	在宅サービス事業所	365 100.0	318 87.1	47 12.9
4	その他	113 100.0	96 85.0	17 15.0

表頭: Q41 それぞれの支援時期における理学療法士の関わり 3.ADL練習[C.装具] 理想と現状の差

表側: Q1 職場の主たる業態

		0	1	2	3
		TOTAL	ある	ない	わからない
1段目	度数				
2段目	横%				
0	TOTAL	3936 100.0	1330 33.8	1949 49.5	657 16.7
1	医療機関	2746 100.0	914 33.3	1377 50.1	455 16.6
2	福祉施設	712 100.0	249 35.0	336 47.2	127 17.8
3	在宅サービス事業所	365 100.0	123 33.7	185 50.7	57 15.6
4	その他	113 100.0	44 38.9	51 45.1	18 15.9

表頭: Q42 それぞれの支援時期における理学療法士の関わり 3.ADL練習[C.装具] 理想と現状の差が生じる理由

表側: Q1 職場の主たる業態

【Q41=ある】(複数回答)

		0	1	2	3	4	5
1段目 度数 2段目 横%		TOTAL	時間がない	対応するの に必要な知 識が不足し ている	対応するの に必要な技 術が不足し ている	対応するの に必要な備 品が不足し ている	理学療法士 以外の職種 が対応してい る
0	TOTAL	1330 100.0	587 44.1	634 47.7	585 44.0	565 42.5	254 19.1
1	医療機関	914 100.0	385 42.1	502 54.9	462 50.5	408 44.6	193 21.1
2	福祉施設	249 100.0	129 51.8	87 34.9	80 32.1	100 40.2	38 15.3
3	在宅サービス事業所	123 100.0	53 43.1	27 22.0	26 21.1	38 30.9	21 17.1
4	その他	44 100.0	20 45.5	18 40.9	17 38.6	19 43.2	2 4.5

(前表からのつづき)

		0	6	7	8	9
1段目 度数 2段目 横%		TOTAL	理学療法士 への依頼が ない	保険適応さ れないなど の経営的理 由	その他 具体 的に:	該当する患 者がいない
0	TOTAL	1330 100.0	192 14.4	193 14.5	90 6.8	57 4.3
1	医療機関	914 100.0	126 13.8	124 13.6	40 4.4	37 4.0
2	福祉施設	249 100.0	32 12.9	49 19.7	22 8.8	16 6.4
3	在宅サービス事業所	123 100.0	31 25.2	16 13.0	22 17.9	2 1.6
4	その他	44 100.0	3 6.8	4 9.1	6 13.6	2 4.5

表頭: Q43 それぞれの支援時期における理学療法士の関わり 4.導入や作製直後のフォローアップ[A.福祉用具] 理想

表側: Q1 職場の主たる業態

		0	1	2
1段目 度数 2段目 横%		TOTAL	関わるべき	関わらなくて よい
0	TOTAL	3936 100.0	3874 98.4	62 1.6
1	医療機関	2746 100.0	2695 98.1	51 1.9
2	福祉施設	712 100.0	705 99.0	7 1.0
3	在宅サービス事業所	365 100.0	364 99.7	1 0.3
4	その他	113 100.0	110 97.3	3 2.7

表頭: Q44 それぞれの支援時期における理学療法士の関わり 4.導入や作製直後のフォローアップ[A.福祉用具] 現状
表側: Q1 職場の主たる業態

		0	1	2
		TOTAL	関わっている	関わっていない
1段目	度数			
2段目	横%			
0	TOTAL	3936 100.0	2864 72.8	1072 27.2
1	医療機関	2746 100.0	1867 68.0	879 32.0
2	福祉施設	712 100.0	582 81.7	130 18.3
3	在宅サービス事業所	365 100.0	321 87.9	44 12.1
4	その他	113 100.0	94 83.2	19 16.8

表頭: Q45 それぞれの支援時期における理学療法士の関わり 4.導入や作製直後のフォローアップ[A.福祉用具] 理想と現状の差
表側: Q1 職場の主たる業態

		0	1	2	3
		TOTAL	ある	ない	わからない
1段目	度数				
2段目	横%				
0	TOTAL	3936 100.0	1614 41.0	1541 39.2	781 19.8
1	医療機関	2746 100.0	1143 41.6	1009 36.7	594 21.6
2	福祉施設	712 100.0	284 39.9	308 43.3	120 16.9
3	在宅サービス事業所	365 100.0	137 37.5	182 49.9	46 12.6
4	その他	113 100.0	50 44.2	42 37.2	21 18.6

表頭: Q46 それぞれの支援時期における理学療法士の関わり 4. 導入や作製直後のフォローアップ[A.福祉用具] 理想と現状の差が生じる理由
 表側: Q1 職場の主たる業態 【Q45=ある】(複数回答)

		0	1	2	3	4	5
1段目 度数 2段目 横%		TOTAL	時間がない	対応するの に必要な知 識が不足し ている	対応するの に必要な技 術が不足し ている	対応するの に必要な備 品が不足し ている	理学療法士 以外の職種 が対応してい る
0	TOTAL	1614 100.0	877 54.3	623 38.6	535 33.1	504 31.2	422 26.1
1	医療機関	1143 100.0	603 52.8	479 41.9	408 35.7	367 32.1	304 26.6
2	福祉施設	284 100.0	172 60.6	99 34.9	88 31.0	92 32.4	65 22.9
3	在宅サービス事業所	137 100.0	73 53.3	27 19.7	24 17.5	30 21.9	45 32.8
4	その他	50 100.0	29 58.0	18 36.0	15 30.0	15 30.0	8 16.0

(前表からのつづき)

		0	6	7	8	9
1段目 度数 2段目 横%		TOTAL	理学療法士 への依頼が ない	保険適応さ れないなど の経営的理 由	その他	該当する患 者がいない
0	TOTAL	1614 100.0	387 24.0	315 19.5	153 9.5	33 2.0
1	医療機関	1143 100.0	266 23.3	214 18.7	102 8.9	27 2.4
2	福祉施設	284 100.0	57 20.1	65 22.9	28 9.9	4 1.4
3	在宅サービス事業所	137 100.0	56 40.9	28 20.4	15 10.9	2 1.5
4	その他	50 100.0	8 16.0	8 16.0	8 16.0	0 0.0

表頭: Q47 それぞれの支援時期における理学療法士の関わり 4. 導入や作製直後のフォローアップ[B.義肢] 理想
 表側: Q1 職場の主たる業態

		0	1	2
1段目 度数 2段目 横%		TOTAL	関わるべき	関わらなくて よい
0	TOTAL	3936 100.0	3791 96.3	145 3.7
1	医療機関	2746 100.0	2651 96.5	95 3.5
2	福祉施設	712 100.0	678 95.2	34 4.8
3	在宅サービス事業所	365 100.0	353 96.7	12 3.3
4	その他	113 100.0	109 96.5	4 3.5

表頭: Q48 それぞれの支援時期における理学療法士の関わり 4.導入や作製直後のフォローアップ[B.義肢] 現状
表側: Q1 職場の主たる業態

		0	1	2
		TOTAL	関わっている	関わっていない
1段目	度数			
2段目	横%			
0	TOTAL	3936 100.0	1348 34.2	2588 65.8
1	医療機関	2746 100.0	1093 39.8	1653 60.2
2	福祉施設	712 100.0	144 20.2	568 79.8
3	在宅サービス事業所	365 100.0	87 23.8	278 76.2
4	その他	113 100.0	24 21.2	89 78.8

表頭: Q49 それぞれの支援時期における理学療法士の関わり 4.導入や作製直後のフォローアップ[B.義肢] 理想と現状の差
表側: Q1 職場の主たる業態

		0	1	2	3
		TOTAL	ある	ない	わからない
1段目	度数				
2段目	横%				
0	TOTAL	3936 100.0	1168 29.7	1086 27.6	1682 42.7
1	医療機関	2746 100.0	874 31.8	790 28.8	1082 39.4
2	福祉施設	712 100.0	178 25.0	187 26.3	347 48.7
3	在宅サービス事業所	365 100.0	87 23.8	82 22.5	196 53.7
4	その他	113 100.0	29 25.7	27 23.9	57 50.4

表頭: Q50 それぞれの支援時期における理学療法士の関わり 4.導入や作製直後のフォローアップ[B.義肢] 理想と現状の差が生じる理由
 表側: Q1 職場の主たる業態 【Q49=ある】(複数回答)

1段目 度数 2段目 横%		0	1	2	3	4	5
		TOTAL	時間がない	対応するの に必要な知 識が不足し ている	対応するの に必要な技 術が不足し ている	対応するの に必要な備 品が不足し ている	理学療法士 以外の職種 が対応してい る
0	TOTAL	1168 100.0	354 30.3	448 38.4	424 36.3	285 24.4	220 18.8
1	医療機関	874 100.0	283 32.4	381 43.6	360 41.2	228 26.1	189 21.6
2	福祉施設	178 100.0	49 27.5	43 24.2	40 22.5	40 22.5	17 9.6
3	在宅サービス事業所	87 100.0	16 18.4	20 23.0	21 24.1	14 16.1	13 14.9
4	その他	29 100.0	6 20.7	4 13.8	3 10.3	3 10.3	1 3.4

(前表からのつづき)

1段目 度数 2段目 横%		0	6	7	8	9
		TOTAL	理学療法士 への依頼が ない	保険適応さ れないなど の経営的理 由	その他	該当する患 者がいない
0	TOTAL	1168 100.0	232 19.9	122 10.4	77 6.6	342 29.3
1	医療機関	874 100.0	169 19.3	89 10.2	56 6.4	224 25.6
2	福祉施設	178 100.0	30 16.9	26 14.6	12 6.7	71 39.9
3	在宅サービス事業所	87 100.0	29 33.3	6 6.9	7 8.0	30 34.5
4	その他	29 100.0	4 13.8	1 3.4	2 6.9	17 58.6

表頭: Q51 それぞれの支援時期における理学療法士の関わり 4.導入や作製直後のフォローアップ[C.装具] 理想
 表側: Q1 職場の主たる業態

1段目 度数 2段目 横%		0	1	2
		TOTAL	関わるべき	関わらなくて よい
0	TOTAL	3936 100.0	3872 98.4	64 1.6
1	医療機関	2746 100.0	2695 98.1	51 1.9
2	福祉施設	712 100.0	701 98.5	11 1.5
3	在宅サービス事業所	365 100.0	364 99.7	1 0.3
4	その他	113 100.0	112 99.1	1 0.9

表頭:Q52 それぞれの支援時期における理学療法士の関わり 4.導入や作製直後のフォローアップ[C.装具] 現状
表側:Q1 職場の主たる業態

		0	1	2
		TOTAL	関わっている	関わっていない
1段目	度数			
2段目	横%			
0	TOTAL	3936 100.0	3008 76.4	928 23.6
1	医療機関	2746 100.0	2147 78.2	599 21.8
2	福祉施設	712 100.0	495 69.5	217 30.5
3	在宅サービス事業所	365 100.0	284 77.8	81 22.2
4	その他	113 100.0	82 72.6	31 27.4

表頭:Q53 それぞれの支援時期における理学療法士の関わり 4.導入や作製直後のフォローアップ[C.装具] 理想と現状の差
表側:Q1 職場の主たる業態

		0	1	2	3
		TOTAL	ある	ない	わからない
1段目	度数				
2段目	横%				
0	TOTAL	3936 100.0	1443 36.7	1748 44.4	745 18.9
1	医療機関	2746 100.0	1021 37.2	1230 44.8	495 18.0
2	福祉施設	712 100.0	247 34.7	310 43.5	155 21.8
3	在宅サービス事業所	365 100.0	132 36.2	161 44.1	72 19.7
4	その他	113 100.0	43 38.1	47 41.6	23 20.4

表頭: Q54 それぞれの支援時期における理学療法士の関わり 4.導入や作製直後のフォローアップ[C.器具] 理想と現状の差が生じる理由
 表側: Q1 職場の主たる業態 【Q53=ある】(複数回答)

		0	1	2	3	4	5
1段目 度数 2段目 横%		TOTAL	時間がない	対応するの に必要な知 識が不足し ている	対応するの に必要な技 術が不足し ている	対応するの に必要な備 品が不足し ている	理学療法士 以外の職種 が対応してい る
0	TOTAL	1443 100.0	627 43.5	700 48.5	645 44.7	473 32.8	302 20.9
1	医療機関	1021 100.0	443 43.4	554 54.3	507 49.7	343 33.6	250 24.5
2	福祉施設	247 100.0	110 44.5	100 40.5	89 36.0	83 33.6	26 10.5
3	在宅サービス事業所	132 100.0	52 39.4	27 20.5	32 24.2	31 23.5	23 17.4
4	その他	43 100.0	22 51.2	19 44.2	17 39.5	16 37.2	3 7.0

(前表からのつづき)

		0	6	7	8	9
1段目 度数 2段目 横%		TOTAL	理学療法士 への依頼が ない	保険適応さ れないなど の経営的理 由	その他	該当する患 者がいない
0	TOTAL	1443 100.0	295 20.4	257 17.8	165 11.4	68 4.7
1	医療機関	1021 100.0	213 20.9	168 16.5	87 8.5	44 4.3
2	福祉施設	247 100.0	39 15.8	62 25.1	37 15.0	17 6.9
3	在宅サービス事業所	132 100.0	38 28.8	20 15.2	34 25.8	5 3.8
4	その他	43 100.0	5 11.6	7 16.3	7 16.3	2 4.7

表頭: Q55 日常業務で福祉用具を活用している場面(複数回答)

表側: Q1 職場の主たる業態

		0	1	2	3	4	5	6
		TOTAL	入浴	排泄	移動	移乗	外出	食事
1段目	度数							
2段目	横%							
0	TOTAL	3936	2543	2574	3619	2849	1970	2403
		100.0	64.6	65.4	91.9	72.4	50.1	61.1
1	医療機関	2746	1619	1704	2482	1949	1264	1565
		100.0	59.0	62.1	90.4	71.0	46.0	57.0
2	福祉施設	712	549	521	680	552	381	558
		100.0	77.1	73.2	95.5	77.5	53.5	78.4
3	在宅サービス事業所	365	293	263	353	264	258	200
		100.0	80.3	72.1	96.7	72.3	70.7	54.8
4	その他	113	82	86	104	84	67	80
		100.0	72.6	76.1	92.0	74.3	59.3	70.8

(前表からのつづき)

		0	7	8	9	10	11
		TOTAL	整容	更衣	姿勢調整	コミュニケーション	なし
1段目	度数						
2段目	横%						
0	TOTAL	3936	1044	1148	2638	1164	102
		100.0	26.5	29.2	67.0	29.6	2.6
1	医療機関	2746	824	921	1691	845	96
		100.0	30.0	33.5	61.6	30.8	3.5
2	福祉施設	712	127	120	593	201	2
		100.0	17.8	16.9	83.3	28.2	0.3
3	在宅サービス事業所	365	76	87	261	92	3
		100.0	20.8	23.8	71.5	25.2	0.8
4	その他	113	17	20	93	26	1
		100.0	15.0	17.7	82.3	23.0	0.9

表頭: Q56 修理や再作製等の実施状況[A.義肢]

表側: Q1 職場の主たる業態

		0	1	2
		TOTAL	している	していない
1段目	度数			
2段目	横%			
0	TOTAL	3936	922	3014
		100.0	23.4	76.6
1	医療機関	2746	740	2006
		100.0	26.9	73.1
2	福祉施設	712	112	600
		100.0	15.7	84.3
3	在宅サービス事業所	365	50	315
		100.0	13.7	86.3
4	その他	113	20	93
		100.0	17.7	82.3

表頭: Q57 修理や再作製の実施内容[A.義肢] (複数回答)【Q56=している】

表側: Q1 職場の主たる業態

		0	1	2	3	4
1段目 度数 2段目 横%		TOTAL	資料を渡している	算定期間内に対応している	算定期間後に外来で対応している	その他
0	TOTAL	922 100.0	196 21.3	454 49.2	513 55.6	179 19.4
1	医療機関	740 100.0	145 19.6	409 55.3	470 63.5	104 14.1
2	福祉施設	112 100.0	36 32.1	30 26.8	29 25.9	38 33.9
3	在宅サービス事業所	50 100.0	11 22.0	13 26.0	8 16.0	27 54.0
4	その他	20 100.0	4 20.0	2 10.0	6 30.0	10 50.0

表頭: Q58 修理や再作製等の実施状況[B.装具]

表側: Q1 職場の主たる業態

		0	1	2
1段目 度数 2段目 横%		TOTAL	している	していない
0	TOTAL	3936 100.0	2067 52.5	1869 47.5
1	医療機関	2746 100.0	1477 53.8	1269 46.2
2	福祉施設	712 100.0	353 49.6	359 50.4
3	在宅サービス事業所	365 100.0	168 46.0	197 54.0
4	その他	113 100.0	69 61.1	44 38.9

表頭: Q59 修理や再作製の実施内容[B.装具] (複数回答)【Q58=している】

表側: Q1 職場の主たる業態

		0	1	2	3	4
1段目 度数 2段目 横%		TOTAL	資料を渡している	算定期間内に対応している	算定期間後に外来で対応している	その他
0	TOTAL	2067 100.0	420 20.3	956 46.3	1067 51.6	517 25.0
1	医療機関	1477 100.0	285 19.3	819 55.5	939 63.6	234 15.8
2	福祉施設	353 100.0	82 23.2	86 24.4	75 21.2	157 44.5
3	在宅サービス事業所	168 100.0	39 23.2	42 25.0	41 24.4	81 48.2
4	その他	69 100.0	14 20.3	9 13.0	12 17.4	45 65.2

表頭: Q60 それぞれの支援時期での理学療法士以外の職種の関わり[1.評価](複数回答) : A. 福祉用具

表例: Q1 職場の主たる業態

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
		TOTAL	作業療法士	言語聴覚士	臨床心理士	リハ科医師	リハ科以外の医師	義肢装具士	看護師	保健師	ソーシャルワーカー
1段目	度数										
2段目	横%										
0	TOTAL	3936	2507	721	15	663	514	1364	1140	36	580
		100.0	63.7	18.3	0.4	16.8	13.1	34.7	29.0	0.9	14.7
1	医療機関	2746	1807	576	9	601	436	1126	812	25	470
		100.0	65.8	21.0	0.3	21.9	15.9	41.0	29.6	0.9	17.1
2	福祉施設	712	415	86	3	38	49	148	198	6	72
		100.0	58.3	12.1	0.4	5.3	6.9	20.8	27.8	0.8	10.1
3	在宅サービス事業所	365	211	44	3	18	21	64	95	5	26
		100.0	57.8	12.1	0.8	4.9	5.8	17.5	26.0	1.4	7.1
4	その他	113	74	15	0	6	8	26	35	0	12
		100.0	65.5	13.3	0.0	5.3	7.1	23.0	31.0	0.0	10.6

(前表からのつづき)

		0	10	11	12	13	14	15	16	17
		TOTAL	指導員(生活指導員)	教員	リハビリテーションエンジニア	福祉用具専門相談員	ケアマネージャー	その他	不明	関わっていない
1段目	度数									
2段目	横%									
0	TOTAL	3936	186	39	37	1062	1567	221	34	252
		100.0	4.7	1.0	0.9	27.0	39.8	5.6	0.9	6.4
1	医療機関	2746	60	25	25	613	940	87	22	169
		100.0	2.2	0.9	0.9	22.3	34.2	3.2	0.8	6.2
2	福祉施設	712	93	12	7	199	324	104	8	59
		100.0	13.1	1.7	1.0	27.9	45.5	14.6	1.1	8.3
3	在宅サービス事業所	365	19	1	5	214	252	19	4	16
		100.0	5.2	0.3	1.4	58.6	69.0	5.2	1.1	4.4
4	その他	113	14	1	0	36	51	11	0	8
		100.0	12.4	0.9	0.0	31.9	45.1	9.7	0.0	7.1

表頭: Q60 それぞれの支援時期での理学療法士以外の職種の関わり[1.評価](複数回答) : B. 義肢

表例: Q1 職場の主たる業態

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
		TOTAL	作業療法士	言語聴覚士	臨床心理士	リハ科医師	リハ科以外の医師	義肢装具士	看護師	保健師	ソーシャルワーカー
1段目	度数										
2段目	横%										
0	TOTAL	3936	959	73	2	692	510	1725	235	8	174
		100.0	24.4	1.9	0.1	17.6	13.0	43.8	6.0	0.2	4.4
1	医療機関	2746	757	54	1	619	439	1447	174	6	146
		100.0	27.6	2.0	0.0	22.5	16.0	52.7	6.3	0.2	5.3
2	福祉施設	712	118	14	1	25	31	143	36	1	19
		100.0	16.6	2.0	0.1	3.5	4.4	20.1	5.1	0.1	2.7
3	在宅サービス事業所	365	65	5	0	43	34	109	17	1	7
		100.0	17.8	1.4	0.0	11.8	9.3	29.9	4.7	0.3	1.9
4	その他	113	19	0	0	5	6	26	8	0	2
		100.0	16.8	0.0	0.0	4.4	5.3	23.0	7.1	0.0	1.8

(前表からのつづき)

		0	10	11	12	13	14	15	16	17
		TOTAL	指導員(生活指導員)	教員	リハビリテーションエンジニア	福祉用具専門相談員	ケアマネージャー	その他	不明	関わっていない
1段目	度数									
2段目	横%									
0	TOTAL	3936	33	9	18	83	238	40	111	1684
		100.0	0.8	0.2	0.5	2.1	6.0	1.0	2.8	42.8
1	医療機関	2746	13	8	9	41	113	28	54	959
		100.0	0.5	0.3	0.3	1.5	4.1	1.0	2.0	34.9
2	福祉施設	712	18	1	5	28	74	8	26	459
		100.0	2.5	0.1	0.7	3.9	10.4	1.1	3.7	64.5
3	在宅サービス事業所	365	1	0	4	12	42	3	29	194
		100.0	0.3	0.0	1.1	3.3	11.5	0.8	7.9	53.2
4	その他	113	1	0	0	2	9	1	2	72
		100.0	0.9	0.0	0.0	1.8	8.0	0.9	1.8	63.7

表頭: Q60 それぞれの支援時期での理学療法士以外の職種の関わり[1.評価](複数回答) : C. 装具

表例: Q1 職場の主たる業態

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
		TOTAL	作業療法士	言語聴覚士	臨床心理士	リハ科医師	リハ科以外の医師	義肢装具士	看護師	保健師	ソーシャルワーカー
1段目	度数										
2段目	横%										
0	TOTAL	3936	1845	129	7	1030	877	2541	539	16	266
		100.0	46.9	3.3	0.2	26.2	22.3	64.6	13.7	0.4	6.8
1	医療機関	2746	1317	92	4	896	729	2014	390	13	203
		100.0	48.0	3.4	0.1	32.6	26.5	73.3	14.2	0.5	7.4
2	福祉施設	712	319	25	2	56	76	277	92	1	43
		100.0	44.8	3.5	0.3	7.9	10.7	38.9	12.9	0.1	6.0
3	在宅サービス事業所	365	146	9	1	68	58	191	38	2	14
		100.0	40.0	2.5	0.3	18.6	15.9	52.3	10.4	0.5	3.8
4	その他	113	63	3	0	10	14	59	19	0	6
		100.0	55.8	2.7	0.0	8.8	12.4	52.2	16.8	0.0	5.3

(前表からのつづき)

		0	10	11	12	13	14	15	16	17
		TOTAL	指導員(生活指導員)	教員	リハビリテーションエンジニア	福祉用具専門相談員	ケアマネージャー	その他	不明	関わっていない
1段目	度数									
2段目	横%									
0	TOTAL	3936	99	30	18	170	530	84	47	441
		100.0	2.5	0.8	0.5	4.3	13.5	2.1	1.2	11.2
1	医療機関	2746	28	21	8	84	246	35	19	201
		100.0	1.0	0.8	0.3	3.1	9.0	1.3	0.7	7.3
2	福祉施設	712	58	7	5	47	167	37	16	164
		100.0	8.1	1.0	0.7	6.6	23.5	5.2	2.2	23.0
3	在宅サービス事業所	365	8	0	5	33	91	6	12	61
		100.0	2.2	0.0	1.4	9.0	24.9	1.6	3.3	16.7
4	その他	113	5	2	0	6	26	6	0	15
		100.0	4.4	1.8	0.0	5.3	23.0	5.3	0.0	13.3

表頭: Q61 それぞれの支援時期での理学療法士以外の職種の関わり[2.作製・フィッティング](複数回答) : A. 福祉用具

表例: Q1 職場の主たる業態

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
		TOTAL	作業療法士	言語聴覚士	臨床心理士	リハ科医師	リハ科以外の医師	義肢装具士	看護師	保健師	ソーシャルワーカー
1段目	度数										
2段目	横%										
0	TOTAL	3936	2344	510	6	573	392	951	898	29	458
		100.0	59.6	13.0	0.2	14.6	10.0	24.2	22.8	0.7	11.6
1	医療機関	2746	1715	400	3	509	339	796	636	22	379
		100.0	62.5	14.6	0.1	18.5	12.3	29.0	23.2	0.8	13.8
2	福祉施設	712	372	63	2	33	34	98	159	4	57
		100.0	52.2	8.8	0.3	4.6	4.8	13.8	22.3	0.6	8.0
3	在宅サービス事業所	365	189	35	1	25	13	37	80	3	16
		100.0	51.8	9.6	0.3	6.8	3.6	10.1	21.9	0.8	4.4
4	その他	113	68	12	0	6	6	20	23	0	6
		100.0	60.2	10.6	0.0	5.3	5.3	17.7	20.4	0.0	5.3

(前表からのつづき)

		0	10	11	12	13	14	15	16	17
		TOTAL	指導員(生活指導員)	教員	リハビリテーションエンジニア	福祉用具専門相談員	ケアマネージャー	その他	不明	関わっていない
1段目	度数									
2段目	横%									
0	TOTAL	3936	134	33	35	1053	1306	186	39	408
		100.0	3.4	0.8	0.9	26.8	33.2	4.7	1.0	10.4
1	医療機関	2746	47	23	26	617	778	82	27	259
		100.0	1.7	0.8	0.9	22.5	28.3	3.0	1.0	9.4
2	福祉施設	712	68	9	7	200	261	80	10	102
		100.0	9.6	1.3	1.0	28.1	36.7	11.2	1.4	14.3
3	在宅サービス事業所	365	10	1	2	197	224	15	2	34
		100.0	2.7	0.3	0.5	54.0	61.4	4.1	0.5	9.3
4	その他	113	9	0	0	39	43	9	0	13
		100.0	8.0	0.0	0.0	34.5	38.1	8.0	0.0	11.5

表頭: Q61 それぞれの支援時期での理学療法士以外の職種の関わり[2. 作製・フィッティング](複数回答) : B. 義肢

表例: Q1 職場の主たる業態

1段目 度数 2段目 横%		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
		TOTAL	作業療法士	言語聴覚士	臨床心理士	リハ科医師	リハ科以外の医師	義肢装具士	看護師	保健師	ソーシャルワーカー
0	TOTAL	3936 100.0	895 22.7	50 1.3	5 0.1	660 16.8	450 11.4	1773 45.0	214 5.4	9 0.2	129 3.3
1	医療機関	2746 100.0	703 25.6	39 1.4	3 0.1	584 21.3	391 14.2	1475 53.7	163 5.9	7 0.3	108 3.9
2	福祉施設	712 100.0	111 15.6	7 1.0	1 0.1	26 3.7	30 4.2	153 21.5	33 4.6	1 0.1	12 1.7
3	在宅サービス事業所	365 100.0	61 16.7	3 0.8	1 0.3	43 11.8	24 6.6	117 32.1	10 2.7	1 0.3	7 1.9
4	その他	113 100.0	20 17.7	1 0.9	0 0.0	7 6.2	5 4.4	28 24.8	8 7.1	0 0.0	2 1.8

(前表からのつづき)

1段目 度数 2段目 横%		0	10	11	12	13	14	15	16	17
		TOTAL	指導員(生活指導員)	教員	リハビリテーションエンジニア	福祉用具専門相談員	ケアマネージャー	その他	不明	関わっていない
0	TOTAL	3936 100.0	26 0.7	9 0.2	15 0.4	68 1.7	179 4.5	28 0.7	103 2.6	1673 42.5
1	医療機関	2746 100.0	9 0.3	8 0.3	9 0.3	35 1.3	84 3.1	18 0.7	49 1.8	957 34.9
2	福祉施設	712 100.0	15 2.1	1 0.1	3 0.4	21 2.9	57 8.0	8 1.1	23 3.2	453 63.6
3	在宅サービス事業所	365 100.0	1 0.3	0 0.0	3 0.8	9 2.5	29 7.9	1 0.3	29 7.9	191 52.3
4	その他	113 100.0	1 0.9	0 0.0	0 0.0	3 2.7	9 8.0	1 0.9	2 1.8	72 63.7

表頭: Q61 それぞれの支援時期での理学療法士以外の職種の関わり[2. 作製・フィッティング](複数回答) : C. 装具

表例: Q1 職場の主たる業態

1段目 度数 2段目 横%		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
		TOTAL	作業療法士	言語聴覚士	臨床心理士	リハ科医師	リハ科以外の医師	義肢装具士	看護師	保健師	ソーシャルワーカー
0	TOTAL	3936 100.0	1696 43.1	112 2.8	6 0.2	923 23.5	713 18.1	2541 64.6	449 11.4	15 0.4	208 5.3
1	医療機関	2746 100.0	1237 45.0	82 3.0	4 0.1	802 29.2	600 21.8	2015 73.4	326 11.9	11 0.4	160 5.8
2	福祉施設	712 100.0	274 38.5	20 2.8	2 0.3	53 7.4	54 7.6	275 38.6	79 11.1	1 0.1	30 4.2
3	在宅サービス事業所	365 100.0	130 35.6	6 1.6	0 0.0	60 16.4	50 13.7	195 53.4	29 7.9	3 0.8	13 3.6
4	その他	113 100.0	55 48.7	4 3.5	0 0.0	8 7.1	9 8.0	56 49.6	15 13.3	0 0.0	5 4.4

(前表からのつづき)

1段目 度数 2段目 横%		0	10	11	12	13	14	15	16	17
		TOTAL	指導員(生活指導員)	教員	リハビリテーションエンジニア	福祉用具専門相談員	ケアマネージャー	その他	不明	関わっていない
0	TOTAL	3936 100.0	81 2.1	26 0.7	20 0.5	131 3.3	393 10.0	66 1.7	44 1.1	536 13.6
1	医療機関	2746 100.0	26 0.9	17 0.6	13 0.5	62 2.3	174 6.3	33 1.2	15 0.5	242 8.8
2	福祉施設	712 100.0	43 6.0	7 1.0	5 0.7	37 5.2	129 18.1	26 3.7	14 2.0	197 27.7
3	在宅サービス事業所	365 100.0	5 1.4	0 0.0	2 0.5	26 7.1	69 18.9	4 1.1	14 3.8	75 20.5
4	その他	113 100.0	7 6.2	2 1.8	0 0.0	6 5.3	21 18.6	3 2.7	1 0.9	22 19.5

表頭: Q62 それぞれの支援時期での理学療法士以外の職種の関わり[3.ADL練習](複数回答) : A. 福祉用具

表例: Q1 職場の主たる業態

1段目 度数 2段目 横%		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
		TOTAL	作業療法士	言語聴覚士	臨床心理士	リハ科医師	リハ科以外の医師	義肢装具士	看護師	保健師	ソーシャルワーカー
0	TOTAL	3936	2549	643	12	422	273	497	1354	35	325
		100.0	64.8	16.3	0.3	10.7	6.9	12.6	34.4	0.9	8.3
1	医療機関	2746	1839	512	10	386	226	426	1009	25	259
		100.0	67.0	18.6	0.4	14.1	8.2	15.5	36.7	0.9	9.4
2	福祉施設	712	419	77	2	17	30	49	206	6	51
		100.0	58.8	10.8	0.3	2.4	4.2	6.9	28.9	0.8	7.2
3	在宅サービス事業所	365	217	42	0	16	14	15	105	4	11
		100.0	59.5	11.5	0.0	4.4	3.8	4.1	28.8	1.1	3.0
4	その他	113	74	12	0	3	3	7	34	0	4
		100.0	65.5	10.6	0.0	2.7	2.7	6.2	30.1	0.0	3.5

(前表からのつづき)

1段目 度数 2段目 横%		0	10	11	12	13	14	15	16	17
		TOTAL	指導員(生活指導員)	教員	リハビリテーションエンジニア	福祉用具専門相談員	ケアマネージャー	その他	不明	関わっていない
0	TOTAL	3936	153	39	26	581	916	294	51	411
		100.0	3.9	1.0	0.7	14.8	23.3	7.5	1.3	10.4
1	医療機関	2746	54	23	15	321	525	97	33	287
		100.0	2.0	0.8	0.5	11.7	19.1	3.5	1.2	10.5
2	福祉施設	712	74	11	8	113	206	145	10	75
		100.0	10.4	1.5	1.1	15.9	28.9	20.4	1.4	10.5
3	在宅サービス事業所	365	15	2	3	124	152	37	7	38
		100.0	4.1	0.5	0.8	34.0	41.6	10.1	1.9	10.4
4	その他	113	10	3	0	23	33	15	1	11
		100.0	8.8	2.7	0.0	20.4	29.2	13.3	0.9	9.7

表頭: Q62 それぞれの支援時期での理学療法士以外の職種の関わり[3.ADL練習](複数回答) : B. 義肢

表例: Q1 職場の主たる業態

1段目 度数 2段目 横%		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
		TOTAL	作業療法士	言語聴覚士	臨床心理士	リハ科医師	リハ科以外の医師	義肢装具士	看護師	保健師	ソーシャルワーカー
0	TOTAL	3936	1201	93	7	416	269	1003	514	11	116
		100.0	30.5	2.4	0.2	10.6	6.8	25.5	13.1	0.3	2.9
1	医療機関	2746	943	79	5	383	232	848	420	7	96
		100.0	34.3	2.9	0.2	13.9	8.4	30.9	15.3	0.3	3.5
2	福祉施設	712	141	9	1	13	22	80	53	1	15
		100.0	19.8	1.3	0.1	1.8	3.1	11.2	7.4	0.1	2.1
3	在宅サービス事業所	365	90	5	1	16	12	60	32	3	4
		100.0	24.7	1.4	0.3	4.4	3.3	16.4	8.8	0.8	1.1
4	その他	113	27	0	0	4	3	15	9	0	1
		100.0	23.9	0.0	0.0	3.5	2.7	13.3	8.0	0.0	0.9

(前表からのつづき)

1段目 度数 2段目 横%		0	10	11	12	13	14	15	16	17
		TOTAL	指導員(生活指導員)	教員	リハビリテーションエンジニア	福祉用具専門相談員	ケアマネージャー	その他	不明	関わっていない
0	TOTAL	3936	38	12	12	65	182	58	136	1847
		100.0	1.0	0.3	0.3	1.7	4.6	1.5	3.5	46.9
1	医療機関	2746	14	10	7	33	84	30	77	1105
		100.0	0.5	0.4	0.3	1.2	3.1	1.1	2.8	40.2
2	福祉施設	712	19	1	3	17	59	20	25	469
		100.0	2.7	0.1	0.4	2.4	8.3	2.8	3.5	65.9
3	在宅サービス事業所	365	4	1	2	13	32	6	31	202
		100.0	1.1	0.3	0.5	3.6	8.8	1.6	8.5	55.3
4	その他	113	1	0	0	2	7	2	3	71
		100.0	0.9	0.0	0.0	1.8	6.2	1.8	2.7	62.8

表頭: Q62 それぞれの支援時期での理学療法士以外の職種の関わり[3.ADL練習](複数回答) : C. 装具

表例: Q1 職場の主たる業態

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
		TOTAL	作業療法士	言語聴覚士	臨床心理士	リハ科医師	リハ科以外の医師	義肢装具士	看護師	保健師	ソーシャルワーカー
1段目 度数	2段目 横%										
0	TOTAL	3936	2195	203	6	564	391	1298	954	14	174
		100.0	55.8	5.2	0.2	14.3	9.9	33.0	24.2	0.4	4.4
1	医療機関	2746	1586	156	4	515	329	1048	743	9	129
		100.0	57.8	5.7	0.1	18.8	12.0	38.2	27.1	0.3	4.7
2	福祉施設	712	356	30	2	23	36	124	127	2	33
		100.0	50.0	4.2	0.3	3.2	5.1	17.4	17.8	0.3	4.6
3	在宅サービス事業所	365	182	11	0	23	22	93	60	3	9
		100.0	49.9	3.0	0.0	6.3	6.0	25.5	16.4	0.8	2.5
4	その他	113	71	6	0	3	4	33	24	0	3
		100.0	62.8	5.3	0.0	2.7	3.5	29.2	21.2	0.0	2.7

(前表からのつづき)

		0	10	11	12	13	14	15	16	17
		TOTAL	指導員(生活指導員)	教員	リハビリテーションエンジニア	福祉用具専門相談員	ケアマネージャー	その他	不明	関わっていない
1段目 度数	2段目 横%									
0	TOTAL	3936	101	34	16	111	363	166	62	669
		100.0	2.6	0.9	0.4	2.8	9.2	4.2	1.6	17.0
1	医療機関	2746	34	22	10	48	169	64	25	377
		100.0	1.2	0.8	0.4	1.7	6.2	2.3	0.9	13.7
2	福祉施設	712	50	8	3	37	113	69	18	190
		100.0	7.0	1.1	0.4	5.2	15.9	9.7	2.5	26.7
3	在宅サービス事業所	365	9	1	3	22	59	20	18	89
		100.0	2.5	0.3	0.8	6.0	16.2	5.5	4.9	24.4
4	その他	113	8	3	0	4	22	13	1	13
		100.0	7.1	2.7	0.0	3.5	19.5	11.5	0.9	11.5

表頭: Q63 それぞれの支援時期での理学療法士以外の職種の関わり[4.導入や作製直後のフォローアップ](複数回答) : A. 福祉用具

表例: Q1 職場の主たる業態

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
		TOTAL	作業療法士	言語聴覚士	臨床心理士	リハ科医師	リハ科以外の医師	義肢装具士	看護師	保健師	ソーシャルワーカー
1段目 度数	2段目 横%										
0	TOTAL	3936	2378	496	4	513	341	804	1022	32	451
		100.0	60.4	12.6	0.1	13.0	8.7	20.4	26.0	0.8	11.5
1	医療機関	2746	1706	392	3	468	297	683	735	24	374
		100.0	62.1	14.3	0.1	17.0	10.8	24.9	26.8	0.9	13.6
2	福祉施設	712	400	56	1	26	28	82	170	5	51
		100.0	56.2	7.9	0.1	3.7	3.9	11.5	23.9	0.7	7.2
3	在宅サービス事業所	365	199	37	0	15	11	24	93	3	18
		100.0	54.5	10.1	0.0	4.1	3.0	6.6	25.5	0.8	4.9
4	その他	113	73	11	0	4	5	15	24	0	8
		100.0	64.6	9.7	0.0	3.5	4.4	13.3	21.2	0.0	7.1

(前表からのつづき)

		0	10	11	12	13	14	15	16	17
		TOTAL	指導員(生活指導員)	教員	リハビリテーションエンジニア	福祉用具専門相談員	ケアマネージャー	その他	不明	関わっていない
1段目 度数	2段目 横%									
0	TOTAL	3936	152	31	30	993	1370	208	54	386
		100.0	3.9	0.8	0.8	25.2	34.8	5.3	1.4	9.8
1	医療機関	2746	53	18	22	590	848	82	40	264
		100.0	1.9	0.7	0.8	21.5	30.9	3.0	1.5	9.6
2	福祉施設	712	74	9	5	164	256	97	10	87
		100.0	10.4	1.3	0.7	23.0	36.0	13.6	1.4	12.2
3	在宅サービス事業所	365	17	2	3	201	222	21	3	23
		100.0	4.7	0.5	0.8	55.1	60.8	5.8	0.8	6.3
4	その他	113	8	2	0	38	44	8	1	12
		100.0	7.1	1.8	0.0	33.6	38.9	7.1	0.9	10.6

表頭: Q63 それぞれの支援時期での理学療法士以外の職種の関わり[4.導入や作製直後のフォローアップ](複数回答) : B. 義肢

表例: Q1 職場の主たる業態

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
		TOTAL	作業療法士	言語聴覚士	臨床心理士	リハ科医師	リハ科以外の医師	義肢装具士	看護師	保健師	ソーシャルワーカー
1段目	度数										
2段目	横%										
0	TOTAL	3936	1001	70	3	577	385	1584	290	12	154
		100.0	25.4	1.8	0.1	14.7	9.8	40.2	7.4	0.3	3.9
1	医療機関	2746	776	59	2	523	342	1324	229	9	128
		100.0	28.3	2.1	0.1	19.0	12.5	48.2	8.3	0.3	4.7
2	福祉施設	712	129	8	1	19	20	129	36	1	14
		100.0	18.1	1.1	0.1	2.7	2.8	18.1	5.1	0.1	2.0
3	在宅サービス事業所	365	72	3	0	28	18	104	16	2	8
		100.0	19.7	0.8	0.0	7.7	4.9	28.5	4.4	0.5	2.2
4	その他	113	24	0	0	7	5	27	9	0	4
		100.0	21.2	0.0	0.0	6.2	4.4	23.9	8.0	0.0	3.5

(前表からのつづき)

		0	10	11	12	13	14	15	16	17
		TOTAL	指導員(生活指導員)	教員	リハビリテーションエンジニア	福祉用具専門相談員	ケアマネージャー	その他	不明	関わっていない
0	TOTAL	3936	35	8	10	76	247	40	135	1746
		100.0	0.9	0.2	0.3	1.9	6.3	1.0	3.4	44.4
1	医療機関	2746	13	7	5	43	144	27	70	1032
		100.0	0.5	0.3	0.2	1.6	5.2	1.0	2.5	37.6
2	福祉施設	712	19	1	3	20	65	10	29	458
		100.0	2.7	0.1	0.4	2.8	9.1	1.4	4.1	64.3
3	在宅サービス事業所	365	2	0	2	11	33	2	33	187
		100.0	0.5	0.0	0.5	3.0	9.0	0.5	9.0	51.2
4	その他	113	1	0	0	2	5	1	3	69
		100.0	0.9	0.0	0.0	1.8	4.4	0.9	2.7	61.1

表頭: Q63 それぞれの支援時期での理学療法士以外の職種の関わり[4.導入や作製直後のフォローアップ](複数回答) : C. 装具

表例: Q1 職場の主たる業態

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
		TOTAL	作業療法士	言語聴覚士	臨床心理士	リハ科医師	リハ科以外の医師	義肢装具士	看護師	保健師	ソーシャルワーカー
0	TOTAL	3936	1892	140	8	797	573	2212	605	19	247
		100.0	48.1	3.6	0.2	20.2	14.6	56.2	15.4	0.5	6.3
1	医療機関	2746	1351	108	7	717	498	1787	447	14	194
		100.0	49.2	3.9	0.3	26.1	18.1	65.1	16.3	0.5	7.1
2	福祉施設	712	319	22	1	34	39	223	93	3	33
		100.0	44.8	3.1	0.1	4.8	5.5	31.3	13.1	0.4	4.6
3	在宅サービス事業所	365	156	7	0	37	29	153	47	2	11
		100.0	42.7	1.9	0.0	10.1	7.9	41.9	12.9	0.5	3.0
4	その他	113	66	3	0	9	7	49	18	0	9
		100.0	58.4	2.7	0.0	8.0	6.2	43.4	15.9	0.0	8.0

(前表からのつづき)

		0	10	11	12	13	14	15	16	17
		TOTAL	指導員(生活指導員)	教員	リハビリテーションエンジニア	福祉用具専門相談員	ケアマネージャー	その他	不明	関わっていない
0	TOTAL	3936	93	26	12	136	518	96	61	578
		100.0	2.4	0.7	0.3	3.5	13.2	2.4	1.5	14.7
1	医療機関	2746	31	17	9	69	267	44	28	294
		100.0	1.1	0.6	0.3	2.5	9.7	1.6	1.0	10.7
2	福祉施設	712	47	6	1	33	142	35	16	192
		100.0	6.6	0.8	0.1	4.6	19.9	4.9	2.2	27.0
3	在宅サービス事業所	365	8	1	2	28	82	11	16	76
		100.0	2.2	0.3	0.5	7.7	22.5	3.0	4.4	20.8
4	その他	113	7	2	0	6	27	6	1	16
		100.0	6.2	1.8	0.0	5.3	23.9	5.3	0.9	14.2

表頭: Q64 理学療法士がより深く関わることで期待できる効果の有無[A.福祉用具]

表側: Q1 職場の主たる業態

		0	1	2	3
		TOTAL	ある	ない	今まで関わっていない
1段目	度数				
2段目	横%				
0	TOTAL	3936 100.0	3598 91.4	190 4.8	148 3.8
1	医療機関	2746 100.0	2471 90.0	146 5.3	129 4.7
2	福祉施設	712 100.0	669 94.0	30 4.2	13 1.8
3	在宅サービス事業所	365 100.0	353 96.7	9 2.5	3 0.8
4	その他	113 100.0	105 92.9	5 4.4	3 2.7

表頭: Q65 期待できる効果[A.福祉用具](複数回答)【Q64=ある】

表側: Q1 職場の主たる業態

		0	2	3	5	1	4	6
		TOTAL	ADL自立度の向上	介助者の負担の軽減	生活の質の向上	心身機能の向上	地域や社会活動への参加	その他
1段目	度数							
2段目	横%							
0	TOTAL	3598 100.0	3387 94.1	3328 92.5	2972 82.6	2416 67.1	2149 59.7	104 2.9
1	医療機関	2471 100.0	2329 94.3	2258 91.4	2019 81.7	1676 67.8	1463 59.2	55 2.2
2	福祉施設	669 100.0	621 92.8	628 93.9	549 82.1	424 63.4	372 55.6	30 4.5
3	在宅サービス事業所	353 100.0	338 95.8	342 96.9	313 88.7	242 68.6	245 69.4	11 3.1
4	その他	105 100.0	99 94.3	100 95.2	91 86.7	74 70.5	69 65.7	8 7.6

表頭: Q66 理学療法士がより深く関わることで期待できる効果の有無[B.義肢]

表側: Q1 職場の主たる業態

		0	1	2	3
		TOTAL	ある	ない	今まで関わっていない
1段目	度数				
2段目	横%				
0	TOTAL	3936 100.0	2248 57.1	222 5.6	1466 37.2
1	医療機関	2746 100.0	1695 61.7	166 6.0	885 32.2
2	福祉施設	712 100.0	312 43.8	37 5.2	363 51.0
3	在宅サービス事業所	365 100.0	191 52.3	15 4.1	159 43.6
4	その他	113 100.0	50 44.2	4 3.5	59 52.2

表頭: Q67 期待できる効果[B.義肢](複数回答)【Q66=ある】

表側: Q1 職場の主たる業態

		0	2	5	1	3	4	6
		TOTAL	ADL自立度の向上	生活の質の向上	心身機能の向上	介助者の負担の軽減	地域や社会活動への参加	その他
1段目	度数							
2段目	横%							
0	TOTAL	2248 100.0	2079 92.5	1876 83.5	1785 79.4	1664 74.0	1562 69.5	42 1.9
1	医療機関	1695 100.0	1566 92.4	1406 82.9	1343 79.2	1249 73.7	1158 68.3	32 1.9
2	福祉施設	312 100.0	289 92.6	257 82.4	243 77.9	230 73.7	217 69.6	6 1.9
3	在宅サービス事業所	191 100.0	176 92.1	169 88.5	159 83.2	149 78.0	151 79.1	3 1.6
4	その他	50 100.0	48 96.0	44 88.0	40 80.0	36 72.0	36 72.0	1 2.0

表頭: Q68 理学療法士がより深く関わることで期待できる効果の有無[C.装具]

表側: Q1 職場の主たる業態

		0	1	2	3
		TOTAL	ある	ない	今まで関わっていない
1段目	度数				
2段目	横%				
0	TOTAL	3936 100.0	3483 88.5	231 5.9	222 5.6
1	医療機関	2746 100.0	2434 88.6	169 6.2	143 5.2
2	福祉施設	712 100.0	621 87.2	41 5.8	50 7.0
3	在宅サービス事業所	365 100.0	327 89.6	15 4.1	23 6.3
4	その他	113 100.0	101 89.4	6 5.3	6 5.3

表頭: Q69 期待できる効果[C.装具](複数回答)【Q68=ある】

表側: Q1 職場の主たる業態

		0	2	5	1	3	4	6
		TOTAL	ADL自立度の向上	生活の質の向上	心身機能の向上	介助者の負担の軽減	地域や社会活動への参加	その他
1段目	度数							
2段目	横%							
0	TOTAL	3483 100.0	3285 94.3	2878 82.6	2807 80.6	2793 80.2	2309 66.3	91 2.6
1	医療機関	2434 100.0	2288 94.0	2008 82.5	1961 80.6	1942 79.8	1625 66.8	57 2.3
2	福祉施設	621 100.0	585 94.2	504 81.2	490 78.9	501 80.7	372 59.9	18 2.9
3	在宅サービス事業所	327 100.0	313 95.7	285 87.2	275 84.1	262 80.1	244 74.6	7 2.1
4	その他	101 100.0	99 98.0	81 80.2	81 80.2	88 87.1	68 67.3	9 8.9

表頭: Q70 卒前教育や研修機会[A.福祉用具]: 知識について

表側: Q1 職場の主たる業態

		0	1	2	3	4	5
		TOTAL	十分	やや十分	ふつう	やや不十分	不十分
1段目	度数						
2段目	横%						
0	TOTAL	3936	31	165	1006	1463	1271
		100.0	0.8	4.2	25.6	37.2	32.3
1	医療機関	2746	21	100	667	1043	915
		100.0	0.8	3.6	24.3	38.0	33.3
2	福祉施設	712	6	41	214	246	205
		100.0	0.8	5.8	30.1	34.6	28.8
3	在宅サービス事業所	365	3	18	99	126	119
		100.0	0.8	4.9	27.1	34.5	32.6
4	その他	113	1	6	26	48	32
		100.0	0.9	5.3	23.0	42.5	28.3

表頭: Q70 卒前教育や研修機会[A.福祉用具]: 技術について

表側: Q1 職場の主たる業態

		0	1	2	3	4	5
		TOTAL	十分	やや十分	ふつう	やや不十分	不十分
1段目	度数						
2段目	横%						
0	TOTAL	3936	29	120	950	1446	1391
		100.0	0.7	3.0	24.1	36.7	35.3
1	医療機関	2746	20	72	627	1025	1002
		100.0	0.7	2.6	22.8	37.3	36.5
2	福祉施設	712	3	29	214	248	218
		100.0	0.4	4.1	30.1	34.8	30.6
3	在宅サービス事業所	365	5	14	85	126	135
		100.0	1.4	3.8	23.3	34.5	37.0
4	その他	113	1	5	24	47	36
		100.0	0.9	4.4	21.2	41.6	31.9

表頭: Q71 卒前教育や研修機会[B.義肢]: 知識について

表側: Q1 職場の主たる業態

		0	1	2	3	4	5
		TOTAL	十分	やや十分	ふつう	やや不十分	不十分
1段目	度数						
2段目	横%						
0	TOTAL	3936	12	81	864	1340	1639
		100.0	0.3	2.1	22.0	34.0	41.6
1	医療機関	2746	7	58	568	936	1177
		100.0	0.3	2.1	20.7	34.1	42.9
2	福祉施設	712	3	12	177	246	274
		100.0	0.4	1.7	24.9	34.6	38.5
3	在宅サービス事業所	365	1	8	94	116	146
		100.0	0.3	2.2	25.8	31.8	40.0
4	その他	113	1	3	25	42	42
		100.0	0.9	2.7	22.1	37.2	37.2

表頭: Q71 卒前教育や研修機会[B.義肢]: 技術について

表側: Q1 職場の主たる業態

		0	1	2	3	4	5
1段目 度数 2段目 横%		TOTAL	十分	やや十分	ふつう	やや不十分	不十分
0	TOTAL	3936 100.0	10 0.3	64 1.6	685 17.4	1258 32.0	1919 48.8
1	医療機関	2746 100.0	6 0.2	47 1.7	445 16.2	884 32.2	1364 49.7
2	福祉施設	712 100.0	2 0.3	10 1.4	148 20.8	222 31.2	330 46.3
3	在宅サービス事業所	365 100.0	1 0.3	5 1.4	69 18.9	113 31.0	177 48.5
4	その他	113 100.0	1 0.9	2 1.8	23 20.4	39 34.5	48 42.5

表頭: Q72 卒前教育や研修機会[C.装具]: 知識について

表側: Q1 職場の主たる業態

		0	1	2	3	4	5
1段目 度数 2段目 横%		TOTAL	十分	やや十分	ふつう	やや不十分	不十分
0	TOTAL	3936 100.0	21 0.5	148 3.8	1167 29.6	1468 37.3	1132 28.8
1	医療機関	2746 100.0	13 0.5	96 3.5	760 27.7	1046 38.1	831 30.3
2	福祉施設	712 100.0	4 0.6	32 4.5	248 34.8	242 34.0	186 26.1
3	在宅サービス事業所	365 100.0	3 0.8	14 3.8	126 34.5	131 35.9	91 24.9
4	その他	113 100.0	1 0.9	6 5.3	33 29.2	49 43.4	24 21.2

表頭: Q72 卒前教育や研修機会[C.装具]: 技術について

表側: Q1 職場の主たる業態

		0	1	2	3	4	5
1段目 度数 2段目 横%		TOTAL	十分	やや十分	ふつう	やや不十分	不十分
0	TOTAL	3936 100.0	16 0.4	115 2.9	982 24.9	1463 37.2	1360 34.6
1	医療機関	2746 100.0	11 0.4	75 2.7	637 23.2	1022 37.2	1001 36.5
2	福祉施設	712 100.0	1 0.1	26 3.7	215 30.2	252 35.4	218 30.6
3	在宅サービス事業所	365 100.0	3 0.8	10 2.7	98 26.8	142 38.9	112 30.7
4	その他	113 100.0	1 0.9	4 3.5	32 28.3	47 41.6	29 25.7

表頭: Q73 卒後(協会、都道府県士会等)での教育や研修機会[A.福祉用具]: 知識について

表側: Q1 職場の主たる業態

		0	1	2	3	4	5
		TOTAL	十分	やや十分	ふつう	やや不十分	不十分
1段目	度数						
2段目	横%						
0	TOTAL	3936	29	136	1353	1421	997
		100.0	0.7	3.5	34.4	36.1	25.3
1	医療機関	2746	17	84	908	1027	710
		100.0	0.6	3.1	33.1	37.4	25.9
2	福祉施設	712	7	28	272	223	182
		100.0	1.0	3.9	38.2	31.3	25.6
3	在宅サービス事業所	365	3	19	131	126	86
		100.0	0.8	5.2	35.9	34.5	23.6
4	その他	113	2	5	42	45	19
		100.0	1.8	4.4	37.2	39.8	16.8

表頭: Q73 卒後(協会、都道府県士会等)での教育や研修機会[A.福祉用具]: 技術について

表側: Q1 職場の主たる業態

		0	1	2	3	4	5
		TOTAL	十分	やや十分	ふつう	やや不十分	不十分
1段目	度数						
2段目	横%						
0	TOTAL	3936	23	115	1273	1478	1047
		100.0	0.6	2.9	32.3	37.6	26.6
1	医療機関	2746	15	71	840	1062	758
		100.0	0.5	2.6	30.6	38.7	27.6
2	福祉施設	712	4	23	264	235	186
		100.0	0.6	3.2	37.1	33.0	26.1
3	在宅サービス事業所	365	3	17	125	136	84
		100.0	0.8	4.7	34.2	37.3	23.0
4	その他	113	1	4	44	45	19
		100.0	0.9	3.5	38.9	39.8	16.8

表頭: Q74 卒後(協会、都道府県士会等)での教育や研修機会[B.義肢]: 知識について

表側: Q1 職場の主たる業態

		0	1	2	3	4	5
		TOTAL	十分	やや十分	ふつう	やや不十分	不十分
1段目	度数						
2段目	横%						
0	TOTAL	3936	15	67	997	1406	1451
		100.0	0.4	1.7	25.3	35.7	36.9
1	医療機関	2746	10	48	660	1009	1019
		100.0	0.4	1.7	24.0	36.7	37.1
2	福祉施設	712	4	10	200	239	259
		100.0	0.6	1.4	28.1	33.6	36.4
3	在宅サービス事業所	365	0	8	103	120	134
		100.0	0.0	2.2	28.2	32.9	36.7
4	その他	113	1	1	34	38	39
		100.0	0.9	0.9	30.1	33.6	34.5

表頭: Q74 卒後(協会、都道府県士会等)での教育や研修機会[B.義肢]: 技術について

表側: Q1 職場の主たる業態

		0	1	2	3	4	5
		TOTAL	十分	やや十分	ふつう	やや不十分	不十分
1段目	度数						
2段目	横%						
0	TOTAL	3936	13	56	901	1396	1570
		100.0	0.3	1.4	22.9	35.5	39.9
1	医療機関	2746	9	38	595	992	1112
		100.0	0.3	1.4	21.7	36.1	40.5
2	福祉施設	712	3	9	187	237	276
		100.0	0.4	1.3	26.3	33.3	38.8
3	在宅サービス事業所	365	0	8	89	125	143
		100.0	0.0	2.2	24.4	34.2	39.2
4	その他	113	1	1	30	42	39
		100.0	0.9	0.9	26.5	37.2	34.5

表頭: Q75 卒後(協会、都道府県士会等)での教育や研修機会[C.装具]: 知識について

表側: Q1 職場の主たる業態

		0	1	2	3	4	5
		TOTAL	十分	やや十分	ふつう	やや不十分	不十分
1段目	度数						
2段目	横%						
0	TOTAL	3936	23	135	1384	1421	973
		100.0	0.6	3.4	35.2	36.1	24.7
1	医療機関	2746	17	85	932	1019	693
		100.0	0.6	3.1	33.9	37.1	25.2
2	福祉施設	712	3	24	279	225	181
		100.0	0.4	3.4	39.2	31.6	25.4
3	在宅サービス事業所	365	1	18	129	136	81
		100.0	0.3	4.9	35.3	37.3	22.2
4	その他	113	2	8	44	41	18
		100.0	1.8	7.1	38.9	36.3	15.9

表頭: Q75 卒後(協会、都道府県士会等)での教育や研修機会[C.装具]: 技術について

表側: Q1 職場の主たる業態

		0	1	2	3	4	5
		TOTAL	十分	やや十分	ふつう	やや不十分	不十分
1段目	度数						
2段目	横%						
0	TOTAL	3936	21	119	1275	1467	1054
		100.0	0.5	3.0	32.4	37.3	26.8
1	医療機関	2746	15	79	848	1048	756
		100.0	0.5	2.9	30.9	38.2	27.5
2	福祉施設	712	3	22	258	237	192
		100.0	0.4	3.1	36.2	33.3	27.0
3	在宅サービス事業所	365	1	15	122	142	85
		100.0	0.3	4.1	33.4	38.9	23.3
4	その他	113	2	3	47	40	21
		100.0	1.8	2.7	41.6	35.4	18.6

表頭: Q76 職場内での教育や研修機会[A.福祉用具]: 知識について

表側: Q1 職場の主たる業態

		0	1	2	3	4	5
		TOTAL	十分	やや十分	ふつう	やや不十分	不十分
1段目	度数						
2段目	横%						
0	TOTAL	3936	38	215	1302	1355	1026
		100.0	1.0	5.5	33.1	34.4	26.1
1	医療機関	2746	24	137	877	1000	708
		100.0	0.9	5.0	31.9	36.4	25.8
2	福祉施設	712	7	35	254	207	209
		100.0	1.0	4.9	35.7	29.1	29.4
3	在宅サービス事業所	365	6	32	130	111	86
		100.0	1.6	8.8	35.6	30.4	23.6
4	その他	113	1	11	41	37	23
		100.0	0.9	9.7	36.3	32.7	20.4

表頭: Q76 職場内での教育や研修機会[A.福祉用具]: 技術について

表側: Q1 職場の主たる業態

		0	1	2	3	4	5
		TOTAL	十分	やや十分	ふつう	やや不十分	不十分
1段目	度数						
2段目	横%						
0	TOTAL	3936	36	197	1271	1390	1042
		100.0	0.9	5.0	32.3	35.3	26.5
1	医療機関	2746	24	121	861	1013	727
		100.0	0.9	4.4	31.4	36.9	26.5
2	福祉施設	712	7	38	235	224	208
		100.0	1.0	5.3	33.0	31.5	29.2
3	在宅サービス事業所	365	4	29	133	114	85
		100.0	1.1	7.9	36.4	31.2	23.3
4	その他	113	1	9	42	39	22
		100.0	0.9	8.0	37.2	34.5	19.5

表頭: Q77 職場内での教育や研修機会について[B.義肢]: 知識について

表側: Q1 職場の主たる業態

		0	1	2	3	4	5
		TOTAL	十分	やや十分	ふつう	やや不十分	不十分
1段目	度数						
2段目	横%						
0	TOTAL	3936	17	73	799	1167	1880
		100.0	0.4	1.9	20.3	29.6	47.8
1	医療機関	2746	11	52	563	859	1261
		100.0	0.4	1.9	20.5	31.3	45.9
2	福祉施設	712	2	9	140	185	376
		100.0	0.3	1.3	19.7	26.0	52.8
3	在宅サービス事業所	365	3	10	73	92	187
		100.0	0.8	2.7	20.0	25.2	51.2
4	その他	113	1	2	23	31	56
		100.0	0.9	1.8	20.4	27.4	49.6

表頭: Q77 職場内での教育や研修機会について[B.義肢]: 技術について

表側: Q1 職場の主たる業態

		0	1	2	3	4	5
		TOTAL	十分	やや十分	ふつう	やや不十分	不十分
1段目	度数						
2段目	横%						
0	TOTAL	3936	16	69	727	1180	1944
		100.0	0.4	1.8	18.5	30.0	49.4
1	医療機関	2746	11	50	508	856	1321
		100.0	0.4	1.8	18.5	31.2	48.1
2	福祉施設	712	2	7	130	190	383
		100.0	0.3	1.0	18.3	26.7	53.8
3	在宅サービス事業所	365	2	10	66	101	186
		100.0	0.5	2.7	18.1	27.7	51.0
4	その他	113	1	2	23	33	54
		100.0	0.9	1.8	20.4	29.2	47.8

表頭: Q78 職場内での教育や研修機会[C.装具]: 知識について

表側: Q1 職場の主たる業態

		0	1	2	3	4	5
		TOTAL	十分	やや十分	ふつう	やや不十分	不十分
1段目	度数						
2段目	横%						
0	TOTAL	3936	37	213	1178	1388	1120
		100.0	0.9	5.4	29.9	35.3	28.5
1	医療機関	2746	27	158	819	1001	741
		100.0	1.0	5.8	29.8	36.5	27.0
2	福祉施設	712	6	25	209	225	247
		100.0	0.8	3.5	29.4	31.6	34.7
3	在宅サービス事業所	365	2	23	111	123	106
		100.0	0.5	6.3	30.4	33.7	29.0
4	その他	113	2	7	39	39	26
		100.0	1.8	6.2	34.5	34.5	23.0

表頭: Q78 職場内での教育や研修機会[C.装具]: 技術について

表側: Q1 職場の主たる業態

		0	1	2	3	4	5
		TOTAL	十分	やや十分	ふつう	やや不十分	不十分
1段目	度数						
2段目	横%						
0	TOTAL	3936	37	184	1134	1413	1168
		100.0	0.9	4.7	28.8	35.9	29.7
1	医療機関	2746	29	134	793	1018	772
		100.0	1.1	4.9	28.9	37.1	28.1
2	福祉施設	712	5	24	199	225	259
		100.0	0.7	3.4	27.9	31.6	36.4
3	在宅サービス事業所	365	2	18	107	126	112
		100.0	0.5	4.9	29.3	34.5	30.7
4	その他	113	1	8	35	44	25
		100.0	0.9	7.1	31.0	38.9	22.1

表頭: Q79 最新情報の入手状況[A.福祉用具]

表側: Q1 職場の主たる業態

		0	1	2	3
		TOTAL	出来ている	出来ていない	わからない
1段目	度数				
2段目	横%				
0	TOTAL	3936	1561	1613	762
		100.0	39.7	41.0	19.4
1	医療機関	2746	997	1167	582
		100.0	36.3	42.5	21.2
2	福祉施設	712	335	263	114
		100.0	47.1	36.9	16.0
3	在宅サービス事業所	365	178	136	51
		100.0	48.8	37.3	14.0
4	その他	113	51	47	15
		100.0	45.1	41.6	13.3

表頭: Q80 情報の入手先[A.福祉用具](複数回答)【Q79=出来ている】

表側: Q1 職場の主たる業態

		0	1	2	3	4
		TOTAL	メーカーや業者	ソーシャルワーカーやケアマネジャー	雑誌や広告	学会や講習会
1段目	度数					
2段目	横%					
0	TOTAL	1561	1512	430	505	616
		100.0	96.9	27.5	32.4	39.5
1	医療機関	997	970	287	317	418
		100.0	97.3	28.8	31.8	41.9
2	福祉施設	335	326	70	116	115
		100.0	97.3	20.9	34.6	34.3
3	在宅サービス事業所	178	169	61	54	62
		100.0	94.9	34.3	30.3	34.8
4	その他	51	47	12	18	21
		100.0	92.2	23.5	35.3	41.2

(前表からのつづき)

		0	5	6	7	8
		TOTAL	論文	展示会	インターネットやメールマガジン	その他
1段目	度数					
2段目	横%					
0	TOTAL	1561	135	719	408	25
		100.0	8.6	46.1	26.1	1.6
1	医療機関	997	106	437	251	11
		100.0	10.6	43.8	25.2	1.1
2	福祉施設	335	21	179	96	10
		100.0	6.3	53.4	28.7	3.0
3	在宅サービス事業所	178	6	79	45	2
		100.0	3.4	44.4	25.3	1.1
4	その他	51	2	24	16	2
		100.0	3.9	47.1	31.4	3.9

表頭: Q81 最新情報の入手状況[B.義肢]

表側: Q1 職場の主たる業態

		0	1	2	3
		TOTAL	出来ている	出来ていない	わからない
1段目	度数				
2段目	横%				
0	TOTAL	3936	377	2718	841
		100.0	9.6	69.1	21.4
1	医療機関	2746	322	1815	609
		100.0	11.7	66.1	22.2
2	福祉施設	712	31	531	150
		100.0	4.4	74.6	21.1
3	在宅サービス事業所	365	19	283	63
		100.0	5.2	77.5	17.3
4	その他	113	5	89	19
		100.0	4.4	78.8	16.8

表頭: Q82 情報の入手先[B.義肢](複数回答)【Q81=出来ている】

表側: Q1 職場の主たる業態

		0	1	2	3	4
		TOTAL	メーカーや業者	ソーシャルワーカーやケアマネジャー	雑誌や広告	学会や講習会
1段目	度数					
2段目	横%					
0	TOTAL	377	355	50	82	155
		100.0	94.2	13.3	21.8	41.1
1	医療機関	322	308	38	71	133
		100.0	95.7	11.8	22.0	41.3
2	福祉施設	31	29	8	4	12
		100.0	93.5	25.8	12.9	38.7
3	在宅サービス事業所	19	14	3	7	8
		100.0	73.7	15.8	36.8	42.1
4	その他	5	4	1	0	2
		100.0	80.0	20.0	0.0	40.0

(前表からのつづき)

		0	5	6	7	8
		TOTAL	論文	展示会	インターネットやメールマガジン	その他
1段目	度数					
2段目	横%					
0	TOTAL	377	61	111	70	13
		100.0	16.2	29.4	18.6	3.4
1	医療機関	322	59	94	59	11
		100.0	18.3	29.2	18.3	3.4
2	福祉施設	31	1	8	9	2
		100.0	3.2	25.8	29.0	6.5
3	在宅サービス事業所	19	1	6	2	0
		100.0	5.3	31.6	10.5	0.0
4	その他	5	0	3	0	0
		100.0	0.0	60.0	0.0	0.0

表頭: Q83 最新情報の入手状況[C.装具]

表側: Q1 職場の主たる業態

		0	1	2	3
		TOTAL	出来ている	出来ていない	わからない
1段目	度数				
2段目	横%				
0	TOTAL	3936	1094	2142	700
		100.0	27.8	54.4	17.8
1	医療機関	2746	870	1358	518
		100.0	31.7	49.5	18.9
2	福祉施設	712	140	460	112
		100.0	19.7	64.6	15.7
3	在宅サービス事業所	365	58	255	52
		100.0	15.9	69.9	14.2
4	その他	113	26	69	18
		100.0	23.0	61.1	15.9

表頭: Q84 情報の入手先について[C.装具](複数回答)【Q83=出来ている】

表側: Q1 職場の主たる業態

		0	1	2	3	4
		TOTAL	メーカーや業者	ソーシャルワーカーやケアマネジャー	雑誌や広告	学会や講習会
1段目	度数					
2段目	横%					
0	TOTAL	1094	1041	94	293	582
		100.0	95.2	8.6	26.8	53.2
1	医療機関	870	836	64	235	476
		100.0	96.1	7.4	27.0	54.7
2	福祉施設	140	127	21	32	62
		100.0	90.7	15.0	22.9	44.3
3	在宅サービス事業所	58	53	5	20	31
		100.0	91.4	8.6	34.5	53.4
4	その他	26	25	4	6	13
		100.0	96.2	15.4	23.1	50.0

(前表からのつづき)

		0	5	6	7	8
		TOTAL	論文	展示会	インターネットやメールマガジン	その他
1段目	度数					
2段目	横%					
0	TOTAL	1094	257	361	250	29
		100.0	23.5	33.0	22.9	2.7
1	医療機関	870	226	288	191	19
		100.0	26.0	33.1	22.0	2.2
2	福祉施設	140	16	47	38	7
		100.0	11.4	33.6	27.1	5.0
3	在宅サービス事業所	58	9	21	14	1
		100.0	15.5	36.2	24.1	1.7
4	その他	26	6	5	7	2
		100.0	23.1	19.2	26.9	7.7

【Q2 職場の理学療法士の人数とのクロス】

表頭: Q1 職場の主たる業態

表側: Q2 職場の理学療法士の人数

		0	1	2	3	4
		TOTAL	医療機関	福祉施設	在宅サービス事業所	その他
1段目 度数	2段目 横%					
0	TOTAL	3936	2746	712	365	113
		100.0	69.8	18.1	9.3	2.9
1	10人未満	2654	1512	688	346	108
		100.0	57.0	25.9	13.0	4.1
2	10人以上20人未満	710	669	20	16	5
		100.0	94.2	2.8	2.3	0.7
3	20人以上30人未満	266	263	0	3	0
		100.0	98.9	0.0	1.1	0.0
4	30人以上	305	302	3	0	0
		100.0	99.0	1.0	0.0	0.0
5	不明	1	0	1	0	0
		100.0	0.0	100.0	0.0	0.0

表頭: Q3 理学療法士が関わっている主な疾患(回答は3つまで)

表側: Q2 職場の理学療法士の人数

		0	1	2	3	4	5	6
		TOTAL	脳血管障害	脊髄損傷	骨関節疾患	外傷	神経難病	脳性麻痺
1段目 度数	2段目 横%							
0	TOTAL	3936	2967	318	3296	501	578	209
		100.0	75.4	8.1	83.7	12.7	14.7	5.3
1	10人未満	2654	1889	175	2135	324	410	174
		100.0	71.2	6.6	80.4	12.2	15.4	6.6
2	10人以上20人未満	710	557	55	632	110	91	24
		100.0	78.5	7.7	89.0	15.5	12.8	3.4
3	20人以上30人未満	266	232	20	239	36	36	5
		100.0	87.2	7.5	89.8	13.5	13.5	1.9
4	30人以上	305	288	68	290	31	41	6
		100.0	94.4	22.3	95.1	10.2	13.4	2.0
5	不明	1	1	0	0	0	0	0
		100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(前表からのつづき)

		0	7	8	9	10	11
		TOTAL	内部疾患	小児疾患	虚弱高齢	その他	不明
1段目 度数	2段目 横%						
0	TOTAL	3936	1158	151	1382	167	4
		100.0	29.4	3.8	35.1	4.2	0.1
1	10人未満	2654	627	114	1120	127	4
		100.0	23.6	4.3	42.2	4.8	0.2
2	10人以上20人未満	710	306	25	158	25	0
		100.0	43.1	3.5	22.3	3.5	0.0
3	20人以上30人未満	266	119	4	61	6	0
		100.0	44.7	1.5	22.9	2.3	0.0
4	30人以上	305	105	8	43	9	0
		100.0	34.4	2.6	14.1	3.0	0.0
5	不明	1	1	0	0	0	0
		100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

表頭: Q4 施設備品として準備されている福祉用具(複数回答)

表例: Q2 職場の理学療法士の人数

		0	1	2	3	4	5	6	7
		TOTAL	入浴関連(バスボード、シャワーチェア等)	排泄関連(ポータブルトイレ、補高便座等)	移動関連(車いす、杖、歩行器、手すり、擦り付け板等)	移乗(トランスファーボード、リフト等)	外出時環境(段差解消機、階段昇降機、スロープ等)	食事(スプーン、皿、ポータブルスプリングバランサー等)	整容(長柄ブラシ等)
1段目 度数	2段目 横%								
0	TOTAL	3936	2898	2759	3818	2306	656	2819	1316
		100.0	73.6	70.1	97.0	58.6	16.7	71.6	33.4
1	10人未満	2654	1795	1702	2552	1255	375	1690	492
		100.0	67.6	64.1	96.2	47.3	14.1	63.7	18.5
2	10人以上20人未満	710	572	547	697	542	116	590	381
		100.0	80.6	77.0	98.2	76.3	16.3	83.1	53.7
3	20人以上30人未満	266	235	226	264	225	70	246	195
		100.0	88.3	85.0	99.2	84.6	26.3	92.5	73.3
4	30人以上	305	296	284	304	284	95	292	248
		100.0	97.0	93.1	99.7	93.1	31.1	95.7	81.3
5	不明	1	0	0	1	0	0	1	0
		100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0

(前表からのつづき)

		0	8	9	10	11	12
		TOTAL	更衣(ボタンエイド、ソックスエイド等)	コミュニケーション(文字盤、意思伝達装置等)	姿勢調整(クッション、座位保持装置等)	その他	該当なし
1段目 度数	2段目 横%						
0	TOTAL	3936	1556	1489	2917	87	70
		100.0	39.5	37.8	74.1	2.2	1.8
1	10人未満	2654	613	651	1813	52	64
		100.0	23.1	24.5	68.3	2.0	2.4
2	10人以上20人未満	710	463	405	585	20	6
		100.0	65.2	57.0	82.4	2.8	0.8
3	20人以上30人未満	266	210	193	238	7	0
		100.0	78.9	72.6	89.5	2.6	0.0
4	30人以上	305	270	240	281	8	0
		100.0	88.5	78.7	92.1	2.6	0.0
5	不明	1	0	0	0	0	0
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

表頭: Q5 施設備品として準備されている下肢装具(複数回答)

表例: Q2 職場の理学療法士の人数

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
		TOTAL	長下肢装具	金属支柱付き短下肢装具	プラスチック製短下肢装具(継手なし)	プラスチック製短下肢装具(継手あり)	オルトトップAFO	リーストラップ	膝装具	その他	該当なし
1段目 度数	2段目 横%										
0	TOTAL	3936	1313	1409	2258	1090	1778	420	2263	229	913
		100.0	33.4	35.8	57.4	27.7	45.2	10.7	57.5	5.8	23.2
1	10人未満	2654	442	583	1163	420	800	162	1188	112	877
		100.0	16.7	22.0	43.8	15.8	30.1	6.1	44.8	4.2	33.0
2	10人以上20人未満	710	398	363	572	285	481	105	570	48	31
		100.0	56.1	51.1	80.6	40.1	67.7	14.8	80.3	6.8	4.4
3	20人以上30人未満	266	203	202	241	159	225	63	227	27	4
		100.0	76.3	75.9	90.6	59.8	84.6	23.7	85.3	10.2	1.5
4	30人以上	305	270	261	282	226	272	90	278	42	0
		100.0	88.5	85.6	92.5	74.1	89.2	29.5	91.1	13.8	0.0
5	不明	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

表頭: Q6 理学療法士が関わる支援対象者全体のうち各支援を必要とするおおよその割合(回答は半角数字で入力): 福祉用具
 表側: Q2 職場の理学療法士の人数

		0	1
		TOTAL	平均値
1段目	度数		
2段目	横%		
0	TOTAL	3936 100.0	5.2
1	10人未満	2654 100.0	5.3
2	10人以上20人未満	710 100.0	4.7
3	20人以上30人未満	266 100.0	5.1
4	30人以上	305 100.0	5.5
5	不明	1 100.0	10.0

表頭: Q6 理学療法士が関わる支援対象者全体のうち各支援を必要とするおおよその割合(回答は半角数字で入力): 義肢
 表側: Q2 職場の理学療法士の人数

		0	1
		TOTAL	平均値
1段目	度数		
2段目	横%		
0	TOTAL	3936 100.0	0.4
1	10人未満	2654 100.0	0.3
2	10人以上20人未満	710 100.0	0.4
3	20人以上30人未満	266 100.0	0.6
4	30人以上	305 100.0	0.7
5	不明	1 100.0	0.0

表頭: Q6 理学療法士が関わる支援対象者全体のうち各支援を必要とするおおよその割合(回答は半角数字で入力): 装具
 表側: Q2 職場の理学療法士の人数

		0	1
		TOTAL	平均値
1段目	度数		
2段目	横%		
0	TOTAL	3936 100.0	2.1
1	10人未満	2654 100.0	1.9
2	10人以上20人未満	710 100.0	2.2
3	20人以上30人未満	266 100.0	2.6
4	30人以上	305 100.0	3.0
5	不明	1 100.0	2.0

表頭: Q10 それぞれの支援時期における理学療法士の関わり 1.評価[A.福祉用具] 理想と現状の差が生じる理由【Q9=ある】(複数回答)

表側: Q2 職場の理学療法士の人数

1段目 度数 2段目 横%		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
		TOTAL	時間がない	対応するの に必要な知 識が不足し ている	対応するの に必要な技 術が不足し ている	対応するの に必要な備 品が不足し ている	理学療法士 以外の職種 が対応してい る	理学療法士 への依頼が ない	保険適応さ れないなど の経営的理 由	その他	該当する患 者がいない
0	TOTAL	2278 100.0	1086 47.7	1063 46.7	804 35.3	1186 52.1	677 29.7	712 31.3	613 26.9	165 7.2	18 0.8
1	10人未満	1561 100.0	755 48.4	602 38.6	467 29.9	785 50.3	464 29.7	556 35.6	424 27.2	117 7.5	16 1.0
2	10人以上20人未満	398 100.0	191 48.0	230 57.8	168 42.2	223 56.0	128 32.2	107 26.9	106 26.6	22 5.5	2 0.5
3	20人以上30人未満	146 100.0	74 50.7	104 71.2	73 50.0	90 61.6	42 28.8	31 21.2	43 29.5	15 10.3	0 0.0
4	30人以上	173 100.0	66 38.2	127 73.4	96 55.5	88 50.9	43 24.9	18 10.4	40 23.1	11 6.4	0 0.0

表頭: Q14 それぞれの支援時期における理学療法士の関わり 1.評価[B.義肢] 理想と現状の差が生じる理由【Q13=ある】(複数回答)

表側: Q2 職場の理学療法士の人数

1段目 度数 2段目 横%		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
		TOTAL	時間がない	対応するの に必要な知 識が不足し ている	対応するの に必要な技 術が不足し ている	対応するの に必要な備 品が不足し ている	理学療法士 以外の職種 が対応してい る	理学療法士 への依頼が ない	保険適応さ れないなど の経営的理 由	その他	該当する患 者がいない
0	TOTAL	1454 100.0	409 28.1	753 51.8	676 46.5	512 35.2	363 25.0	403 27.7	196 13.5	140 9.6	275 18.9
1	10人未満	906 100.0	268 29.6	375 41.4	336 37.1	291 32.1	192 21.2	289 31.9	138 15.2	81 8.9	217 24.0
2	10人以上20人未満	292 100.0	82 28.1	185 63.4	164 56.2	104 35.6	100 34.2	78 26.7	29 9.9	32 11.0	35 12.0
3	20人以上30人未満	111 100.0	29 26.1	80 72.1	73 65.8	56 50.5	33 29.7	21 18.9	14 12.6	13 11.7	8 7.2
4	30人以上	145 100.0	30 20.7	113 77.9	103 71.0	61 42.1	38 26.2	15 10.3	15 10.3	14 9.7	15 10.3

表頭: Q18 それぞれの支援時期における理学療法士の関わり 1.評価[C.装具] 理想と現状の差が生じる理由【Q17=ある】(複数回答)

表側: Q2 職場の理学療法士の人数

1段目 度数 2段目 横%		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
		TOTAL	時間がない	対応するの に必要な知 識が不足し ている	対応するの に必要な技 術が不足し ている	対応するの に必要な備 品が不足し ている	理学療法士 以外の職種 が対応してい る	理学療法士 への依頼が ない	保険適応さ れないなど の経営的理 由	その他	該当する患 者がいない
0	TOTAL	1985 100.0	714 36.0	966 48.7	885 44.6	854 43.0	514 25.9	526 26.5	428 21.6	267 13.5	44 2.2
1	10人未満	1319 100.0	494 37.5	527 40.0	477 36.2	542 41.1	345 26.2	415 31.5	316 24.0	184 13.9	37 2.8
2	10人以上20人未満	373 100.0	125 33.5	214 57.4	204 54.7	169 45.3	116 31.1	80 21.4	54 14.5	47 12.6	6 1.6
3	20人以上30人未満	130 100.0	51 39.2	99 76.2	89 68.5	66 50.8	27 20.8	18 13.8	27 20.8	16 12.3	1 0.8
4	30人以上	163 100.0	44 27.0	126 77.3	115 70.6	77 47.2	26 16.0	13 8.0	31 19.0	20 12.3	0 0.0

表頭: Q22 それぞれの支援時期における理学療法士の関わり 2.作製・フィッティング[A.福祉用具] 理想と現状の差が生じる理由【Q21=ある】(複数回答)

表側: Q2 職場の理学療法士の人数

1段目 度数 2段目 横%		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
		TOTAL	時間がない	対応するの に必要な知 識が不足し ている	対応するの に必要な技 術が不足し ている	対応するの に必要な備 品が不足し ている	理学療法士 以外の職種 が対応してい る	理学療法士 への依頼が ない	保険適応さ れないなど の経営的理 由	その他	該当する患 者がいない
0	TOTAL	1826 100.0	821 45.0	860 47.1	773 42.3	831 45.5	607 33.2	529 29.0	409 22.4	128 7.0	36 2.0
1	10人未満	1207 100.0	552 45.7	446 37.0	411 34.1	518 42.9	378 31.3	412 34.1	285 23.6	85 7.0	34 2.8
2	10人以上20人未満	331 100.0	158 47.7	199 60.1	176 53.2	163 49.2	129 39.0	73 22.1	63 19.0	23 6.9	2 0.6
3	20人以上30人未満	125 100.0	55 44.0	90 72.0	79 63.2	71 56.8	51 40.8	21 16.8	31 24.8	8 6.4	0 0.0
4	30人以上	163 100.0	56 34.4	125 76.7	107 65.6	79 48.5	49 30.1	23 14.1	30 18.4	12 7.4	0 0.0

表頭: Q26 それぞれの支援時期における理学療法士の関わり 2.作製・フィッティング[B.義肢] 理想と現状の差が生じる理由【Q25=ある】(複数回答)

表側: Q2 職場の理学療法士の人数

1段目 度数 2段目 横%		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
		TOTAL	時間がない	対応するの に必要な知 識が不足し ている	対応するの に必要な技 術が不足し ている	対応するの に必要な備 品が不足し ている	理学療法士 以外の職種 が対応してい る	理学療法士 への依頼が ない	保険適応さ れないなど の経営的理 由	その他	該当する患 者がいない
0	TOTAL	1319 100.0	405 30.7	648 49.1	609 46.2	429 32.5	385 29.2	354 26.8	156 11.8	84 6.4	281 21.3
1	10人未満	815 100.0	250 30.7	306 37.5	294 36.1	228 28.0	214 26.3	257 31.5	105 12.9	49 6.0	217 26.6
2	10人以上20人未満	264 100.0	88 33.3	162 61.4	152 57.6	105 39.8	102 38.6	65 24.6	27 10.2	19 7.2	34 12.9
3	20人以上30人未満	98 100.0	33 33.7	73 74.5	67 68.4	47 48.0	37 37.8	20 20.4	14 14.3	5 5.1	12 12.2
4	30人以上	142 100.0	34 23.9	107 75.4	96 67.6	49 34.5	32 22.5	12 8.5	10 7.0	11 7.7	18 12.7

表頭: Q30 それぞれの支援時期における理学療法士の関わり 2.作製・フィッティング[C.装具] 理想と現状の差が生じる理由【Q29=ある】(複数回答)

表側: Q2 職場の理学療法士の人数

1段目 度数 2段目 横%		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
		TOTAL	時間がない	対応するの に必要な知 識が不足し ている	対応するの に必要な技 術が不足し ている	対応するの に必要な備 品が不足し ている	理学療法士 以外の職種 が対応してい る	理学療法士 への依頼が ない	保険適応さ れないなど の経営的理 由	その他	該当する患 者がいない
0	TOTAL	1759 100.0	694 39.5	905 51.4	841 47.8	677 38.5	556 31.6	463 26.3	334 19.0	197 11.2	46 2.6
1	10人未満	1150 100.0	471 41.0	477 41.5	447 38.9	409 35.6	362 31.5	357 31.0	246 21.4	143 12.4	41 3.6
2	10人以上20人未満	342 100.0	130 38.0	212 62.0	201 58.8	138 40.4	131 38.3	81 23.7	49 14.3	33 9.6	4 1.2
3	20人以上30人未満	119 100.0	47 39.5	93 78.2	82 68.9	60 50.4	33 27.7	17 14.3	22 18.5	8 6.7	1 0.8
4	30人以上	148 100.0	46 31.1	123 83.1	111 75.0	70 47.3	30 20.3	8 5.4	17 11.5	13 8.8	0 0.0

表頭: Q34 それぞれの支援時期における理学療法士の関わり 3.ADL練習[A.福祉用具] 理想と現状の差が生じる理由【Q33=ある】(複数回答)

表側: Q2 職場の理学療法士の人数

1段目 度数 2段目 横%		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
		TOTAL	時間がない	対応するの に必要な知 識が不足し ている	対応するの に必要な技 術が不足し ている	対応するの に必要な備 品が不足し ている	理学療法士 以外の職種 が対応してい る	理学療法士 への依頼が ない	保険適応さ れないなど の経営的理 由	その他	該当する患 者がいない
0	TOTAL	1702 100.0	785 46.1	635 37.3	531 31.2	865 50.8	463 27.2	275 16.2	264 15.5	138 8.1	31 1.8
1	10人未満	1128 100.0	560 49.6	311 27.6	259 23.0	555 49.2	258 22.9	221 19.6	195 17.3	95 8.4	25 2.2
2	10人以上20人未満	304 100.0	130 42.8	148 48.7	124 40.8	163 53.6	117 38.5	41 13.5	35 11.5	22 7.2	5 1.6
3	20人以上30人未満	123 100.0	54 43.9	69 56.1	58 47.2	65 52.8	49 39.8	6 4.9	13 10.6	10 8.1	1 0.8
4	30人以上	147 100.0	41 27.9	107 72.8	90 61.2	82 55.8	39 26.5	7 4.8	21 14.3	11 7.5	0 0.0

表頭: Q38 それぞれの支援時期における理学療法士の関わり 3.ADL練習[B.義肢] 理想と現状の差が生じる理由【Q37=ある】(複数回答)

表側: Q2 職場の理学療法士の人数

1段目 度数 2段目 横%		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
		TOTAL	時間がない	対応するの に必要な知 識が不足し ている	対応するの に必要な技 術が不足し ている	対応するの に必要な備 品が不足し ている	理学療法士 以外の職種 が対応してい る	理学療法士 への依頼が ない	保険適応さ れないなど の経営的理 由	その他	該当する患 者がいない
0	TOTAL	1146 100.0	334 29.1	447 39.0	410 35.8	341 29.8	165 14.4	222 19.4	104 9.1	66 5.8	329 28.7
1	10人未満	717 100.0	208 29.0	189 26.4	172 24.0	180 25.1	88 12.3	168 23.4	70 9.8	32 4.5	261 36.4
2	10人以上20人未満	226 100.0	73 32.3	120 53.1	115 50.9	77 34.1	46 20.4	36 15.9	19 8.4	17 7.5	38 16.8
3	20人以上30人未満	83 100.0	27 32.5	52 62.7	47 56.6	37 44.6	16 19.3	11 13.3	8 9.6	6 7.2	12 14.5
4	30人以上	120 100.0	26 21.7	86 71.7	76 63.3	47 39.2	15 12.5	7 5.8	7 5.8	11 9.2	18 15.0

表頭: Q42 それぞれの支援時期における理学療法士の関わり 3.ADL練習[C. 装具] 理想と現状の差が生じる理由【Q41=ある】(複数回答)

表側: Q2 職場の理学療法士の人数

1段目 度数 2段目 横%		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
		TOTAL	時間がない	対応するの に必要な知 識が不足し ている	対応するの に必要な技 術が不足し ている	対応するの に必要な備 品が不足し ている	理学療法士 以外の職種 が対応してい る	理学療法士 への依頼が ない	保険適応さ れないなど の経営的理 由	その他 具体 的に:	該当する患 者がいない
0	TOTAL	1330	587	634	585	565	254	192	193	90	57
		100.0	44.1	47.7	44.0	42.5	19.1	14.4	14.5	6.8	4.3
1	10人未満	866	415	312	287	352	147	152	143	64	53
		100.0	47.9	36.0	33.1	40.6	17.0	17.6	16.5	7.4	6.1
2	10人以上20人未満	246	105	145	145	112	65	32	27	11	4
		100.0	42.7	58.9	58.9	45.5	26.4	13.0	11.0	4.5	1.6
3	20人以上30人未満	93	38	72	62	48	19	6	10	6	0
		100.0	40.9	77.4	66.7	51.6	20.4	6.5	10.8	6.5	0.0
4	30人以上	125	29	105	91	53	23	2	13	9	0
		100.0	23.2	84.0	72.8	42.4	18.4	1.6	10.4	7.2	0.0

表頭: Q46 それぞれの支援時期における理学療法士の関わり 4.導入や作製直後のフォローアップ[A.福祉用具] 理想と現状の差が生じる理由【Q45=ある】(複数回答)

表側: Q2 職場の理学療法士の人数

1段目 度数 2段目 横%		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
		TOTAL	時間がない	対応するの に必要な知 識が不足し ている	対応するの に必要な技 術が不足し ている	対応するの に必要な備 品が不足し ている	理学療法士 以外の職種 が対応してい る	理学療法士 への依頼が ない	保険適応さ れないなど の経営的理 由	その他	該当する患 者がいない
0	TOTAL	1614	877	623	535	504	422	387	315	153	33
		100.0	54.3	38.6	33.1	31.2	26.1	24.0	19.5	9.5	2.0
1	10人未満	1023	560	327	281	321	270	282	210	87	28
		100.0	54.7	32.0	27.5	31.4	26.4	27.6	20.5	8.5	2.7
2	10人以上20人未満	304	173	134	123	96	81	67	48	29	4
		100.0	56.9	44.1	40.5	31.6	26.6	22.0	15.8	9.5	1.3
3	20人以上30人未満	127	72	62	49	40	37	19	25	15	0
		100.0	56.7	48.8	38.6	31.5	29.1	15.0	19.7	11.8	0.0
4	30人以上	160	72	100	82	47	34	19	32	22	1
		100.0	45.0	62.5	51.3	29.4	21.3	11.9	20.0	13.8	0.6

表頭: Q50 それぞれの支援時期における理学療法士の関わり 4.導入や作製直後のフォローアップ[B.義肢] 理想と現状の差が生じる理由【Q49=ある】(複数回答)

表側: Q2 職場の理学療法士の人数

1段目 度数 2段目 横%		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
		TOTAL	時間がない	対応するの に必要な知 識が不足し ている	対応するの に必要な技 術が不足し ている	対応するの に必要な備 品が不足し ている	理学療法士 以外の職種 が対応してい る	理学療法士 への依頼が ない	保険適応さ れないなど の経営的理 由	その他	該当する患 者がいない
0	TOTAL	1168	354	448	424	285	220	232	122	77	342
		100.0	30.3	38.4	36.3	24.4	18.8	19.9	10.4	6.6	29.3
1	10人未満	707	190	181	175	138	109	156	74	41	268
		100.0	26.9	25.6	24.8	19.5	15.4	22.1	10.5	5.8	37.9
2	10人以上20人未満	231	83	126	122	73	59	48	25	12	45
		100.0	35.9	54.5	52.8	31.6	25.5	20.8	10.8	5.2	19.5
3	20人以上30人未満	101	46	58	51	37	26	19	12	10	10
		100.0	45.5	57.4	50.5	36.6	25.7	18.8	11.9	9.9	9.9
4	30人以上	129	35	83	76	37	26	9	11	14	19
		100.0	27.1	64.3	58.9	28.7	20.2	7.0	8.5	10.9	14.7

表頭: Q54 それぞれの支援時期における理学療法士の関わり 4.導入や作製直後のフォローアップ[C. 装具] 理想と現状の差が生じる理由【Q53=ある】(複数回答)

表側: Q2 職場の理学療法士の人数

1段目 度数 2段目 横%		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
		TOTAL	時間がない	対応するの に必要な知 識が不足し ている	対応するの に必要な技 術が不足し ている	対応するの に必要な備 品が不足し ている	理学療法士 以外の職種 が対応してい る	理学療法士 への依頼が ない	保険適応さ れないなど の経営的理 由	その他	該当する患 者がいない
0	TOTAL	1443	627	700	645	473	302	295	257	165	68
		100.0	43.5	48.5	44.7	32.8	20.9	20.4	17.8	11.4	4.7
1	10人未満	919	421	353	324	289	191	216	178	108	63
		100.0	45.8	38.4	35.3	31.4	20.8	23.5	19.4	11.8	6.9
2	10人以上20人未満	265	113	167	156	94	72	52	39	25	4
		100.0	42.6	63.0	58.9	35.5	27.2	19.6	14.7	9.4	1.5
3	20人以上30人未満	109	51	73	67	44	17	14	21	14	0
		100.0	46.8	67.0	61.5	40.4	15.6	12.8	19.3	12.8	0.0
4	30人以上	150	42	107	98	46	22	13	19	18	1
		100.0	28.0	71.3	65.3	30.7	14.7	8.7	12.7	12.0	0.7

第4章 事例報告

第5章 考察

1) 福祉用具について

福祉用具導入の際の理学療法士の関与は作業療法士とともに高く、評価や練習においては大きな役割を果たしている。しかし、時間や備品の不足から関わる事が出来ないこともあり、特に医療機関では、他の機関に比べて時間や備品の問題と同程度に、知識や技術の不足が問題視されている。また、福祉施設や在宅サービスは必要性が高いものの職員数が少なく時間の確保が難しいという結果であった。知識や技術を持って、今以上に関わる事が出来るならばADL 自立向上や介護者の負担軽減が期待できることも示唆された。

多職種との関わりでは、福祉施設や在宅サービスでは、ケアマネジャーや福祉用具専門相談員の関わりが強く、相談や依頼のくる理学療法士と、こない理学療法士が二分しているように見受けられた。医療機関では、一部義肢装具士の関わりが見られている。特に福祉施設や在宅サービスでは理学療法士がより信頼されるべく、知識や教育、情報収集能力の向上が急務と思われる。

最新情報の入手に関して装具では病院が高く、福祉施設、在宅サービスが低い、福祉用具は福祉施設、在宅サービスが高い。これは義肢装具士や福祉用具専門相談員といった最新情報を持った人に影響をうけていることが示唆されており、理学療法士が自ら情報源になっておらず、チームの中でリードしていないことがわかる。

教育では全体を通して、不十分が6割程度もあり知識や技術の向上は急務といえる。特に卒前教育では不十分の傾向が強かった。

2) 義肢について

福祉用具、装具と比較して義肢に関わっていない割合が高く、その理由として第一に対象がいなかったことがあげられるが、評価、フィッティング、フォローアップに関しては圧倒的に義肢装具士の関わりが大きく、その背景には知識、技術や新しい情報の不足があげられる。卒前、卒後教育に関して福祉用具、装具と同様に不足していると感じているが、義肢ではさらに不足と感じている傾向が強い。

特に最新情報の入手できている医療機関は10%弱、福祉施設では5%以下とほとんど情報がないことが示されている。しかし理学療法士への期待では福祉用具、装具と同様に知識技術の不足があげられており、特に医療機関における必要性が高い結果となった。また卒前、卒後の教育においても義肢では80%弱の人が情報が不足しているとしており、特に現場の要求に対する情報の供給のギャップが浮き彫りとなった。

3) 装具について

装具を必要とする対象者は2割程度であり、施設の種類に関係なく、装具の評価、フィッティング、練習、フォローアップのほとんどの場面で関与している結果であった。装具に関わる他の職種としては、場面に関係なく義肢装具士、作業療法士が多く、福祉施設や在宅サービス事業所では医療機関に比べてケアマネジャーの関わりが多かった。一方で関

与できない理由は、「知識・技術が不足」が 5 割程度、「時間がない」、「備品がない」が 4 割程度と多く、医療機関、福祉施設、在宅サービス事業所の順で頻度が高い。なお、備品に関しては、医療機関では各種の装具を保有しているが、福祉施設、在宅サービス事業所では、「ない」が最も多かった。

装具に対する教育状況は、卒前(養成校等)、卒後 (PT 協会、県士会、職場内) とともに、ほとんどの PT が、知識・技術のどちらも十分ではないと回答している。最新情報の入手は、約半数が出来ていないと回答し、特に在宅サービス事業所では 7 割に及んでいる。

このような状況の中で、PT がさらに装具に関与することで、「ADL 自立度の向上」「生活の質の向上」「心身機能の向上」「介助者の負担の軽減」「地域への社会活動への参加」のすべての項目で、効果が期待できると回答している。以上のことから、卒前・卒後の教育の充実、装具に関する情報発信を行うことで、理学療法士が今以上に装具に関わり、効果を発揮することが必要と思われる。

4) 課題

本調査結果を踏まえ、福祉用具・義肢・装具支援に関する理学療法士の関わりについて、課題を下記の通り整理した。

①福祉用具・義肢・装具に関する共通の課題

- ・言葉の定義の明確化
- ・「フォローアップ」という言葉の定義の明確化
- ・卒前教育の充実
- ・新人教育の充実
- ・情報へのアクセスの改善

②福祉用具に関する課題

- ・福祉用具の地域差 (物品へのアクセスのしやすさ)
- ・備品の充実

③義肢に関する課題

- ・障害者スポーツや低活動高齢者へ情報提供と義肢療法の確立
- ・切断患者への義足処方・理学療法へつながっていない理由の解明

④装具に関する課題

- ・装具処方の現状
- ・病期に合わせた装具療法の研修
- ・備品の充実

第6章 資料

1. 調査票

理学療法士の福祉用具・義肢・装具支援に関する実態調査

アンケートにアクセスしていただき、ありがとうございます。

回答するにあたって、下記条件を必ず、ご確認ください。

1. 本調査は、日本支援工学理学療法学会が、株式会社インテリサーチに委託して実施する、実態調査です。福祉用具・義肢・装具に関わる理学療法士の活動実態を調査いたします。
2. 回答者は原則、日本理学療法士協会より回答用のIDとパスワードが送付された、医療・介護・福祉施設・在宅サービス事業所に従事する本会会員、管理者です。
回答が難しい場合は、回答できる方が回答いただいても構いません。
3. 本Webアンケートシステムは、回答の途中再開が可能です。また、回答後の修正も可能です。回答後の修正を希望される方は、回答後再度URLにアクセスいただき、回答をお読みいただけます。回答いただいたデータは上書きで保存されますので、ご注意ください。
4. 協賛の事前の確認は下記2つの方法が可能です。
 - 1) 日本理学療法士協会ホームページ 新着情報から「理学療法士の福祉用具・義肢・装具支援に関する実態調査」ご協力のお願いをクリックして下さい。調査依頼文と一緒に、印刷一覧を確認することができます。<http://www.jaapt.or.jp/info/jtla/>
 - 2) 調査URLにアクセス後、こちらの[調査票](#) (PDFファイル)をご確認ください。説明をご覧いただけます。
5. 本Webアンケートシステムは下記環境を推奨しております。
 - <PC Windows>
Internet Explorer9以上、Firefox最新バージョン、Google Chrome 最新バージョン
 - <Macintosh>
Safari5.0以上
 - <スマートフォン>
iPhone、iPod touch: iOS7以上・Safari、Android: 4.0以上・標準ブラウザ
6. ご回答いただいた内容は、次のように取り扱うことをお約束いたします。
 - (1) 調査研究目的以外には使用いたしません。
 - (2) ご回答いただいた内容は統計的に処理し、ご回答者が特定できないようにいたします。
 - (3) 自由記載の内容も、個々の回答者が特定されないよう配慮し、データいたします。
 - (4) 調査への拒否があってもご回答者に不利益が生じることは一切ございません。
 - (5) お答えいただいた内容によって、ご回答者様およびご回答者様が所属するご職場の評価が行われることは、一切ございません。
 - (6) 回答をもって、調査への同意が得られたものとします。

アンケートにご協力いただける場合は、ユーザーIDとパスワードを入力してご回答ください。

開始

Q1 ご回答いただく職場の主たる業態をお答えください。

(回答は1つ)

- 医療機関
- 福祉施設
- 在宅サービス事業所
- その他 具体的に：

Q2 Q1でご回答いただいた職場の理学療法士の人数をお答えください。

(回答は1つ)

- 10人未満
- 10人以上20人未満
- 20人以上30人未満
- 30人以上
- 不明

Q3 あなたの職場で理学療法士が関わっている主な疾患をお答えください。

(回答は3つまで)

- 脳血管障害
- 脊髄損傷
- 骨関節疾患
- 外傷
- 神経難病
- 脳性麻痺
- 内部疾患
- 小児疾患
- 虚弱高齢
- その他 具体的に：
- 不明

Q4 施設備品として準備されている福祉用具についてお答えください。

(回答はいくつでも)

<input type="checkbox"/> 入浴関連 (バスボード、シャワーチェア等)
<input type="checkbox"/> 排泄関連 (ポータブルトイレ、補高便座等)
<input type="checkbox"/> 移動関連 (車いす、杖、歩行器、手すり、擦り付け板等)
<input type="checkbox"/> 移乗 (トランスファーボード、リフト等)
<input type="checkbox"/> 外出時環境 (段差解消機、階段昇降機、スロープ等)
<input type="checkbox"/> 食事 (スプーン、皿、ポータブルスプリングバランス等)
<input type="checkbox"/> 整容 (長柄ブラシ等)
<input type="checkbox"/> 更衣 (ボタンエイド、ソックスエイド等)
<input type="checkbox"/> コミュニケーション (文字盤、意思伝達装置等)
<input type="checkbox"/> 姿勢調整 (クッション、座位保持装置等)
<input type="checkbox"/> その他 具体的に： <input type="text"/>
<input type="checkbox"/> 該当なし

Q5 施設備品として準備されている下肢装具についてお答えください。

(回答はいくつでも)

<input type="checkbox"/> 長下肢装具
<input type="checkbox"/> 金属支柱付き短下肢装具
<input type="checkbox"/> プラスチック製短下肢装具 (継手なし)
<input type="checkbox"/> プラスチック製短下肢装具 (継手あり)
<input type="checkbox"/> オルトトップAFO
<input type="checkbox"/> リーストラップ
<input type="checkbox"/> 膝装具
<input type="checkbox"/> その他 具体的に： <input type="text"/>
<input type="checkbox"/> 該当なし

Q6 理学療法士が関わる支援対象者全体のうち各支援を必要とするおおよその割合をお答えください。

(回答は半角数字で入力)

※0～10の半角の数字をご入力ください。各支援の対象者がいない場合は「0」と入力してください。

福祉用具 約 割
義肢 約 割
装具 約 割

「1.評価」、「2.作製・フィッティング」、「3.ADL練習」、「4.導入や作製直後のフォローアップ」のそれぞれの支援時期における理学療法士の関わりについて理想と現状についてお尋ねします。

Q7 理想

(回答は1つ)

1. 評価【A.福祉用具】

関わるべき

関わらなくてよい

「1.評価」、「2.作製・フィッティング」、「3.ADL練習」、「4.導入や作製直後のフォローアップ」のそれぞれの支援時期における理学療法士の関わりについて理想と現状についてお尋ねします。

Q8 現状

(回答は1つ)

1. 評価【A.福祉用具】

関わっている

関わっていない

「1.評価」、「2.作製・フィッティング」、「3.ADL練習」、「4.導入や作製直後のフォローアップ」のそれぞれの支援時期における理学療法士の関わりについて理想と現状についてお尋ねします。

Q9 理想と現状に差がありますか。

(回答は1つ)

1. 評価【A.福祉用具】

ある

ない

わからない

「1.評価」、「2.作製・フィッティング」、「3.ADL練習」、「4.導入や作製直後のフォローアップ」のそれぞれの支援時期における理学療法士の関わりについて理想と現状についてお尋ねします。

Q10 Q9で“ある”とお答えの方にお伺いします。差が生じる理由についてお答えください。

(回答は1~3つでも)

1. 評価【A.福祉用具】

- 時間がない
- 対応するのに必要な知識が不足している
- 対応するのに必要な技術が不足している
- 対応するのに必要な備品が不足している
- 理学療法士以外の職種が対応している
- 理学療法士への依頼がない
- 保険適応されないなどの経営的理由
- その他 具体的に：
- 該当する患者がいない

「1.評価」、「2.作製・フィッティング」、「3.ADL練習」、「4.導入や作製直後のフォローアップ」のそれぞれの支援時期における理学療法士の関わりについて理想と現状についてお尋ねします。

Q11 理想

(回答は1つ)

1. 評価【B.義肢】

関わるべき

関わらなくてよい

「1.評価」、「2.作製・フィッティング」、「3.ADL練習」、「4.導入や作製直後のフォローアップ」のそれぞれの支援時期における理学療法士の関わりについて理想と現状についてお尋ねします。

Q12 現状

(回答は1つ)

1. 評価【B.義肢】

関わっている

関わっていない

「1.評価」、「2.作製・フィッティング」、「3.ADL練習」、「4.導入や作製直後のフォローアップ」のそれぞれの支援時期における理学療法士の関わりについて理想と現状についてお尋ねします。

Q13 理想と現状に差がありますか。

(回答は1つ)

1. 評価【B.義肢】

ある

ない

わからない

「1.評価」、「2.作製・フィッティング」、「3.ADL練習」、「4.導入や作製直後のフォローアップ」のそれぞれの支援時期における理学療法士の関わりについて理想と現状についてお尋ねします。

Q14 Q13で“ある”とお答えの方にお伺いします。差が生じる理由についてお答えください。

(回答はいくつでも)

1. 評価【B.義肢】

時間がない

対応するのに必要な知識が不足している

対応するのに必要な技術が不足している

対応するのに必要な備品が不足している

理学療法士以外の職種が対応している

理学療法士への依頼がない

保険適応されないなどの経営的理由

その他 具体的に：

該当する患者がいない

「1.評価」、「2.作製・フィッティング」、「3.ADL練習」、「4.導入や作製直後のフォローアップ」のそれぞれの支援時期における理学療法士の関わりについて理想と現状についてお尋ねします。

Q15 理想

(回答は1つ)

1. 評価【C.装具】

関わるべき

関わらなくてよい

「1.評価」、「2.作製・フィッティング」、「3.ADL練習」、「4.導入や作製直後のフォローアップ」のそれぞれの支援時期における理学療法士の関わりについて理想と現状についてお尋ねします。

Q16 現状

(回答は1つ)

1. 評価【C.装具】

関わっている

関わっていない

「1.評価」、「2.作製・フィッティング」、「3.ADL練習」、「4.導入や作製直後のフォローアップ」のそれぞれの支援時期における理学療法士の関わりについて理想と現状についてお尋ねします。

Q17 理想と現状に差がありますか。

(回答は1つ)

1. 評価【C.装具】

ある

ない

わからない

「1.評価」、「2.作製・フィッティング」、「3.ADL練習」、「4.導入や作製直後のフォローアップ」のそれぞれの支援時期における理学療法士の関わりについて理想と現状についてお尋ねします。

Q18 Q17で“ある”とお答えの方にお伺いします。差が生じる理由についてお答えください。

(回答は、いくつでも)

1. 評価【C.装具】

時間がない

対応するのに必要な知識が不足している

対応するのに必要な技術が不足している

対応するのに必要な備品が不足している

理学療法士以外の職種が対応している

理学療法士への依頼がない

保険適応されないなどの経営的理由

その他 具体的に：

該当する患者がいない

「1.評価」、「2.作製・フィッティング」、「3.ADL練習」、「4.導入や作製直後のフォローアップ」のそれぞれの支援時期における理学療法士の関わりについて理想と現状についてお尋ねします。

Q19 理想

(回答は1つ)

2. 作製・フィッティング 【A.福祉用具】

関わるべき

関わらなくてよい

「1.評価」、「2.作製・フィッティング」、「3.ADL練習」、「4.導入や作製直後のフォローアップ」のそれぞれの支援時期における理学療法士の関わりについて理想と現状についてお尋ねします。

Q20 現状

(回答は1つ)

2. 作製・フィッティング 【A.福祉用具】

関わっている

関わっていない

「1.評価」、「2.作製・フィッティング」、「3.ADL練習」、「4.導入や作製直後のフォローアップ」のそれぞれの支援時期における理学療法士の関わりについて理想と現状についてお尋ねします。

Q21 理想と現状に差がありますか。

(回答は1つ)

2. 作製・フィッティング 【A.福祉用具】

ある

ない

わからない

「1.評価」、「2.作製・フィッティング」、「3.ADL練習」、「4.導入や作製直後のフォローアップ」のそれぞれの支援時期における理学療法士の関わりについて理想と現状についてお尋ねします。

Q22 Q21で“ある”とお答えの方にお伺いします。差が生じる理由についてお答えください。

(回答は1つでも)

2. 作製・フィッティング 【A.福祉用具】

- 時間がない
- 対応するのに必要な知識が不足している
- 対応するのに必要な技術が不足している
- 対応するのに必要な備品が不足している
- 理学療法士以外の職種が対応している
- 理学療法士への依頼がない
- 保険適応されないなどの経営的理由
- その他 具体的に：
- 該当する患者がいない

「1.評価」、「2.作製・フィッティング」、「3.ADL練習」、「4.導入や作製直後のフォローアップ」のそれぞれの支援時期における理学療法士の関わりについて理想と現状についてお尋ねします。

Q23 理想

(回答は1つ)

2. 作製・フィッティング 【B.義肢】

関わるべき

関わらなくてよい

「1.評価」、「2.作製・フィッティング」、「3.ADL練習」、「4.導入や作製直後のフォローアップ」のそれぞれの支援時期における理学療法士の関わりについて理想と現状についてお尋ねします。

Q24 現状

(回答は1つ)

2. 作製・フィッティング 【B.義肢】

関わっている

関わっていない

「1.評価」、「2.作製・フィッティング」、「3.ADL練習」、「4.導入や作製直後のフォローアップ」のそれぞれの支援時期における理学療法士の関わりについて理想と現状についてお尋ねします。

Q25 理想と現状に差がありますか。

(回答は1つ)

2. 作製・フィッティング 【B.義肢】

- ある
- ない
- わからない

「1.評価」、「2.作製・フィッティング」、「3.ADL練習」、「4.導入や作製直後のフォローアップ」のそれぞれの支援時期における理学療法士の関わりについて理想と現状についてお尋ねします。

Q26 Q25で“ある”とお答えの方にお伺いします。差が生じる理由についてお答えください。

(回答は1つでも)

2. 作製・フィッティング 【B.義肢】

- 時間がない
- 対応するのに必要な知識が不足している
- 対応するのに必要な技術が不足している
- 対応するのに必要な備品が不足している
- 理学療法士以外の職種が対応している
- 理学療法士への依頼がない
- 保険適応されないなどの経営的理由
- その他 具体的に：
- 該当する患者がない

「1.評価」、「2.作製・フィッティング」、「3.ADL練習」、「4.導入や作製直後のフォローアップ」のそれぞれの支援時期における理学療法士の関わりについて理想と現状についてお尋ねします。

Q27 理想

(回答は1つ)

2. 作製・フィッティング 【C.装具】

- 関わるべき
- 関わらなくてよい

「1.評価」、「2.作製・フィッティング」、「3.ADL練習」、「4.導入や作製直後のフォローアップ」のそれぞれの支援時期における理学療法士の関わりについて理想と現状についてお尋ねします。

Q28 現状

(回答は1つ)

2. 作製・フィッティング 【C.装具】

関わっている

関わっていない

「1.評価」、「2.作製・フィッティング」、「3.ADL練習」、「4.導入や作製直後のフォローアップ」のそれぞれの支援時期における理学療法士の関わりについて理想と現状についてお尋ねします。

Q29 理想と現状に差がありますか。

(回答は1つ)

2. 作製・フィッティング 【C.装具】

ある

ない

わからない

「1.評価」、「2.作製・フィッティング」、「3.ADL練習」、「4.導入や作製直後のフォローアップ」のそれぞれの支援時期における理学療法士の関わりについて理想と現状についてお尋ねします。

Q30 Q29で“ある”とお答えの方にお伺いします。差が生じる理由についてお答えください。

(回答はいくつでも)

2. 作製・フィッティング 【C.装具】

時間がない

対応するのに必要な知識が不足している

対応するのに必要な技術が不足している

対応するのに必要な備品が不足している

理学療法士以外の職種が対応している

理学療法士への依頼がない

保険適応されないなどの経営的理由

その他 具体的に：

該当する患者がない

「1.評価」、「2.作製・フィッティング」、「3.ADL練習」、「4.導入や作製直後のフォローアップ」のそれぞれの支援時期における理学療法士の関わりについて理想と現状についてお尋ねします。

Q31 理想

(回答は1つ)

3. ADL練習【A.福祉用具】

関わるべき

関わらなくてよい

「1.評価」、「2.作製・フィッティング」、「3.ADL練習」、「4.導入や作製直後のフォローアップ」のそれぞれの支援時期における理学療法士の関わりについて理想と現状についてお尋ねします。

Q32 現状

(回答は1つ)

3. ADL練習【A.福祉用具】

関わっている

関わっていない

「1.評価」、「2.作製・フィッティング」、「3.ADL練習」、「4.導入や作製直後のフォローアップ」のそれぞれの支援時期における理学療法士の関わりについて理想と現状についてお尋ねします。

Q33 理想と現状に差がありますか。

(回答は1つ)

3. ADL練習【A.福祉用具】

ある

ない

わからない

「1.評価」、「2.作製・フィッティング」、「3.ADL練習」、「4.導入や作製直後のフォローアップ」のそれぞれの支援時期における理学療法士の関わりについて理想と現状についてお尋ねします。

Q34 Q33で“ある”とお答えの方にお伺いします。差が生じる理由についてお答えください。

(回答は1~5つでも)

3. ADL練習【A.福祉用具】

- 時間がない
- 対応するのに必要な知識が不足している
- 対応するのに必要な技術が不足している
- 対応するのに必要な備品が不足している
- 理学療法士以外の職種が対応している
- 理学療法士への依頼がない
- 保険適応されないなどの経営的理由
- その他 具体的に：
- 該当する患者がない

「1.評価」、「2.作製・フィッティング」、「3.ADL練習」、「4.導入や作製直後のフォローアップ」のそれぞれの支援時期における理学療法士の関わりについて理想と現状についてお尋ねします。

Q35 理想

(回答は1つ)

3. ADL練習【B.義肢】

関わるべき

関わらなくてよい

「1.評価」、「2.作製・フィッティング」、「3.ADL練習」、「4.導入や作製直後のフォローアップ」のそれぞれの支援時期における理学療法士の関わりについて理想と現状についてお尋ねします。

Q36 現状

(回答は1つ)

3. ADL練習【B.義肢】

関わっている

関わっていない

「1.評価」、「2.作製・フィッティング」、「3.ADL練習」、「4.導入や作製直後のフォローアップ」のそれぞれの支援時期における理学療法士の関わりについて理想と現状についてお尋ねします。

Q37 理想と現状に差がありますか。

(回答は1つ)

3. ADL練習【B.義肢】

- ある
- ない
- わからない

「1.評価」、「2.作製・フィッティング」、「3.ADL練習」、「4.導入や作製直後のフォローアップ」のそれぞれの支援時期における理学療法士の関わりについて理想と現状についてお尋ねします。

Q38 Q37で“ある”とお答えの方にお伺いします。差が生じる理由についてお答えください。

(回答はいくつでも)

3. ADL練習【B.義肢】

- 時間がない
- 対応するのに必要な知識が不足している
- 対応するのに必要な技術が不足している
- 対応するのに必要な備品が不足している
- 理学療法士以外の職種が対応している
- 理学療法士への依頼がない
- 保険適応されないなどの経営的理由
- その他 具体的に：
- 該当する患者がいない

「1.評価」、「2.作製・フィッティング」、「3.ADL練習」、「4.導入や作製直後のフォローアップ」のそれぞれの支援時期における理学療法士の関わりについて理想と現状についてお尋ねします。

Q39 理想

(回答は1つ)

3. ADL練習【C.装具】

- 関わるべき
- 関わらなくてよい

「1.評価」、「2.作製・フィッティング」、「3.ADL練習」、「4.導入や作製直後のフォローアップ」のそれぞれの支援時期における理学療法士の関わりについて理想と現状についてお尋ねします。

Q40 現状

(回答は1つ)

3. ADL練習【C.装具】

関わっている

関わっていない

「1.評価」、「2.作製・フィッティング」、「3.ADL練習」、「4.導入や作製直後のフォローアップ」のそれぞれの支援時期における理学療法士の関わりについて理想と現状についてお尋ねします。

Q41 理想と現状に差がありますか。

(回答は1つ)

3. ADL練習【C.装具】

ある

ない

わからない

「1.評価」、「2.作製・フィッティング」、「3.ADL練習」、「4.導入や作製直後のフォローアップ」のそれぞれの支援時期における理学療法士の関わりについて理想と現状についてお尋ねします。

Q42 Q41で“ある”とお答えの方にお伺いします。差が生じる理由についてお答えください。

(回答は1くつでも)

3. ADL練習【C.装具】

時間がない

対応するのに必要な知識が不足している

対応するのに必要な技術が不足している

対応するのに必要な備品が不足している

理学療法士以外の職種が対応している

理学療法士への依頼がない

保険適応されないなどの経営的理由

その他 具体的に：

該当する患者がない

「1.評価」、「2.作製・フィッティング」、「3.ADL練習」、「4.導入や作製直後のフォローアップ」のそれぞれの支援時期における理学療法士の関わりについて理想と現状についてお尋ねします。

Q43 理想

(回答は1つ)

4. 導入や作製直後のフォローアップ【A.福祉用具】

関わるべき

関わらなくてよい

「1.評価」、「2.作製・フィッティング」、「3.ADL練習」、「4.導入や作製直後のフォローアップ」のそれぞれの支援時期における理学療法士の関わりについて理想と現状についてお尋ねします。

Q44 現状

(回答は1つ)

4. 導入や作製直後のフォローアップ【A.福祉用具】

関わっている

関わっていない

「1.評価」、「2.作製・フィッティング」、「3.ADL練習」、「4.導入や作製直後のフォローアップ」のそれぞれの支援時期における理学療法士の関わりについて理想と現状についてお尋ねしますか。

Q45 理想と現状に差がありますか。

(回答は1つ)

4. 導入や作製直後のフォローアップ【A.福祉用具】

ある

ない

わからない

「1.評価」、「2.作製・フィッティング」、「3.ADL練習」、「4.導入や作製直後のフォローアップ」のそれぞれの支援時期における理学療法士の関わりについて理想と現状についてお尋ねします。

Q46 Q45で“ある”とお答えの方にお伺いします。差が生じる理由についてお答えください。

〈回答はいくつでも〉

4. 導入や作製直後のフォローアップ【A.福祉用具】

- 時間がない
- 対応するのに必要な知識が不足している
- 対応するのに必要な技術が不足している
- 対応するのに必要な備品が不足している
- 理学療法士以外の職種が対応している
- 理学療法士への依頼がない
- 保険適応されないなどの経営的理由
- その他 具体的に：
- 該当する患者がいない

「1.評価」、「2.作製・フィッティング」、「3.ADL練習」、「4.導入や作製直後のフォローアップ」のそれぞれの支援時期における理学療法士の関わりについて理想と現状についてお尋ねします。

Q47 理想

〈回答は1つ〉

4. 導入や作製直後のフォローアップ【B.義肢】

関わるべき

関わらなくてよい

「1.評価」、「2.作製・フィッティング」、「3.ADL練習」、「4.導入や作製直後のフォローアップ」のそれぞれの支援時期における理学療法士の関わりについて理想と現状についてお尋ねします。

Q48 現状

〈回答は1つ〉

4. 導入や作製直後のフォローアップ【B.義肢】

関わっている

関わっていない

「1.評価」、「2.作製・フィッティング」、「3.ADL練習」、「4.導入や作製直後のフォローアップ」のそれぞれの支援時期における理学療法士の関わりについて理想と現状についてお尋ねします。

Q49 理想と現状に差がありますか。

(回答は1つ)

4. 導入や作製直後のフォローアップ 【B.義肢】

- ある
- ない
- わからない

「1.評価」、「2.作製・フィッティング」、「3.ADL練習」、「4.導入や作製直後のフォローアップ」のそれぞれの支援時期における理学療法士の関わりについて理想と現状についてお尋ねします。

Q50 Q49で“ある”とお答えの方にお伺いします。差が生じる理由についてお答えください。

(回答は、いくつでも)

4. 導入や作製直後のフォローアップ 【B.義肢】

- 時間がない
- 対応するのに必要な知識が不足している
- 対応するのに必要な技術が不足している
- 対応するのに必要な備品が不足している
- 理学療法士以外の職種が対応している
- 理学療法士への依頼がない
- 保険適応されないなどの経営的理由
- その他 具体的に：
- 該当する患者がいない

「1.評価」、「2.作製・フィッティング」、「3.ADL練習」、「4.導入や作製直後のフォローアップ」のそれぞれの支援時期における理学療法士の関わりについて理想と現状についてお尋ねします。

Q51 理想

(回答は1つ)

4. 導入や作製直後のフォローアップ 【C.器具】

- 関わるべき
- 関わらなくてよい

「1.評価」、「2.作製・フィッティング」、「3.ADL練習」、「4.導入や作製直後のフォローアップ」のそれぞれの支援時期における理学療法士の関わりについて理想と現状についてお尋ねします。

Q52 現状

(回答は1つ)

4. 導入や作製直後のフォローアップ 【C.装具】

関わっている

関わっていない

「1.評価」、「2.作製・フィッティング」、「3.ADL練習」、「4.導入や作製直後のフォローアップ」のそれぞれの支援時期における理学療法士の関わりについて理想と現状についてお尋ねします。

Q53 理想と現状に差がありますか。

(回答は1つ)

4. 導入や作製直後のフォローアップ 【C.装具】

ある

ない

わからない

「1.評価」、「2.作製・フィッティング」、「3.ADL練習」、「4.導入や作製直後のフォローアップ」のそれぞれの支援時期における理学療法士の関わりについて理想と現状についてお尋ねします。

Q54 Q53で“ある”とお答えの方にお伺いします。差が生じる理由についてお答えください。

(回答は1くつでも)

4. 導入や作製直後のフォローアップ 【C.装具】

時間がない

対応するのに必要な知識が不足している

対応するのに必要な技術が不足している

対応するのに必要な備品が不足している

理学療法士以外の職種が対応している

理学療法士への依頼がない

保険適応されないなどの経営的理由

その他 具体的に：

該当する患者がない

Q55 日常業務で福祉用具を活用している場面についてお答えください。

(回答はいくつでも)

- 入浴
- 排泄
- 移動
- 移乗
- 外出
- 食事
- 整容
- 更衣
- 姿勢調整
- コミュニケーション
- なし

義肢・装具で修理や再作製等についてお尋ねします。

Q56 修理や再作製等を実施していますか。

(回答は1つ)

A.義肢

- している
- していない

Q57 Q56で“している”とお答えの方にお伺いします。実施している内容をお答えください。

(回答はいくつでも)

A.義肢

- 資料を渡している
- 算定期間内に対応している
- 算定期間後に外来で対応している
- その他 具体的に：

義肢・装具で修理や再作製等についてお尋ねします。

Q58 修理や再作製等を実施していますか。

(回答は1つ)

B.装具

している

していない

Q59 Q58で“している”とお答えの方にお伺いします。実施している内容をお答えください。

(回答は、いくつでも)

B.装具

資料を渡している

算定期間内に対応している

算定期間後に外来で対応している

その他 具体的に：

Q60 「1.評価」、「2.作製・フィッティング」、「3.ADL練習」、「4.導入や作製直後のフォローアップ」のそれぞれの支援時期で理学療法士以外のどのような職種が関わっているのかお答えください。

(回答は1つでも)

1/3

A. 福祉用具

1.評価

<input type="checkbox"/> 作業療法士	<input type="checkbox"/> 指導員（生活指導員）
<input type="checkbox"/> 言語聴覚士	<input type="checkbox"/> 教員
<input type="checkbox"/> 臨床心理士	<input type="checkbox"/> リハビリテーションエンジニア
<input type="checkbox"/> リハ科医師	<input type="checkbox"/> 福祉用具専門相談員
<input type="checkbox"/> リハ科以外の医師	<input type="checkbox"/> ケアマネージャー
<input type="checkbox"/> 義肢装具士	<input type="checkbox"/> その他 具体的に： <input type="text"/>
<input type="checkbox"/> 看護師	<input type="checkbox"/> 不明
<input type="checkbox"/> 保健師	<input type="checkbox"/> 関わっていない
<input type="checkbox"/> ソーシャルワーカー	

2/3

B. 義肢

3/3

C. 装具

Q61

「1.評価」、「2.作製・フィッティング」、「3.ADL練習」、「4.導入や作製直後のフォローアップ」のそれぞれの支援時期で理学療法士以外のどのような職種が関わっているのかお答えください。

(回答は1くつでも)

1/3

A. 福祉用具

2.作製・フィッティング

<input type="checkbox"/> 作業療法士	<input type="checkbox"/> 指導員（生活指導員）
<input type="checkbox"/> 言語聴覚士	<input type="checkbox"/> 教員
<input type="checkbox"/> 臨床心理士	<input type="checkbox"/> リハビリテーションエンジニア
<input type="checkbox"/> リハ科医師	<input type="checkbox"/> 福祉用具専門相談員
<input type="checkbox"/> リハ科以外の医師	<input type="checkbox"/> ケアマネージャー
<input type="checkbox"/> 義肢装具士	<input type="checkbox"/> その他 具体的に： <input type="text"/>
<input type="checkbox"/> 看護師	<input type="checkbox"/> 不明
<input type="checkbox"/> 保健師	<input type="checkbox"/> 関わっていない
<input type="checkbox"/> ソーシャルワーカー	

2/3

B. 義肢

3/3

C. 装具

Q62 「1.評価」、「2.作製・フィッティング」、「3.ADL練習」、「4.導入や作製直後のフォローアップ」のそれぞれの支援時期で理学療法士以外のどのような職種が関わっているのかお答えください。

(回答は1つでも)

1/3

A. 福祉用具

3.ADL練習

<input type="checkbox"/> 作業療法士	<input type="checkbox"/> 指導員（生活指導員）
<input type="checkbox"/> 言語聴覚士	<input type="checkbox"/> 教員
<input type="checkbox"/> 臨床心理士	<input type="checkbox"/> リハビリテーションエンジニア
<input type="checkbox"/> リハ科医師	<input type="checkbox"/> 福祉用具専門相談員
<input type="checkbox"/> リハ科以外の医師	<input type="checkbox"/> ケアマネージャー
<input type="checkbox"/> 義肢装具士	<input type="checkbox"/> その他 具体的に： <input type="text"/>
<input type="checkbox"/> 看護師	<input type="checkbox"/> 不明
<input type="checkbox"/> 保健師	<input type="checkbox"/> 関わっていない
<input type="checkbox"/> ソーシャルワーカー	

2/3

B. 義肢

3/3

C. 装具

Q63 「1.評価」、「2.作製・フィッティング」、「3.ADL練習」、「4.導入や作製直後のフォローアップ」のそれぞれの支援時期で理学療法士以外のどのような職種が関わっているのかお答えください。

(回答はいくつでも)

1/3

A. 福祉用具

4.導入や作製直後のフォローアップ

<input type="checkbox"/> 作業療法士	<input type="checkbox"/> 指導員（生活指導員）
<input type="checkbox"/> 言語聴覚士	<input type="checkbox"/> 教員
<input type="checkbox"/> 臨床心理士	<input type="checkbox"/> リハビリテーションエンジニア
<input type="checkbox"/> リハ科医師	<input type="checkbox"/> 福祉用具専門相談員
<input type="checkbox"/> リハ科以外の医師	<input type="checkbox"/> ケアマネージャー
<input type="checkbox"/> 義肢装具士	<input type="checkbox"/> その他 具体的に： <input type="text"/>
<input type="checkbox"/> 看護師	<input type="checkbox"/> 不明
<input type="checkbox"/> 保健師	<input type="checkbox"/> 関わっていない
<input type="checkbox"/> ソーシャルワーカー	

2/3

B. 義肢

3/3

C. 装具

理学療法士が福祉用具・義肢・装具の支揃に、今まで以上により深くかかわることの意義についてお尋ねします。

Q64 今まで以上に理学療法士がより深く関わることで期待できる効果はありますか。

(回答は1つ)

A.福祉用具

- ある
- ない
- 今まで関わっていない

Q65 Q64で“ある”とお答えの方にお尋ねします。期待できる効果をお答えください。

(回答は、いくつでも)

A.福祉用具

- 心身機能の向上
- ADL自立度の向上
- 介助者の負担の軽減
- 地域や社会活動への参加
- 生活の質の向上
- その他 具体的に：

理学療法士が福祉用具・義肢・装具の支揃に、今まで以上により深くかかわることの意義についてお尋ねします。

Q66 今まで以上に理学療法士がより深く関わることで期待できる効果はありますか。

(回答は1つ)

B.義肢

- ある
- ない
- 今まで関わっていない

Q67 Q66で“ある”とお答えの方にお尋ねします。期待できる効果をお答えください。

(回答は1~5つでも)

B.義肢

心身機能の向上

ADL自立度の向上

介助者の負担の軽減

地域や社会活動への参加

生活の質の向上

その他 具体的に：

理学療法士が福祉用具・義肢・装具の支援に、今まで以上により深くかかわることの意義についてお尋ねします。

Q68 今まで以上に理学療法士がより深く関わることで期待できる効果はありますか。

(回答は1つ)

C.装具

ある

ない

今まで関わっていない

Q69 Q68で“ある”とお答えの方にお尋ねします。期待できる効果をお答えください。

(回答は1~5つでも)

C.装具

心身機能の向上

ADL自立度の向上

介助者の負担の軽減

地域や社会活動への参加

生活の質の向上

その他 具体的に：

卒前教育についてお伺いいたします。

Q70 卒前教育や研修機会についてお答えください。(新卒者や実習生の現状から)

(回答は1つ)

1/2

知識について

2/2

技術について

A.福祉用具

十分

やや十分

ふつう

やや不十分

不十分

卒前教育についてお伺いいたします。

Q71 卒前教育や研修機会についてお答えください。(新卒者や実習生の現状から)

(回答は1つ)

1/2

知識について

2/2

技術について

B.義肢

十分

やや十分

ふつう

やや不十分

不十分

卒前教育についてお伺いいたします。

Q72 卒前教育や研修機会についてお答えください。(新卒者や実習生の現状から)

(回答は1つ)

1/2

知識について

2/2

技術について

C. 装具

十分

やや十分

ふつう

やや不十分

不十分

卒後教育についてお伺いいたします。

Q73 卒後(協会、都道府県士会等)での教育や研修機会についてお答えください。

(回答は1つ)

1/2

知識について

2/2

技術について

A. 福祉用具

十分

やや十分

ふつう

やや不十分

不十分

卒後教育についてお伺いいたします。

Q74 卒後(協会、都道府県士会等)での教育や研修機会についてお答えください。

(回答は1つ)

1 / 2

知識について

2 / 2

技術について

B.義肢

十分

やや十分

ふつう

やや不十分

不十分

卒後教育についてお伺いいたします。

Q75 卒後(協会、都道府県士会等)での教育や研修機会についてお答えください。

(回答は1つ)

1 / 2

知識について

2 / 2

技術について

C.装具

十分

やや十分

ふつう

やや不十分

不十分

職場での教育についてお伺いいたします。

Q76 職場内での教育や研修機会についてお答えください。

(回答は1つ)

1/2

知識について

2/2

技術について

A.福祉用具

十分

やや十分

ふつう

やや不十分

不十分

職場での教育についてお伺いいたします。

Q77 職場内での教育や研修機会についてお答えください。

(回答は1つ)

1/2

知識について

2/2

技術について

B.義肢

十分

やや十分

ふつう

やや不十分

不十分

職場での教育についてお伺いいたします。

Q78 職場内での教育や研修機会についてお答えください。

(回答は1つ)

1 / 2

知識について

2 / 2

技術について

C. 装具

十分

やや十分

ふつう

やや不十分

不十分

最新情報の入手状況についてお尋ねします。

Q79 入手状況

(回答は1つ)

A. 福祉用具

出来ている

出来ていない

わからない

Q79で「出来ている」とお答えの方におたずねします。

Q80 情報の入手先についてお答えください。

(回答は1つでも)

A. 福祉用具

メーカーや業者

ソーシャルワーカーやケアマネージャー

雑誌や広告

学会や講習会

論文

展示会

インターネットやメールマガジン

その他 具体的に：

最新情報の入手状況についてお尋ねします。

Q81 入手状況

(回答は1つ)

B.義肢

出来ている

出来ていない

わからない

Q81で「出来ている」とお答えの方におたずねします。

Q82 情報の入手先についてお答えください。

(回答は1つでも)

B.義肢

メーカーや業者

ソーシャルワーカーやケアマネージャー

雑誌や広告

学会や講習会

論文

展示会

インターネットやメールマガジン

その他 具体的に：

最新情報の入手状況についてお尋ねします。

Q83 入手状況

(回答は1つ)

C.装具

出来ている

出来ていない

わからない

Q83で「出来ている」とお答えの方におたずねします。

Q84 情報の入手先についてお答えください。

(回答は1〜いくつかでも)

C. 装具

メーカーや業者

ソーシャルワーカーやケアマネージャー

雑誌や広告

学会や講習会

論文

展示会

インターネットやメールマガジン

その他 具体的に：

回答データが送信されました。

ご協力ありがとうございました。

理学療法士の福祉用具・義肢・装具支援に関する実態調査

報告書

発行 日本支援工学理学療法学会

URL: <http://jspt.japanpt.or.jp/jptsat/>

平成 29(2017)年 3 月発行